消 防 年 報

第 7 1 号

令和 7 年版(2025 年)

土 浦 市 消 防 本 部

(令 和 8 年 刊 行)

はしがき

この年報は、土浦市消防の業務及び昨今の消防力の実態を集録したもので、土浦市消防を紹介するとともに、今後の消防行政の参考資料とすることを目的に編集しております。

編集にあたり、各頁および各表は原則として、令和8年4月1日現在となっておりますが、これによらない各頁および各表には右上に示しました。

気象は、消防本部庁舎に設置している気象観測装置の測定によるものとしています。

令和8年6月

土 浦 市 消 防 本 部

目　次

わがまち土浦 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
土浦市の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
管内統計一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
土浦市消防のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

消防総務

消防組織
　消防本部組織図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
　消防本部事務分掌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
　消防署事務分掌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
　消防力の整備指針と現有 ・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　消防職員の配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　消防吏員勤続年数調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　消防吏員年齢調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　諸手当 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
　消防吏員教育状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
　消防吏員教育計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　特殊技能資格取得状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
消防予算
　消防歳出予算及び科目内訳 ・・・・・・・・・・・・・・ 27
　土浦市一般会計歳出予算における消防歳出予算の比率 ・・ 27
　歳出決算状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
消防施設
　消防庁舎 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
　管轄区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
　消防本部（署）配置車両 ・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　消防車両等使用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
　消防車両使用経過年数（所属別） ・・・・・・・・・・・ 34
　消防用ホース保有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　泡消火薬剤備蓄状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　消火栓ホース格納庫配備状況 ・・・・・・・・・・・・・ 36
　消防資機材装備状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
　水防用資機材備蓄一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・ 39

予　防

予　防
　防火対象物及び中高層建築物状況（延面積150㎡以上） ・・ 40
　建築同意事務処理状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
　建築同意件数累年比較（過去5年間） ・・・・・・・・・ 41

防火対象物使用開始検査状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 42
防火対象物立入検査及び消防用設備等設置検査実施状況 ・ 43
防火対象物防火・防災管理状況 ・・・・・・・・・・・・・ 44
住宅用火災警報器設置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 45
住宅用火災警報器及び
感震ブレーカー取付支援実績 ・・・・・・・・・・・・・・ 45
予防技術資格者の推移状況（過去5年間） ・・・・・・・・・ 45
危険物施設等
危険物施設数及び立入検査状況 ・・・・・・・・・・・・・ 46
危険物施設の許可等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
危険物申請手数料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
火薬類申請手数料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
消防クラブ等
幼年消防クラブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
少年消防クラブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
女性防火クラブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

警防救急

警　防
令和7年中火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
火災種別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
火災原因別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
時間帯別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
過去5カ年の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
建物火災損害見積額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
建物火災焼損面積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
当市と全国・県との火災概況比較 ・・・・・・・・・・・・・ 54
月別火災損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
覚知別火災損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
月別・覚知別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
月別・死傷者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
月別・原因別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
時間別・原因別火災件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
町内別火災発生件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
最近5年間の出火状況比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
損害額500万円以上の火災（平成30年～令和6年） ・・・・ 63
気象別火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
原因と主な経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
消防広域応援体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
土浦市消防本部緊急消防援助隊登録部隊 ・・・・・・・・・ 66
自主防災組織結成状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

救　急

救急概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
出動件数等の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
事故種別活動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
事故種別各署別出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
搬送人員等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
医療機関選定状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
医療機関別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
ＰＡ連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
ドクターカー・ドクターヘリ ・・・・・・・・・・・・・・ 78
心肺蘇生処置対象者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 78
救急講習実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
土浦市と茨城県と全国の救急活動概要比較 ・・・・・・ 83
ＡＥＤ配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84

救　助

救助出動件数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
事故種別救助出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
各署別救助出動件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
事故種別出動人員・活動人員 ・・・・・・・・・・・・・・ 86
事故種別発生場所別出動活動件数 ・・・・・・・・・・・ 86
事故種別発生場所別救助人員 ・・・・・・・・・・・・・・ 87

通　信

消防用無線通信施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
119番通報件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
気象統計（気温・湿度・風速・雨量） ・・・・・・・・・ 89
警報等発令数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90

消 防 団

消防団組織

消防団組織図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
消防団員の定員及び実員 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
消防団員報酬手当 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
消防団員配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
消防団員勤続年数調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
消防団員年齢別調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
消防団員職業構成別調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
消防団員就業形態別調 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
消防団車庫及び担当区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
消防団配置車両 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
消防団ホース保有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100

わがまち土浦

土浦市は、東京から常磐線でわずか1時間余り、首都圏60㎞圏域に位置し、北には万葉集にも歌われた関東平野に屹立する紫峰筑波山を仰ぎ、東に我が国2番目の広さを持つ霞ヶ浦を臨む水郷国定公園の玄関口である。

年間を通して仰ぎやすい気候風土に恵まれ、過去においての災害による大被害は、地形の関係上水害の色が濃く、霞ヶ浦に注ぐ桜川のデルタを中心として発達した人口約14万人の商工業都市である。

朝は藍、昼は緑、そして夕に紫と山肌の色を変える筑波山のごとく、平安末期にその母体が造られたという本市は、時代の変遷とともに江戸時代以降、常に県南の中心的役割を果たし、数えきれないほどの歴史、遺産が今も息づいて語りかけている。

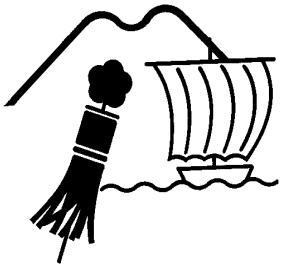
江戸時代、陸前浜街道の宿場があり、土浦藩主土屋氏の城下町として、また霞ヶ浦西岸の地の利を得て農産物の集散地として政治、経済、文化が繁栄した。本市に消防組織といえる火防人足制度が誕生したのもこの時代である。

明治28年には、県北の常磐炭鉱の石炭が京浜工業地帯のエネルギーとして注目をうけ、常磐線（日本鉄道株式会社の海岸線）が敷設され、土浦地方発展に大きな影響をもたらした。

戦時中は、隣接阿見町に7つボタンで有名な霞ヶ浦航空隊（予科練）が置かれ、軍都土浦として全国に名を馳せた。

国・地方を通じる財政の悪化など市町村行政を取り巻く情勢が大きく変化する中、行政サービスの維持・向上と行政規模の拡大や効率化を図るという観点から、平成18年2月20日新治村と合併し、「新しい土浦」のまちづくりがスタートした。

令和4年には「第9次土浦市総合計画」を策定し、本市の目指すべきまちの将来像として「夢のある、元気のある土浦」を掲げるとともに、その実現に向け、優先的・重点的に取り組むべき政策として、「子ども」「地域の宝」「暮らしやすさ・働きやすさ」「防災・減災」を主眼とした4つのリーディングプロジェクト及び市政運営全体を包括する8つの基本目標を定め、コロナ収束後の社会の在り方も見据えた未来志向のまちづくりを推進している。



土浦市の概要

位置及び地勢

(1) 市　章

（説明）「土」という字を巧みに図案化したもので、霞ヶ浦のさざ波と、桜川にうつる桜の花弁で、優雅な美を描き、外輪の円は平和を意味し、市民の協和と伸びゆく市勢を端的に象徴したものである。

(2) 位　置

東経　140°12′
北緯　36°04′
海抜　1.8m

(3) 面　積

122.89 k㎡

人口と世帯数

（霞ヶ浦の面積を含まない113.62ｋ㎡で算出。令和8年4月1日現在）

◎ 1世帯当たりの人口　2.1　人
◎ 1ｋ㎡当たりの人口　1,244　人
◎ 1ｋ㎡当たりの世帯数　605　世帯

区分＼年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
人　口	141,868	141,801	141,977	141,547	141,368
世　帯　数	64,131	65,670	67,021	67,928	68,749

管内統計一覧

1　市概要

(1) 面積	(2) 人口	(3) 世帯数
122.89㎢	141,368	68,749

2　消防予算・構成・人員

(1) 消防予算
2,686,528千円
（市予算全体の4.1%）

(2) 本部及び署

消防本部	1
消防署	4
分　署	1

(3) 消防職員数

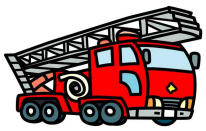
定　数	216名
職員数	209名
吏員数	201名

(4) 消防団員数
定員 547名
実員 432名

3　機械・施設

(1) ポンプ車

水槽付ﾎﾟﾝﾌﾟ車	5台
ポンプ車	4台



(2) 特殊車両等

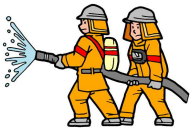
はしご車	1台
救助工作車	1台
化 学 車	1台
指 揮 車	1台

(3) 救急車
高規格救急車
6台

(4) 消防水利

消 火 栓	889 基
防火水槽	1,024 基
その他	66 箇所

4　火災・救急・救助件数　（令和7年12月31日現在）



(1) 火災
70件

建物	33件	車両	5件
林野	2件	その他	30件
死 者	2人	負傷者	11人
損害額	164,331千円		

(2) 出火原因

放火（疑い含）	8件
たばこ	5件
こんろ	5件
排気管	13件
その他（不明含）	39件

(3) 救急出動
8,214件
搬送人員 7,369人

(5) 救助出動
141件
救助人員 62人

(4) 救急事故種別

①急　　病	5,617件
②一般負傷	1,071件
③交通事故	602件
④転院搬送	565件
⑤自　　損	91件

（上位5種別）

5　予　防

(1) 防火対象物数
（延面積 150㎡以上）
5,049 対象物

(2) 危険物施設数

製造所	2施設
貯蔵所	270施設
取扱所	141施設

(3) 住宅用火災警報器
設置状況

調査件数	11,250件
設置件数	8,702件
設置件数	77.35%

(4) 防火クラブ

幼年消防ｸﾗﾌﾞ	20
少年消防ｸﾗﾌﾞ	16
女性防火ｸﾗﾌﾞ	3

土浦市消防のあゆみ

慶安3年（1650年）江戸幕府に武家消防組織が編成され、この江戸火消し制度にならって、寛文年間（1661～1672年）に本市の消防組織である火防人足制度が確立された。

これは、イギリスのロンドン消防隊が編成された時期（1666年）に、ほぼ同じくする。

江戸時代		
寛文年間 （1661～1672年）		土浦藩初代藩主土屋数直は、江戸火消し制度にならい、火防人足制度を確立する。
元禄年間 （1688～1702年）		2代藩主土屋政直が、全町1戸1名18歳以上の男子を若衆と称し、火防人足に組み入れる。
享保20年 （1735年）		12代藩主土屋篤直が、各町内に藩士を配し、持場、役目を明示担当させるとともに城下各所に消防用具を常備させ、火防体制を整える。
天保7年 （1836年）		町内ごとに纏が置かれるようになる。
安政年間 （1854～1859年）		町内火防組の名称が改正される。 本　町（い組）横　町（ろ組）中城町（は組）西　門（に組） 東崎町（と組）田宿町（よ組）田　町（た組）仲　町（な組） 大　町（大組）
明治初期		廃藩置県後、士族が組織した火消組があった。 鷹匠町（青竜）外西町（朱雀）立田町（白虎）築地町（玄武）
明治19年 （1886年）	12月17日	消防組規則（茨城県令甲第39号）により旧組織は廃止、新たに土浦消防組が結成され、初代組頭に鈴木糺が就任する。 副組頭7・小頭31・副小頭54・平組474名の計567名の編成 一番組（本町・川口町・仲町）　四番組（横町）　七番組（田町） 二番組（中城町・田中町）　五番組（田宿町） 三番組（大町）　六番組（東崎町）
明治21年 （1888年）	4月 1日	土浦町が発足する。
明治27年 （1894年）	2月10日	消防組規則（勅令第15号）に基づく県令第34号により、従来の消防組を改組、土浦町消防組となり、各町を単位として6部が編成され、人員300名、後に川口部を加えて7部となる。 組　頭　尾形吉兵衛　田宿部長　前原富之助 大町部長　結束弥兵衛　本町部長　大久保藤八 中城部長　藤倉安蔵　田町部長　長谷川直吉 仲町部長　中島久兵衛　川口部長　鈴木蔵之助
大正6年 （1917年）	11月	大和町部が新設される。
大正8年 （1919年）	7月15日	中城部が他部に先がけ手引動力ポンプを購入する。
大正9年 （1920年）	9月	横町部が新設される。
大正11年 （1922年）	2月 4月 6月 8月 8月 11月	本町部が手引動力ポンプを購入する。 東崎部が新設される。 仲町部及び東崎部が手引動力ポンプを購入する。 大和町部が手引動力ポンプを購入する。 田中部が新設される。 田中部が手引動力ポンプを購入する。 川口部が手引動力ポンプを購入する。
大正15年 （1926年）	4月	田宿部が初めてポンプ自動車を購入する。
昭和6年 （1931年）		消防機械化状況 ポンプ自動車（田宿町・中城町・大町） 手引動力ポンプ（東崎町・横町・仲町・川口町・大和町・本町・田町・田中町）
昭和12年 （1937年）	4月 1日	土浦町へ中家村が編入する。
昭和13年 （1938年）	6月 1日	土浦町へ藤沢村の一部虫掛が編入、消防組の構成は20部となる。

昭和14年 （1939年）	1月25日	警防団令（勅令第20号）により消防組が廃止、警防団が組織され、防空の任務も付加された。7箇分団編成で、のち中家地区を2分し、8箇分団となる。 初代団長　内田清助、副団長　菊田七平 歴代組頭 （初）鈴木　　糺　　（6）長塚　　忠　　（11）内田　清助 （2）尾形　吉兵衛　　（7）大和田　盛雄　　（12）大浦　福次郎 （3）五頭　庄三郎　　（8）竹中　広次郎　　（13）豊島　庄十郎 （4）岡本　儀兵衛　　（9）坂野　五兵衛　　（14）塚原　格之助 （5）奥井　久助　　（10）笹部　重道
	6月 1日	土浦町へ東村が編入する。
昭和15年 （1940年）	11月 3日	土浦町と真鍋町が対等合併、市制施行（人口35,567人）する。
昭和22年 （1947年）	6月25日	消防団令（勅令第185号）により従来の警防団を消防団に改称する。 8箇分団編成、定数1,260名、消防団長に多田清一就任
昭和23年 （1948年）	3月 7日	消防組織法が施行、消防団が警察より分離、自治体消防として発足する。 初代団長に細野勝久就任
	9月 1日	都和村及び朝日村の一部荒川沖等が編入、消防団を再編する。 10箇分団・ポンプ自動車9台・手引動力ポンプ13台・腕用ポンプ30台 団員1,480名
昭和25年 （1950年）	4月 1日	消防団組織に常備消防部（前川町377番地）を創設する。 水槽付消防ポンプ自動車1台 市　長　　天谷丑之助 消防団長　　細野勝久 常備消防部長　鈴木銀四郎　班長2名、部員12名
昭和26年 （1951年）	1月 8日	部員定数12名を14名に改定する。
昭和28年 （1953年）	1月 4日	常備消防部に消防ポンプ自動車を配置する。
	4月 1日	部員定数14名を16名に改定する。
昭和29年 （1954年）	11月 3日	上大津村が編入、消防団を12箇分団に再編する。
昭和30年 （1955年）	4月 1日	消防本部及び消防署が発足する。 消防吏員定数21名（実員20名）事務吏員定数1名（実員1名） 水槽付消防ポンプ自動車1台・消防ポンプ自動車1台 市　長　　天谷丑之助 消防長　　細野勝久（初代） 次長兼署長　鈴木銀四郎 消防団長　　細野勝久（兼任）
	4月 7日	消防吏員1名を採用する。
	12月 1日	消防長が専任となり、消防団長に色川恵一就任する。（2代）
昭和31年 （1956年）	4月	消防力強化5ヶ年計画を樹立する。
	10月 1日	消防団組織を大幅に改編する。 12箇分団67部を15箇分団25部に改め、定数1,479名を434名に減員。 老朽ポンプ自動車（本町・田町）、手引動力ポンプ（敷島町・仲町・東崎町・横町）及び腕用ポンプ36台（全部）を廃止する。
	11月 9日	消防無線局を開局する。（基地局1・移動局2）
	12月 8日	水槽付消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ配置する。
昭和32年 （1957年）	3月	手引動力ポンプを第13分団第2部（粟野町）へ配置する。
	4月 1日	土浦市消防協会が発足する。 手引動力ポンプを第14分団第2部（手野町）へ配置する。
	10月17日	消防ポンプ自動車を第13分団第1部（並木町）へ配置する。
	11月28日	消防団員定数434名を445名に改定する。 水槽付消防ポンプ自動車を第15分団（神立町）へ配置する。
昭和33年 （1958年）	4月 1日	消防吏員定数を27名に改定、消防吏員6名を採用する。
	5月12日	消防ポンプ自動車を第10分団（右籾町）へ配置する。
	8月 1日	消防吏員1名を採用する。
昭和34年 （1959年）	1月29日	消防団員定数を445名から492名に改定する。
	8月10日	土浦地方危険物安全協会が発足する。
	10月 1日	南出張所竣工、水槽付消防ポンプ自動車、職員4名を配置する。
	12月10日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈され、土浦市消防署へ配置する。

昭和35年 （1960年）	6月 1日	消防吏員定数を27名から37名に改定する。 消防吏員10名を採用する。 消防団組織を15箇分団23部に改編する。 中城町、佐野子町、飯田町、矢作町の各部を廃止、第7分団第1部（虫掛町）へ消防ポンプ自動車を配置、第6分団第３部（真鍋町）を第5分団とし、消防ポンプ自動車を更新配置する。
昭和36年 （1961年）	4月 1日 5月 1日 8月10日 9月 7日 11月30日	救急業務を開始する。 消防吏員1名を採用する。 消防吏員3名を採用する。 救急自動車を土浦市消防署へ新規配置する。 消防ポンプ自動車を第2分団（川口町）へ更新配置する。 消防吏員定数を37名から39名に改定する。
昭和37年 （1962年）	3月 1日 6月23日 11月29日 12月 1日	消防吏員1名を採用する。 三輪ポンプ自動車を第8分団第3部（上高津町）へ配置する。 消防吏員1名を採用する。 消防吏員定数を39名から45名に改定する。 消防吏員3名を採用する。
昭和38年 （1963年）	2月22日 4月 1日 10月19日 12月 1日	消防吏員4名を採用する。 消防吏員定数を45名から47名に改定する。 消防長の階級「消防監補」を「消防監」に改正する。 初の公設消火栓を設置する。（102基） 消防ポンプ自動車を第9分団（小松町）へ配置する。 消防ポンプ自動車を第8分団第1部（下高津町）へ配置する。 三輪ポンプ自動車を第11分団第2部（西根町）へ配置する。 水槽付消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ新規配置、旧車両を南出張所へ配置替する。 消防吏員1名を採用する。
昭和39年 （1964年）	3月25日 4月 1日 7月 1日 12月25日	消防団員定数を492名から418名に改定する。 消防長に色川恵一就任する。（2代） 消火栓98基増設する。（計200基） 消防吏員１名を採用する。 消防団員定数を418名から390名に改定する。
昭和40年 （1965年）	2月 8日 4月 1日	消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ新規配置する。 県内初の公設火災報知器を設置する。（発信機100・受信機2） 消防団長に青木利之就任する。（3代）
昭和41年 （1966年）	2月 7日 3月 4月 1日 4月 5日 5月 6月 7月 6日 8月 10月 12月	新庁舎竣工する。 消火栓8基を増設する。（真鍋町地内） 消防吏員定数を47名から51名に改定する。 消防組織法の改正に伴い、消防本部機構を改組する。 総務課（庶務係・経理係・機械係）、警防課（予防係・消防係・救急係）を新設する。 消防吏員7名を採用、専任次長制を実施する。 消防本部連絡用乗用車（プリンスグロリア64）を配置する。 消火栓6基を増設する。（田中町） 消防吏員定数を51名から67名に改定する。 荒川沖西区に消防団第18分団を新設、消防ポンプ自動車を配置する。 国補事業により防火水槽（40ｔ）3基を増設する。（桜ヶ丘・若松町・荒川沖） 消火栓3基を増設する。（上高津町） 消防ポンプ自動車を第8分団へ更新配置する。 消防ポンプ自動車を第14分団第2部（沖宿町）へ新規配置する。
昭和42年 （1967年）	1月23日 2月 4月 1日 5月 9月 10月 12月	屈折梯子車を土浦市消防署へ新規配置する。 消火栓6基を増設する。（右籾町・竹ノ入町） 消防吏員10名を採用する。 消火栓1基を増設する。（神立町） 消火栓2基を増設する。（大岩田町） 防火水槽（60ｔ・観察池兼用）を上大津東小学校に設置する。 消火栓5基を増設する。（中村1区・永国町） 消防ポンプ自動車を第15分団（神立町）へ配置する。 消防ポンプ自動車を第6分団（真鍋町）へ配置する。

昭和43年 （1968年）	2月16日	消防吏員3名を採用する。
	4月 1日	消防吏員5名を採用する。
	5月 1日	消防長に鈴木銀四郎就任する。（3代） 消防吏員1名を採用する。
	9月	消火栓4基を増設する。（大町外）
	11月	消火栓6基を増設する。（板谷町外）
	12月 3日	土浦地方消防相互応援協定並びに救急業務委託に関する協定を締結する。（土浦市・阿見町・新治村・出島村） 消防ポンプ自動車（A2級）を第5分団及び第10分団へ更新配置する。 救急自動車（ワーゲン）を土浦市消防署へ配置する。 指令車（ジープ）を土浦市消防署へ配置する。 消火栓2基を増設する。（中高津町外） 県費補助により防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（荒川沖町外）
昭和44年 （1969年）	3月28日	土浦地方消防相互応援協定並びに救急業務委託に関する協定を締結する。（土浦市・牛久町・桜村・千代田町）
	4月 1日	定数条例を全面改正し、消防職員定数を73名とする。 消防吏員4名を採用する。 消防団長に青木利之再任される。
	6月 2日	消防吏員5名を採用する。
	7月 1日	消防本部機構を改組する。 予防課を新設、総務課（庶務係・経理係）予防課（予防係・危険物係）警防課（消防係・救急係・機械装備係）にする。 消火栓8基を増設する。（川口町4基、小岩田町2基、神立町2基）
昭和45年 （1970年）	1月 8日	消防ポンプ自動車（A2級）を第1分団及び第3分団へ更新配置する。
	2月	公設火災報知機12基を増設する。 県費補助により防火水槽（40ｔ）3基を増設する。（手野町・粟野町・荒川沖町）
	3月26日	消防団を改編、18箇分団390名を22箇分団351名に減員する。
	4月 1日	消防職員定数を73名から76名に改定する。 消防長に宇ッ木三郎就任する。（4代） 消防吏員6名を採用する。
	12月26日	消防ポンプ自動車(A2級)を第4分団及び第15分団へ更新配置、旧車両を第6分団及び第14分団へ配置替する。
昭和46年 （1971年）	3月15日	防火水槽（40ｔ）3基を増設する。（手野町外）
	3月19日	公設火災報知機10基を増設する。（真鍋町外）
	3月30日	消火栓18基を増設する。
	4月 1日	消防職員定数を76名から78名に改定する。 消防吏員3名を採用する。
	9月25日	消防団員定数を351名から342名に改定する。
	11月11日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）を土浦市消防署へ新規配置する。
	12月16日	消防ポンプ自動車（A2級）を第17分団へ更新配置する。
昭和47年 （1972年）	1月17日	消防ポンプ自動車（A2級）を第2分団へ更新配置する。
	1月24日	消防本部庁舎増築部竣工する。
	2月 1日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（天川町）
	2月14日	消火栓14基を増設する。（川口町外）
	2月16日	関彰商事（株）から寄贈された救急自動車(A型)を土浦市消防署へ配置する。
	2月17日	第6分団車庫を新築する。
	2月28日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（神立町）
	3月31日	救急波専用消防無線電話（10W）を設置する。 （F3：144.44MHz 147.44MHz）
	4月 1日	消防職員定数を78名から93名に改定する。 第5分団を廃止し、22箇分団から21箇分団に、団員定数を347名から327名に改定する。第6・7分団を第5・6分団とする。 消防吏員15名を採用する。
	6月10日	第24分団車庫を改築する。
	8月15日	第16分団車庫を増築する。
	8月23日	消防ポンプ自動車（A2級）を第16分団及び第26分団へ更新配置する。
	9月12日	消火栓5基を増設する。（中村町外） 防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（烏山町）
	9月28日	化学消防ポンプ自動車を土浦市消防署へ新規配置する。

昭和48年 （1973年）	1月10日	消火栓2基を増設する。（並木町外）
	1月14日	防火水槽（20ｔ）1基を増設する。（東崎町）
	1月31日	第26分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防職員定数を93名から106名に改定する。 消防吏員14名を採用する。 消防団長に宇田川仁就任する。（4代）
	5月30日	第11分団車庫を改築する。
	8月18日	消防ポンプ自動車（A2級）を第6分団及び第27分団へ更新配置する。
	10月16日	消防ポンプ自動車（A2級）を土浦市消防署へ新規配置する。
	11月30日	山之内製薬（株）から寄贈された救急自動車（トヨタ2B型）を土浦市消防署へ新規配置する。
	12月 4日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する。（都和町外）
	12月21日	水槽付消防ポンプ自動車(8,000ℓ)を土浦市消防署へ新規配置する。
	12月25日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する。（永国町外）
昭和49年 （1974年）	1月31日	消火栓6基を増設する。（中貫町外）
	2月 6日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（荒川沖町）
	2月12日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する（並木町外）
	3月 1日	土浦ロータリークラブから寄贈された消防広報車を土浦市消防署に配置する。
	3月30日	救急指令装置（B型）を通信指令室へ配置する。
	4月 1日	消防職員定数を106名から116名に改定する。 消防吏員15名を採用する。 筑南地方広域行政（事）消防本部発足に伴い、桜村との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	7月 1日	消防本部機構を改組する。 警防課を総務課（庶務係・経理係・施設係）予防課（予防係・危険物係・警防係・通信指令室）に統合、土浦市消防署を土浦消防署に名称を変更、南出張所を廃止して荒川沖消防署竣工、2課2消防署とし、各消防署に5係（庶務・予防・消防・救急・機械）を設置する。
	7月29日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を荒川沖消防署へ新規配置する。
	8月29日	消火栓１基を増設する。（右籾町）
	8月30日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を第23分団へ更新配置する。
	9月13日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅱ型）を第21分団へ更新配置する。
	9月30日	防火水槽（40ｔ）4基を増設する。（千束町外） 消火栓4基を増設する。（乙戸町外）
	11月23日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（虫掛町）
	11月25日	第22分団車庫を改築する。
昭和50年 （1975年）	2月24日	消火栓4基を増設する。（大手町外）
	4月 1日	消防長事務取扱に土浦市長野口敏雄就任する。 消防吏員8名を採用する。 稲敷地方広域市町村圏（事）消防本部発足に伴い、牛久町との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	5月21日	消防長に飯島一雄就任する。（5代）
	7月25日	東京火災海上保険（株）から寄贈された救急自動車（トヨタ2B型）を土浦消防署へ更新配置する。
	8月25日	防火水槽（40ｔ）7基を増設する。（永国町外）
	8月29日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型ホースカー付）を土浦消防署へ新規配置する。
	8月29日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第13分団へ更新配置する。
	9月 1日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第28分団へ更新配置する。
	10月 1日	第25分団を廃止し、21箇分団から20箇分団に、団員定数を325名から312名に改定する。
	11月21日	消火栓5基を増設する。（真鍋4丁目外）
	12月 8日	消防施設整備資金が（株）小網屋から寄付され、査察広報車2台を購入、土浦消防署へ配置する。
昭和51年 （1976年）	7月15日	2ヶ年継続事業として、公設火災報知機の廃止が決定、本年度架線を撤去する。
	7月26日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第12分団へ更新配置する。
	8月 5日	消火栓5基を増設する。（常名町外）
	9月30日	第12分団車庫を増改築する。
	11月 1日	消防長に小泉忠就任する。（6代）
	12月20日	防火水槽（40ｔ）7基を増設する。（木田余町外）

昭和52年 （1977年）	4月 1日	消防職員定数を116名から118名に改定する。 消防吏員10名を採用する。（実員116名） 消防団長に宇田川仁再任される。 消防本部機構を改組する。 総務課（庶務係・経理係・施設係）、予防課（予防係・危険物係）、警防課（警防係・通信指令室）に改組する。
	8月29日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を荒川沖消防署へ新規配置する。
	9月 2日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を土浦消防署へ更新配置する。
	9月 6日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第5分団へ更新配置する。
	9月27日	防火水槽（40ｔ）7基を増設する。（木田余町外）
昭和53年 （1978年）	1月 6日	消火栓6基を増設する。（中貫町外）
	4月 1日	消防職員定数を118名から128名に改定する。 消防吏員11名を採用する。（実員126名） 新治広域事務組合消防本部発足に伴い、出島村・新治村・千代田村との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	5月 1日	神立消防署竣工する。
	8月 1日	茨城県救急医療情報コントロールシステム地域情報本部（ディスプレイ装置）が、稼働開始される。
	8月11日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署へ新規配置する。
	9月 1日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第22分団に更新配置する。
	12月15日	防火水槽（40ｔ）9基を増設する。（真鍋町外）
	12月28日	（財）日本損害保険協会から寄贈された消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を神立消防署へ配置する。
昭和54年 （1979年）	2月 5日	消火栓6基を増設する。（神立町外）
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員126名）
	6月 3日	第16分団及び第17分団車庫を新築する。
	8月22日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第11分団へ更新配置する。
	11月 6日	第14分団詰所を新築する。
	12月 4日	第3分団車庫を新築する。
	12月18日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（霞ヶ岡町外）
昭和55年 （1980年）	1月11日	消火栓8基を増設する。（真鍋町外）
	2月26日	照明救助工作車を土浦消防署へ新規配置する。
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員127名）
	7月 1日	指令車（セドリック）を更新配置する。
	10月28日	消防制度化100周年・市常設消防開設30周年記念行事を開催、「土浦消防30年のあゆみ」を発刊する。
	11月 6日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（真鍋町外）
	12月20日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第14分団へ更新配置する。 救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。
	12月24日	消火栓13基を増設する。（中村2区外）
昭和56年 （1981年）	3月20日	第4分団車庫を改築する。
	3月31日	第23分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防団長に宇田川仁再任される。
	9月19日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（並木3丁目外）
	9月30日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を神立消防署へ更新配置する。
	10月 1日	阿見町消防本部発足に伴い、阿見町との救急業務の委託に関する協定を解除する。
	12月20日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を第24分団へ更新配置する。
	12月26日	第15分団車庫を新築する。
昭和57年 （1982年）	3月24日	消防職員定数を128名から131名に改定する。
	3月30日	消火栓17基を増設する。（城北町外） 常磐自動車道（柏・千代田石岡インターチェンジ間）開通に伴い、常磐自動車道消防協議会加入機関（柏市・守谷町・谷和原村・伊奈村・谷田部町・桜村・新治村・千代田村・常総地方広域市町村圏事務組合）と消防相互応援協定を締結する。 土浦市消防協会が解散する。
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員127名） 消防長に池野辺績就任する。（7代）
	5月 1日	並木町婦人消防クラブが発足する。
	5月30日	水防用アルミボート（折たたみ式）1艇を土浦消防署へ新規配置する。
	9月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員130名） 土浦消防署並木出張所竣工する。 職員8名、救急自動車（2Ｂ型）を新規配置、消防ポンプ自動車（Ａ2級）を荒川沖消防署から配置替えする。
	9月16日	連絡車（サニー）を消防本部へ配置する。
	10月 1日	ガス漏れ及び爆発事故防止対策に関する協定を締結する。（土浦市消防本部・東部瓦斯（株）・茨城高圧ガス保安協会・東京電力（株）） 15ｍ級屈折梯子付消防ポンプ自動車を土浦消防署へ更新配置する。
	12月 7日	
	12月11日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第3分団へ更新配置する。

昭和58年 （1983年）	1月14日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（真鍋4丁目外）
	3月 1日	中村町5区婦人防火クラブが発足する。
	3月31日	消火栓12基を増設する。
	4月 1日	消防職員定数を131名から139名に改定する。 消防吏員6名を採用する。（実員130名）
	10月 1日	消防吏員6名を採用する。（実員136名）
	11月15日	土浦消防署南分署用水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を新規購入する。
	12月22日	土浦消防署南分署竣工する。
昭和59年 （1984年）	1月 1日	筑南地方広域行政事務組合（筑波町・大穂町・豊里町・谷田部町・茎崎町・桜村）と消防相互応援協定を締結する。
	1月26日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（中高津1丁目外）
	1月31日	広報車（サニー）を土浦消防署南分署へ配置する。
	2月24日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第1分団へ更新配置する。
	3月20日	昭和57年3月30日付締結した常磐自動車道柏・千代田・石岡インターチェンジ間における消防相互応援協定を廃止し、新たに常磐自動車道柏・那珂インターチェンジ間における消防相互応援協定を22市町村と締結する。
	3月31日	消火栓9基を増設する。（大岩田町外）
	4月 1日	消防職員定数を139名から145名に改定する。 消防吏員5名を採用する。（実員140名） 消防長の階級を「消防監」から「消防正監」に改正する。 茨城県防災行政無線が配置され、稼働開始する。
	8月 8日	（財）日本消防協会から寄贈された緊急給水用ろ過器1基を消防本部へ配置する。
	9月28日	白帆幼稚園幼年消防クラブが発足する。
	10月 1日	消防吏員5名を採用する。（実員145名）
	11月25日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。
	11月30日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。
昭和60年 （1985年）	2月26日	化学消防ポンプ自動車（Ⅳ型）を神立消防署へ更新配置する。
	3月 4日	消防ポンプ自動車（ＢＳ－Ⅰ型）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月 5日	第1分団車庫を新築する。
	3月23日	第2分団車庫を新築する。
	3月29日	消火栓8基を増設する。（並木五丁目外）
	4月 1日	消防職員定数を145名から147名に改定する。 消防吏員3名を採用する。（実員146名） 消防本部機構を整備する。 警防課より通信指令室を分離独立、新たに警防課に救急救助係を設置、3課1室7係とする。 消防団長に中桐勝太郎就任する。（5代）
	6月30日	査察広報車（サニー）を土浦消防署へ更新配置する。
	10月 1日	（財）国際科学技術博覧会協会から水槽付消防ポンプ車（水Ⅰ－Ｂ型）が寄贈され神立消防署へ配置する。
	11月 8日	防火水槽（40ｔ）9基を増設する。（並木四丁目外）
昭和61年 （1986年）	3月 4日	消火栓7基を増設する。（桜ケ丘町外）
	3月15日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。
	4月 1日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を土浦消防署へ更新配置する。 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第4分団へ更新配置する。
	4月30日	資材搬送車（3ｔ）を土浦消防署へ新規配置する。
	5月 2日	（財）国際科学技術博覧会協会から消防救急指令装置（Ａ型）が寄贈され、通信指令室へ更新配置する。
	5月 8日	水防用アルミボート（折たたみ式）1艇を土浦消防署へ増強配置する。
	11月28日	防火水槽（40ｔ）7基を増設する。（大岩田町外）
昭和62年 （1987年）	3月 9日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第17分団へ更新配置する。
	3月12日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型　8,000ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月19日	携帯用無線機（1W）を土浦消防署及び荒川沖消防署へ更新配置する。
	3月29日	（社）日本損害保険協会から救急普及啓発広報車が寄贈され、消防本部へ新規配置する。
	3月31日	消火栓9基を増設する。（荒川沖東二丁目外）
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員147名） 消防長に幕内章就任する。（8代）
	5月25日	救急情報テレフォンサービスを運用開始する。
	6月26日	査察広報車（カローラ）を荒川沖消防署へ更新配置する。
	8月26日	救急心電図無線電送システムを運用開始する。
	9月 1日	河川流域総合情報システム運用端末装置を設置する。
	10月26日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。
	11月12日	防火水槽（40ｔ）8基を増設する。（天川一丁目外）

昭和63年 （1988年）	2月15日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第2分団及び第16分団へ更新配置する。
	3月15日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。
	3月31日	消火栓10基を増設する。（下高津二丁目外）
	6月17日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第26分団へ更新配置する。
	8月31日	消火栓6基を増設する。（城北町外）
	10月 5日	はしご付消防ポンプ自動車（35m級）を土浦消防署へ更新配置する。
	10月31日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を神立消防署へ更新配置する。
平成元年 （1989年）	2月28日	防火水槽（40ｔ）10基を増設する。（永国町外）
	2月28日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を神立消防署へ更新配置する。
	3月31日	土浦市防災行政無線を運用開始する。 茨城県広域消防相互応援協定を締結する。 救急波無線基地局を更新する。
	4月 1日	消防団長に高木彬就任する。（6代）
	4月 2日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。
	6月22日	査察広報車（サニー）を神立消防署へ更新配置する。
	8月 9日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第6分団、第23分団及び第27分団へ更新配置する。
	12月21日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。
平成2年 （1990年）	3月28日	防火水槽（40ｔ）7基を増設する。（並木四丁目外）
	3月29日	消火栓10基を増設する。（神立中央一丁目外）
	3月31日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。 携帯用無線機（1W）2基を神立消防署へ更新配置する。
	4月 1日	消防職員定数を147名から151名に改定する。 消防吏員2名を採用する。（実員149名）
	5月30日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第13分団及び第21分団へ更新配置する。
	9月24日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。
	10月 5日	老人緊急通報システムを運用開始する。
	11月 9日	市制施行50周年・常設消防発足40周年記念行事を開催する。 「消防のあゆみ」を発刊する。
	12月14日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署へ更新配置する。
	12月20日	救急自動車（トヨタ2Ｂ型）を土浦消防署南分署へ更新配置する。
平成3年 （1991年）	3月15日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（手野町外）
	3月20日	消火栓10基を増設する。（木田余町外）
	3月30日	気象観測（風向・風速）装置を通信指令室へ更新配置する。
	3月31日	第21分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員151名）
	8月15日	救急救命士法（平成3年法律第36号）が施行される。
	10月17日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。
平成4年 （1992年）	1月18日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（東真鍋町外）
	2月14日	指令車（クラウン）を消防本部へ更新配置する。
	3月 9日	消火栓10基を増設する。（東中貫町外）
	3月10日	第12分団及び第22分団車庫を新築する。
	3月31日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第12分団及び第28分団へ更新配置する。
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員152名） 特別救助隊専任隊を設置する。 消防本部機構を整備する。 警防課に消防団係を新設、警防課から救急救助係が分離独立、救急救助課（救急係・救助係）を新設、4課1室9係とする。 消防署に救助係を新設し、6係とする。
	5月18日	連絡車（サニー）を消防本部へ更新配置する。
	6月11日	並木出張所、敷地移管により敷地面積拡張となる。
	7月30日	土浦市防火管理協会が発足する。
	11月19日	救急救命士が誕生する。
	11月20日	高規格救急自動車（トヨタ）を土浦消防署へ新規配置する。 自動車電話を土浦消防署及び神立消防署の救急自動車へ設置、運用開始する。
	12月 1日	高度救急業務を開始する。
	12月22日	救助工作車（Ⅱ型）を土浦消防署へ新規配置する。
平成5年 （1993年）	3月10日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。
	3月11日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（下高津二丁目外）
	3月12日	第27分団車庫を新築する。
	3月16日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第5分団へ更新配置する。
	3月19日	消火栓5基を増設する。（中高津二丁目外）
	4月 1日	消防吏員4名を採用する。（実員155名） 消防団長に松本好祐就任する。（7代）
	7月 8日	小型消防艇「かすみ」を土浦消防署へ新規配置する。
	8月 8日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第22分団へ更新配置する。
	10月 8日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署及び並木出張所へ更新配置する。
	10月28日	自動車電話を南分署、並木出張所及び荒川沖消防署の救急自動車へ設置、運用開始する。
	11月29日	消防無線基地局に全国波を導入、運用開始する。

平成6年 （1994年）	3月23日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署南分署へ更新配置する。
	3月24日	消火栓10基を増設する。（白鳥町外）
		防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（木田余外）
	3月25日	第5分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防吏員1名を採用する。（実員155名）
	6月 1日	土浦市幼少年婦人防火委員会が発足する。
平成7年 （1995年）	2月 3日	消火栓10基を増設する。（沖宿町外）
	2月14日	高規格救急自動車（トヨタ）を荒川沖消防署へ新規配置する。
	2月20日	車載型無線機（10W）7基を土浦消防署、神立消防署及び並木出張所へ更新配置する。
		携帯用無線機（10W）7基を通信指令室及び南分署へ更新配置する。
	3月15日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第11分団へ更新配置する。
		防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（手野町外）
		第26分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防長に成島耀就任する。（9代）
	9月 5日	緊急消防援助隊に登録される。（救急部隊）
	10月24日	車載型無線機（10W）4基を土浦消防署、荒川沖消防署及び神立消防署へ更新配置する。
		可搬型無線機（10W）1基を通信指令室へ更新配置する。
		携帯用無線機（1W）2基を通信指令室及び荒川沖消防署へ更新配置する。
	12月12日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第14分団へ更新配置する。
平成8年 （1996年）	2月 2日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を土浦消防署へ更新配置する。
	2月 9日	（財）日本消防協会から特別表彰「まとい」を受賞する。
	2月13日	第28分団車庫を新築する。
	2月15日	高規格救急自動車（トヨタ）を神立消防署へ新規配置する。
	2月22日	消火栓10基を増設する。（笠師町外）
	3月15日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（荒川沖南区外）
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員155名）
	5月22日	連絡車（ニッサンＡＤバン）を消防本部へ更新配置する。
	8月 7日	可搬式小型消防ポンプ（トーハツＶ20ＣＳ）1台を土浦消防署へ新規配置する。
	9月 4日	携帯電話（震災対策用）7台を新規購入する。
	11月28日	車載型無線機（10W）2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。
		可搬型無線機（10W）3基を通信指令室、荒川沖消防署及び神立消防署へ更新配置する。
		携帯用無線機（1W）2基を通信指令室及び土浦消防署へ更新配置する。
	12月20日	震災対策用資器材（エンジンカッター、バール等）を各消防署所及び各分団へ新規配置する。
	12月25日	震災対応型査察広報車（イスズＲＶ）を土浦消防署へ新規配置する。
平成9年 （1997年）	2月20日	震災対応型高規格救急自動車（トヨタ4WD）を南分署へ新規配置する。
	3月10日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第24分団へ更新配置する。
	3月18日	消火栓10基を増設する。（白鳥町外）
	3月27日	削岩機（マルゼンMM－78）1機を神立消防署へ新規配置する。
	3月28日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（立田町外）
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員156名）
		消防団長に松本好祐再任される。
	6月30日	消防職員定数を151名から156名に改定する。
	7月28日	車載型無線機（10W）1基を神立消防署へ更新配置し、携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。
	12月22日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を神立消防署へ更新配置する。
平成10年 （1998年）	3月24日	高規格救急自動車（トヨタ）を並木出張所へ新規配置する。
	3月25日	防火水槽（40ｔ）4基を増設する。（荒川沖南区外）
		消火栓15基を増設する。（菅谷町外）
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員156名）
		消防本部機構を整備する。 総務課の経理係と施設係を統合し財務係、救急救助課の救急係と救助係を統合し救急救助係とする。 消防署の救急係と救助係を統合し救急救助係を設置、5係とする。
	10月26日	携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署及び神立消防署へ更新配置する。
		震災対策用資器材（可搬式小型消防ポンプ、チェーンソー、発電機、ガス検知器等）を各消防署所及び各分団へ新規配置する。
平成11年 （1999年）	1月13日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（並木五丁目外）
	2月 8日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第3分団へ更新配置する。
	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。（総務省補助）
	3月24日	消火栓10基を増設する。（沖宿町外）
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員156名）
		消防長に宮本満雄就任する。（10代）
	11月20日	卓上型消防用基地局（10W）1基を通信指令室へ更新配置、携帯用無線機（1W）2基を土浦消防署へ更新配置する。

平成12年 （2000年）	1月19日	高規格救急自動車（トヨタ）を土浦消防署へ更新配置する。
	2月 8日	防火水槽（40ｔ）5基を増設する。（大字小山崎外）
	2月 9日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第1分団へ更新配置する。
	3月10日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。 第17分団車庫を新築する。
	3月17日	消火栓10基を増設する。（荒川沖南区外）
	4月 1日	消防団長に渡邉忠就任する。（8代）
	9月19日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第15分団へ更新配置する。
	12月19日	通信指令室の救急基地局（10W）を更新配置、携帯無線機（1W）1基を土浦消防署へ更新配置する。
平成13年 （2001年）	2月26日	はしご付消防ポンプ自動車（18m級）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月15日	風向風速計を荒川沖消防署へ更新配置する。 消火栓10基を増設する。（大字右籾外）
	3月22日	防火水槽（40ｔ）4基を増設する。（大字佐野子外）
	4月 1日	消防長に飯田雅男就任する。（11代） 消防吏員2名を採用する。（実員152名）
	5月18日	資材搬送車（ミツビシ）を消防本部へ新規配置する。
	8月27日	査察広報車（ミツビシ）を土浦消防署へ更新配置する。
	12月28日	水難救助用ゴムボート（かすみ2）1艇を土浦消防署へ更新配置する。
平成14年 （2002年）	3月15日	消火栓10基を増設する。（粟野町外）
	3月26日	防火水槽（40ｔ）3基を増設する。（田村町外）
	3月27日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型　8,000ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月29日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第4分団へ更新配置する。
	4月 1日	消防吏員3名を採用する。（実員154名） マイクロバス（ミツビシ）が消防本部へ移管される。
	7月 5日	土浦市防火管理協会から寄贈された連絡車（スズキ）を消防本部に配置する。
	11月 6日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第17分団へ更新配置する。
	12月 3日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を神立消防署へ更新配置する。
平成15年 （2003年）	1月30日	第23分団車庫を新築する。
	3月12日	消火栓6基を増設する。（神立町外）
	3月19日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する。（西根南三丁目外）
	4月 1日	消防吏員2名を採用する。（実員155名） （財）日本消防協会から寄贈された指令車（ミツビシ）を土浦消防署に配置する。
	11月19日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第2分団、第16分団へ更新配置する。
	12月18日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する。（田中町外）
平成16年 （2004年）	1月15日	第11分団車庫を新築する。
	3月29日	消火栓7基を増設する。（富士崎一丁目外）
	4月 1日	消防吏員4名を採用する。（実員155名） 消防団長に渡邉忠再任される。
	5月26日	連絡車（ホンダ）を消防本部へ更新配置する。
平成17年 （2005年）	2月 3日	防火水槽（40ｔ）2基を増設する。（矢作町外）
	2月10日	通信指令棟竣工する。
	2月28日	高規格救急自動車（トヨタ）を荒川沖消防署へ更新配置する。
	3月23日	消火栓10基を増設する。（神立東一丁目外）
	3月25日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第26分団へ更新配置する。
	4月 1日	消防長に篠崎民雄就任する。（12代） 消防吏員8名を採用する。（実員155名） 消防本部機構を整備する。通信指令室を通信指令課に改称、5課8係とする。 新消防緊急通信指令システムを運用開始する。 連絡車（トヨタ）を消防本部へ移管配置する。
	5月24日	連絡車（日産）を消防本部へ更新配置する。
	6月16日	消火栓10基を増設する。（東真鍋町他）
平成18年 （2006年）	1月18日	高規格救急自動車（トヨタ）を神立消防署へ更新配置する。
	2月14日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第6分団、第27分団へ更新配置する。
	2月20日	土浦市に新治村が編入する。 合併により消防職員の定数を156名から185名に改定する。 合併により新治地方広域事務組合消防本部から消防吏員25名を採用する。（実員180名） 合併により新治村消防団3箇分団19部団員定数367名を新治支団として編入し、土浦市消防団を20箇分団19部に、団員定数を679名に改定する。 広報車（クラウン）を並木出張所へ新規配置する。 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を新治消防署へ新規配置する。
	3月10日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型　2,000ℓ）を荒川沖消防署へ更新配置する。

平成19年 （2007年）	1月17日	消火栓10基を増設する。（殿里他）
	2月22日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第23分団へ更新配置する。
	3月12日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型　2,000ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。
	4月 1日	消防長に中川新衛就任する。（13代）
		消防本部機構を整備する。警防課と救急救助課を統合し、警防救急課を設置、4課7係とする。
		消防署の消防係と機械係を統合し、消防係を設置、4係とする。
		消防吏員3名を採用する。（実員176名）
		新治支団第2分団第6部（高岡新田）を廃止し、20箇分団19部から20箇分団18部に改定する。
	10月 1日	消防団員の定数を679名から629名に改定する。
平成20年 （2008年）	2月 6日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第13分団へ更新配置する。
	2月23日	高規格救急自動車（トヨタ）を土浦消防署南分署へ更新配置する。
	3月 9日	はしご付消防自動車（35m級）を土浦消防署へ更新配置する。（総務省補助）
	3月19日	消火栓10基を増設する。（右籾他）
	4月 1日	消防吏員4名を採用する。（実員179名）
		新治支団18部を18分団とし、土浦市消防団を38箇分団に改定する。
		消防団長に菊田宏就任する。（9代）
	10月 7日	小型救助艇「かすみⅢ」を土浦消防署へ更新配置する。
	11月 5日	消火栓10基を増設する。（小山崎他）
	12月 4日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第21分団へ更新配置する。
平成21年 （2009年）	2月14日	化学消防ポンプ自動車Ⅰ型を神立消防署へ更新配置する。
	4月 1日	消防長に土肥文夫就任する。（14代）
		消防吏員9名を採用する。（実員180名）
		消防団本部に女性消防部発足。
	9月10日	連絡車（ホンダ）を消防本部へ更新配置する。
	10月22日	土浦市危険物安全協会から寄贈された連絡車（トヨタ）を消防本部に配置する。
	11月 5日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第12分団へ更新配置する。
		消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第28分団へ更新配置する。
	12月 3日	高規格救急自動車（トヨタ）を土浦消防署へ更新配置する。
平成22年 （2010年）	2月24日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（下高津二丁目）
	3月15日	消火栓10基を増設する。（中村南四丁目他）
	3月16日	第30分団車庫を新築する。
	3月24日	水槽付消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型600ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月31日	神立消防署訓練塔竣工する。
	4月 1日	消防長に青山良夫就任する。（15代）
		消防吏員8名を採用する。（実員180名）
平成23年 （2011年）	1月29日	資機材搬送車（最大積載量3.5ｔ）を土浦消防署へ更新配置する。
	2月10日	第40分団車庫を新築する。
	2月25日	可搬ポンプ積載車を第35分団へ更新配置する。
		可搬ポンプ積載車を第46分団へ更新配置する。
	3月 1日	救助工作車（Ⅱ型）を土浦消防署へ更新配置する。
	3月15日	消火栓9基を増設する。（手野町他）
	3月23日	防火水槽（40ｔ）１基を増設する。（中高津三丁目）
	4月 1日	消防吏員11名を採用する。（実員182名）
	12月22日	高規格救急自動車を土浦消防署並木出張所へ更新配置する。
	12月27日	指令車を本部へ更新配置する。
平成24年 （2012年）	2月 9日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を土浦消防署南分署へ更新配置する。
	2月14日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第5分団へ更新配置する。
	3月 5日	第35分団車庫を新築する。
	3月15日	消火栓10基を増設する。（蓮河原新町外）
	3月22日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を新治消防署へ更新配置する。
	3月28日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（中神立町）
	4月 1日	消防長に羽成祐一就任する。（16代）
		消防本部機構を整備する。総務課に新消防庁舎建設準備室を新設、4課1室7係とする。
		消防吏員8名を採用する。（実員185名）
	4月11日	小型ポンプ（可搬）積載車を第32分団へ更新配置する。
		小型ポンプ（可搬）積載車を第36分団へ更新配置する。
	7月 6日	土浦市防火管理協会から寄贈された連絡車（トヨタ）プリウスαを消防本部へ配置する。
	8月23日	携帯警報器を各署所へ配備する。
	9月 1日	高度救助資機材を土浦消防署へ新規配置する。
	10月 9日	神立消防署改修工事完了、使用開始。
	12月18日	荒川沖消防署改修工事完了、使用開始。

平成25年 （2013年）	1月 7日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を第44分団へ更新配置する。
	2月 4日	小型ポンプ（可搬）積載車を第31分団へ更新配置する。
		小型ポンプ（可搬）積載車を第39分団へ更新配置する。
	2月 7日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を新治消防署へ更新配置する。（防衛省補助）
	2月 8日	消火栓10基を増設する。（手野町外）
	2月14日	高規格救急自動車（ニッサン）を新治消防署へ更新配置する。（総務省補助）
	3月 7日	第6分団車庫を新築する。
	3月18日	荒川沖消防署に油圧救助器具を更新配置する。
	4月 1日	消防吏員8名を採用する。（実員191名）
		消防職員の定数を185名から192名に改定する。
	5月24日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（烏山一丁目）
	7月26日	通信指令センター固定・通信指令課配置可搬式・土浦消防署配置高規格救急自動車・南分署配置高規格救急自動車・神立消防署配置高規格救急自動車の衛星電話を更新配置する。
	9月20日	陽圧式化学防護服2着を土浦消防署へ更新配置する。
		消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）予備車を新規で購入
		消防団本部に配置する。
		消火栓5基を増設する。（沖宿町外）
	10月 7日	消火栓4基を増設する。（虫掛町外）
平成26年 （2014年）	2月24日	消火栓1基を増設する。（田中三丁目）
	2月26日	高規格救急自動車（ニッサン）を荒川沖消防署へ更新配置する。（防衛省補助）
	3月 5日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（大畑）
	3月25日	第4分団車庫を新築する。
	4月 1日	消防団長に宇田川仁一郎就任する。（10代）
		消防吏員12名を採用する。（実員190名）
	8月20日	緊急消防援助隊支援資器材を購入する。
	8月25日	連絡車（ニッサン）NV200バネットを消防本部へ更新配置する。
	9月12日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（中都町三丁目）
	10月17日	高規格救急自動車（トヨタ）を神立消防署へ更新配置する。
	11月14日	消火栓1基を増設する。（中貫）
平成27年 （2015年）	2月20日	人員搬送車を消防本部へ新規配置する。（総務省補助）
	3月13日	消火栓3基を増設する。（虫掛外）
	3月15日	消火栓3基を増設する。（菅谷町外）
	3月25日	第34分団車庫を新設する。
		消火栓2基を増設する。（東真鍋町外）
	4月 1日	消防長に宇都野和司就任する。（17代）
		消防吏員9名を採用する。（実員188名）
	8月31日	土浦市地方消防相互応援協定を廃止する。（土浦市・桜村・千代田町）
	9月 1日	消防相互応援協定を締結する。（土浦市・つくば市・石岡市・かすみがうら市・稲敷地方広域市町村圏事務組合）
	11月10日	消火栓4基を増設する。（沖宿町外）
	11月18日	消火栓4基を増設する。（菅谷町外）
平成28年 （2016年）	2月25日	防火水槽（40ｔ）1基、消火栓2基を増設する。（消防本部庁舎）
	3月 3日	消火栓1基を増設する。（烏山3丁目）
	2月25日	いばらき消防指令センターに指令業務を移転する。
	3月24日	土浦市消防本部、土浦消防署竣工する。
		耐震性貯水槽飲料水兼用100㎥型1基を設置する（消防本部庁舎）
	3月31日	消防本部機構を整備する。通信指令課及び総務課新消防庁舎建設準備室を廃止し、3課6係とする。
	4月 1日	消防吏員7名を採用する。（実員185名）
	4月 2日	24時間体制の指揮隊を発足する。
	8月19日	消火栓1基を増設する。（田中二丁目）
	11月30日	消火栓1基を増設する。（下坂田）
	12月9日	連絡車（ニッサン）を土浦消防署南分署へ更新配置する。
平成29年 （2017年）	1月19日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を荒川沖消防署へ更新配置する。（防衛省補助）
	2月24日	消火栓6基を増設する。（手野町外）
	3月10日	消火栓1基を増設する。（沖宿町）
	3月30日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を総務省からの無償貸与により第22分団へ更新配置する。
		消火栓1基を増設する。（田中三丁目）
	4月1日	土浦消防署に並木出張所を統合する。4署１分署とする。
		消防長に飯村甚就任する。（18代）
		消防吏員5名を採用する。（実員185名）
	7月1日	消防長の階級を「消防正監」から「消防監」に改正する。
	12月28日	防火水槽（40ｔ）1基を増設する。（小野）
平成30年 （2018年）	1月15日	第33分団車庫を新設する。
	3月30日	広報車（ニッサン）を神立消防署へ更新配置する。
		消火栓4基を増設する。（田村町外）
	4月 1日	消防吏員5名を採用する。（実員183名：うち再任用職員1名）
		消防団長に川﨑隆義就任する。（11代）

令和元年 (2019年)	3月17日 3月20日 3月28日 3月31日 4月 1日 4月11日	梯子車の運用を2台体制から18m級を廃止し35m級の1台体制とする。 高規格救急自動車(ニッサン)を土浦消防署南分署へ更新配置する。(総務省補助) 消火栓1基を増設する。（下高津二丁目） 消火栓1基を増設する。（真鍋二丁目） 消防吏員6名を採用する。（実員183名：うち再任用職員1名） 大規模災害対応隊発足 ラッパ隊発足 消火栓1基を増設する。（真鍋二丁目）
令和2年 (2020年)	3月30日 4月 1日 7月 2日 10月 1日 11月18日 11月26日	第15分団車庫を新設する。 消防長に鈴木和徳就任する。（19代） 消防吏員5名を採用する。（実員177名：うち再任用職員1名） 消火栓1基を増設する。（手野町） 消防吏員6名を採用する。（実員183名：うち再任用職員1名） 消火栓1基を増設する。（真鍋二丁目） 消火栓1基を増設する。（手野町）
令和3年 (2021年)	3月25日 4月 1日 4月17日	高規格救急自動車（ニッサン）を土浦消防署へ更新配置する。(総務省補助) 消防吏員6名を採用する。（実員185名、その他の職員5名） 消防本部機構を整備する。総務課を消防総務課に改称、警防救急課に指揮指令係を新設する。（3課7係とする） 特別救助隊を16名体制とする。 機能別消防団通訳隊を発足する。
令和4年 (2022年)	3月 7日 3月17日 4月 1日 10月 1日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を神立消防署へ更新配置する。(総務省補助) 水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型 8,000ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。（防衛省補助） 消防吏員4名を採用する。（吏員184名、その他の職員5名） 消防職員の定数を185名から216名に改定する。 消防吏員4名を採用する。（吏員188名、その他の職員5名）
令和5年 (2023年)	3月24日 3月28日 4月 1日 7月27日 10月 1日	高規格救急自動車（ニッサン）を土浦消防署へ更新配置する。 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000ℓ）を土浦消防署へ更新配置する。（総務省補助） 消防長に檜山保明就任する。（20代） 消防吏員4名を採用する。（吏員190名、その他の職員6名） 連絡車（スズキ）を消防本部へ更新配置する。 消防吏員5名を採用する。（吏員195名、その他の職員6名）
令和6年 (2024年)	3月14日 3月29日 4月 1日 6月 6日 9月27日 10月 1日	高規格救急自動車（ニッサン）を荒川沖消防署へ更新配置する。 化学消防ポンプ自動車Ⅰ型（2,000ℓ）を神立消防署へ更新配置する。（総務省補助） 消防団長に坂本行哉就任する。（12代） 消防長の階級を「消防監」から「消防正監」に改正する。 消防吏員8名を採用する。（吏員201名、その他の職員5名） 消防本部機構を整備する。消防総務課に新消防署整備室を新設する。（3課1室7係とする。） ドローン（DJI社製）1機を消防本部へ新規配置する。 連絡車（ニッサンセレナ）を消防本部へ更新配置する。 消防吏員4名を採用する。（吏員205名、その他の職員5名）
令和7年 (2025年)	3月31日 4月 1日 5月 9日 10月 1日 11月19日 11月20日	広報車（ニッサン）を新治消防署へ更新配置する。 消防長に堀本良博就任する。（21代） 消防吏員5名を採用する。（吏員203名、その他の職員8名） 消防本部機構を整備する。予防課の予防係を防火指導係に、危険物係を危険物保安係に改称する。 水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型 2,000ℓ）を荒川沖消防署へ更新配置する。（防衛省補助） 消防吏員3名を採用する。（吏員206名、その他の職員8名） 土浦市防火・危険物安全協会設立10周年にあたり、連絡車（トヨタプロボックス）1台及びドローン（DJI社製）1機が同協会から寄贈され、消防本部に配置する。 連絡車（トヨタプロボックス）を消防本部へ新規配置する。
令和8年 (2026年)	2月12日 3月24日 4月 1日	連絡車（トヨタプロボックス）を消防本部へ更新配置する。 高規格救急自動車（ニッサン）を神立消防署へ更新配置する。 消防長に比氣武行就任する。（22代） 消防吏員3名を採用する。（吏員201名、その他の職員8名）

消防総務

消防組織

本市の消防は、１本部４署１分署、消防職員209名（うち消防吏員201名）、消防団員432名の体制をもって各種災害対応にあたっている。

市民の安心・安全を守り、維持していくためには、消防署の適切な配置や改修、修繕が不可欠であることから、消防署再編・再配置を推進し、将来にわたり持続可能なまちづくりをめざすため、令和６年消防総務課に新消防署整備室を新設した。

また、施設のみならず職員の教育にも力をそそぎ、質の充実をめざしている。

消防予算

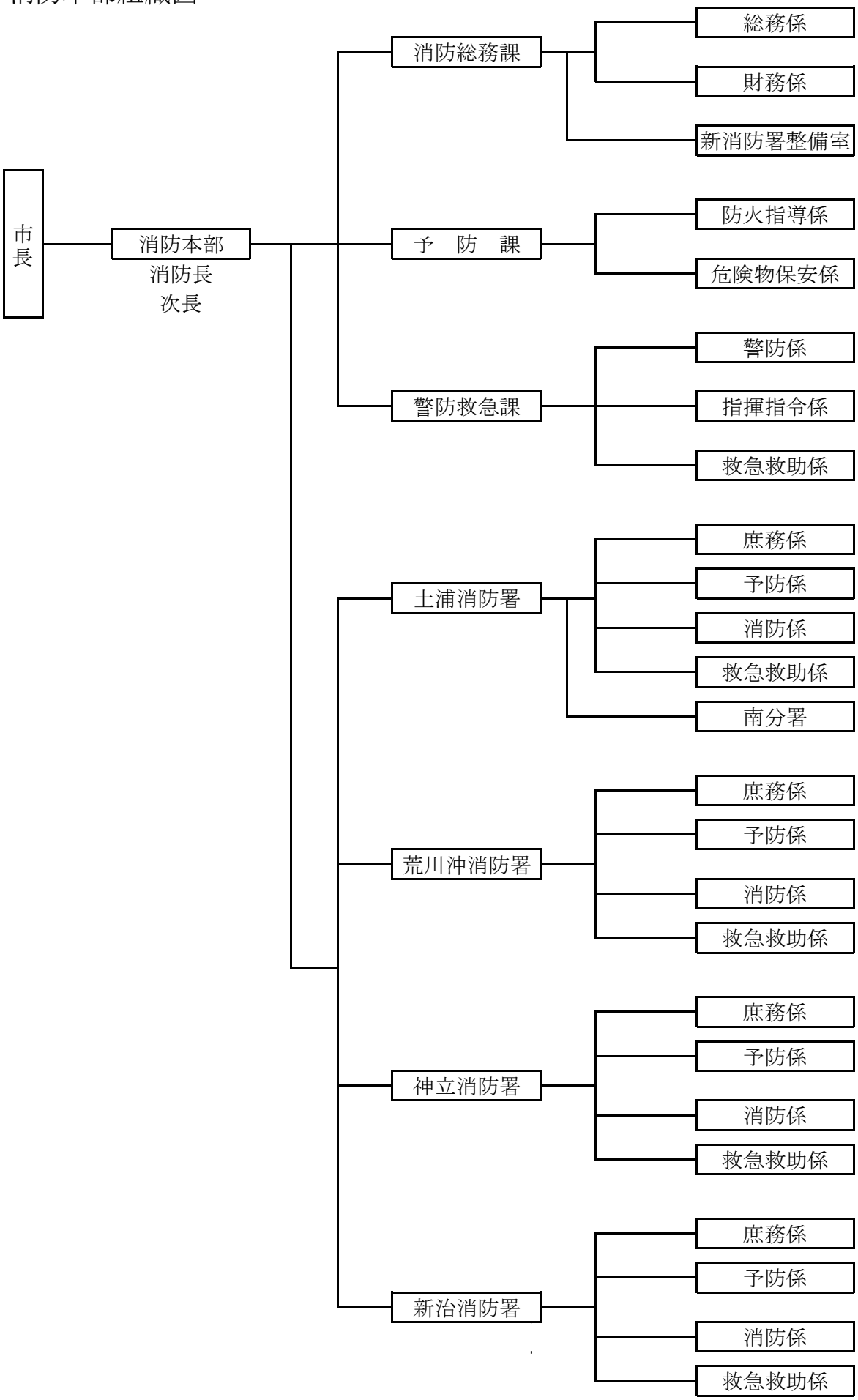
令和８年度本市の予算額は65,620,000千円であり、前年度と比較して12.1％増。消防予算は2,686,528千円であり、前年度と比較して21.8％増。市予算との構成比は4.1％となっている。

財政硬直化のおりにあっても、近年における都市構造や市民生活様式の変化に対応できるよう、消防力の整備を進展させるための適正な予算の確保に努めている。

消防施設

消防施設は、消防署再編・再配置を推進する中で、老朽化をはじめとする様々な課題を解決するため、荒川沖消防署と南分署を統合し、新たな場所に消防署を建設する事業を進めている。また、逐年整備強化を図り、車両を更新整備すると共に、時代に応じた車両及び各種資機材の導入を推し進めている。

消防本部組織図


市長
消防本部
消防長
次長
消防総務課
総務係
財務係
新消防署整備室
予　防　課
防火指導係
危険物保安係
警防救急課
警防係
指揮指令係
救急救助係
土浦消防署
庶務係
予防係
消防係
救急救助係
南分署
荒川沖消防署
庶務係
予防係
消防係
救急救助係
神立消防署
庶務係
予防係
消防係
救急救助係
新治消防署
庶務係
予防係
消防係
救急救助係

消防本部事務分掌

課名	係名	事　務　分　掌
消防総務課	総務係	１．消防の組織、事務の企画及び総合調整に関すること。 ２．儀式、各種会議及び渉外事務に関すること。 ３．文書、統計及び公印の管守に関すること。 ４．職員の人事、研修及び厚生に関すること。 ５．職員の公務災害補償に関すること。 ６．表彰に関すること。 ７．消防職員委員会に関すること。 ８．各種消防長会に関すること。 ９．他課の所管に属しない事項に関すること。
	財務係	１．予算及び決算に関すること。 ２．物品の購入、保管及び出納に関すること。 ３．職員の給与品及び貸与品に関すること。 ４．旅行命令に関すること。 ５．消防施設の整備及び管理に関すること。 ６．消防用財産に関すること。 ７．都市計画法に基づく開発行為の指導に関すること。
	新消防署整備室	１．新消防署の整備に関すること。
予防課	防火指導係	１．火災予防及び広報に関すること。 ２．建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 ３．消防用設備等の設置及び指導に関すること。 ４．建築物等の防火に関すること。 ５．予防査察及び違反処理に関すること。 ６．防火管理の指導に関すること。 ７．各種消防クラブの育成指導に関すること。 ８．防火・危険物安全協会に関すること。
	危険物保安係	１．危険物の規制に関すること。 ２．危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。 ３．危険物による火災予防に関すること。 ４．高圧ガス等に係る火災予防に関すること。 ５．火薬類取締法の施行に伴う事務のうち茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の規定により市が処理することとされたものに関すること。
警防救急課	警防係	１．火災、水害その他の災害の警戒防ぎょ及び調査に関すること。 ２．消防技術の研究、訓練及び指導に関すること。 ３．消防機械器具の研究及び技術指導に関すること。 ４．消防計画に関すること。 ５．消防の行事に関すること。 ６．消防相互応援協定に関すること。 ７．自主防災組織の育成指導に関すること。 ８．消防団に関すること。 ９．消防協会に関すること。
	指揮指令係	１．火災、救急その他災害出動指令及び通信統制に関すること。 ２．通信機器の運用及び維持管理に関すること。 ３．火災その他の災害及び救急に関する情報の収集に関すること。 ４．気象情報の収集及び伝達に関すること。 ５．火災警報の発令に関すること。 ６．警戒体制の配備に関すること。 ７．指揮隊の運用に関すること。 ８．茨城消防救急無線・指令センター運営協議会に関すること。
	救急救助係	１．救急救助技術の研究及び指導に関すること。 ２．救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関すること。 ３．救助隊に関すること。 ４．救急救助統計に関すること。 ５．応急手当の普及啓発に関すること。 ６．救急救助資機材の管理に関すること。 ７．患者等搬送事業の育成指導に関すること。 ８．土浦地区メディカルコントロール協議会等に関すること。

消防署事務分掌

署所名	係　　名	事　　務　　分　　掌
土浦消防署 荒川沖消防署 神立消防署 新治消防署	庶務係	１．署員の配置及び休暇等に関すること。 ２．文書の収受、発送及び保管に関すること。 ３．公印の管守に関すること。 ４．消防統計に関すること。 ５．庁用備品等の維持管理に関すること。 ６．その他各係に属しない事項に関すること。
	予防係	１．火災予防に関すること。 ２．火災予防思想の普及に関すること。 ３．建築物の確認、許可及び認可の同意に関すること。 ４．危険物の規制に関すること。 ５．高圧ガス等による火災予防に関すること。 ６．消防用設備等の設置及び指導に関すること。 ７．予防査察に関すること。 ８．防火管理に関すること。
	消防係	１．火災、水害その他の災害の警戒防ぎょに関すること。 ２．火災の原因及び損害の調査に関すること。 ３．り災証明に関すること。 ４．地理水利に関すること。 ５．署員の訓練に関すること。 ６．消防機械器具の維持、管理及び技術に関すること。 ７．機関員の技術管理に関すること。
	救急救助係	１．救急救助事務に関すること。 ２．救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関すること。 ３．応急手当の普及啓発に関すること。 ４．救急救助資機材の管理に関すること。 ５．救急救助技術の指導に関すること。

消防力の整備指針と現有

消防本部及び消防署

基準・現有 区分	基　　準	現　　有	充　足　率
消防本部	1	1	100%
署・分署	5	5	100%

消防車両等

基準・現有 区分	基　　準	現　　有	充　足　率
指 揮 車	1	1	100%
ポンプ自動車	9	9	100%
化学自動車	1	1	100%
梯子自動車	1	1	100%
救助工作車	1	1	100%
救急自動車	6	6	100%
小型救助艇	1	1	100%
合　　計	20	20	100%

人　員

基準・現有 区分	基　　準　　数	現　　有　　数	充　足　率
消防吏員	274	201	73%

消防水利

区　分 種類	公設	私設	その他	合計
消火栓	885	4		889
防火水槽	542	482		1,024
その他			66	66
合計	1,427	486	66	1,979

消防現勢

区 分 摘 要	消　防　吏　員			消 防 自 動 車			救 急 自 動 車		
現　　況	201　名			13　台			6　台		
細　　別	消防吏員 一人当たり			消防自動車 一台当たり			救急自動車 一台当たり		
値	面積・k㎡ 0.6	人口・人 703	世　帯 342	面積・k㎡ 8.7	人口・人 10,874	世　帯 5,288	面積・k㎡ 18.9	人口・人 23,561	世　帯 11,458

（霞ヶ浦の面積を含まない113.62ｋ㎡で算出）

消防職員の配置状況

条例定数及び職員数

		合　計
条例定数		216
職員数	消防吏員	201
	再任用	7
	人事交流	1

配置状況

区分 ＼ 階級			合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用及び人事交流
合計			209	1	1	9	47	30	50	50	13	8
消防本部	小計		31	1	1	3	13	3	8	1	0	1
	消防長		1	1								
	次長		1		1							
	消防総務課		9			1	4	1	2			1
	予防課		7			1	2	1	2	1		
	警防救急課		7			1	4	1	1			
	職員派遣		6				3		3			
消防署	小計		178	0	0	6	34	27	42	49	13	7
	土浦署	署長	0		兼任							
		署員	85			2	12	12	24	21	7	7
		南分署 分署長	1			1						
		南分署 署員	11				1	2	4	4		
	荒川沖署	署長	1			1						
		署員	28				7	5	4	10	2	
	神立署	署長	1			1						
		署員	28				8	4	6	8	2	
	新治署	署長	1			1						
		署員	22				6	4	4	6	2	

【職員派遣】
- いばらき消防指令センター：4名
- 茨城県防災・危機管理局消防安全課防災航空隊：1名
- 市長事務部局：1名

消防吏員勤続年数調

年数 / 階級	合計	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
合計	201	39	31	40	32	18	11	12	10	8
消防正監	1								1	
消防監	1							1		
消防司令長	9						3	1	4	1
消防司令	47				2	15	8	10	5	7
消防司令補	30			3	24	3				
消防士長	50		8	36	6					
消防副士長	50	26	23	1						
消防士	13	13								

消防吏員年齢調

年齢 / 階級	合計	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳以上
合計	201	0	23	38	35	31	24	16	18	9	7
消防正監	1									1	
消防監	1									1	
消防司令長	9							1	5	3	
消防司令	47						9	14	13	4	7
消防司令補	30					17	12	1			
消防士長	50			4	29	14	3				
消防副士長	50		15	29	6						
消防士	13		8	5							

諸手当

種　　別	支　　給　　基　　準			
時間外勤務手当	勤務1時間につき 1時間当たりの給与額の100分の125 午後10時から翌午前5時まで100分の150 ※ 週休日・祝日・年末年始 1時間当たりの給与額の100分の135 午後10時から翌午前5時まで100分の160			
休日勤務手当	勤務1時間につき 1時間当たりの給与額の100分の135			
機関業務手当	1当務	機関員が災害等現場又は消防署外で実施する訓練に出勤した場合に限る	1級	300円
			2級	250円
			3級	200円
救急業務手当	1回	救急業務に従事したとき	救急救命士	300円
			救急隊員	150円
災害業務手当	1回	水火災等の災害現場に出動し、作業に従事したとき		200円
特別救助業務手当	1回	特別救助隊員が救助業務に従事したとき		200円
緊急消防援助隊等派遣手当※	1日	消防組織法第39条第1項の規定による相互応援に基づく消防活動又は同法第45条第1項に規定する緊急消防援助隊として消防活動に従事したとき		1,080円
	1日	緊急消防援助隊としての消防活動が、日没から日出の間において行われた場合		1,620円
	1日	緊急消防援助隊としての消防活動が、著しく危険である区域で行われた場合		2,160円

※令和8年第2回土浦市議会定例会にて「土浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正」について議案提出され、「緊急消防援助隊等派遣手当」の金額が改正となる。

消防吏員教育状況

（令和7年度実績）

種別		回数・人員・階級	実施回数	受講人員	消防司令以上	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計			31 回	58 名	7 名	7 名	17 名	19 名	8 名
消防大学校		幹部科	1	1	1				
		火災調査科	1	1		1			
		女性活躍推進コース	1	1		1			
消防学校	初任教育	初任科	2	7					7
	専科教育	特殊災害科	1	1	1				
		火災調査科	1	2			2		
		救急科	2	7				6	1
		予防査察科	1	1				1	
		危険物科	0	0					
		救助科	1	1			1		
		警防科	1	2	2				
	特別教育	水難救助課程	1	1			1		
		操法指導者研修会（ポンプ）	1	1			1		
		操法指導者研修会（小型）	1	1			1		
各種研修等		救急救命士資格取得研修	1	1				1	
		指導救命士養成研修	1	1		1			
		ＡＨＡ－ＢＬＳプロバイダーコース	0	0					
		ＡＨＡ－PEARS プロバイダーコース	0	0					
		ＡＨＡ－ACLSプロバイダーコース	0	0					
		気管挿管病院実習	3	3			1	2	
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管	2	2	1	1			
		玉掛け技能講習	1	1			1		
		小型移動式クレーン運転技能講習	1	2				2	
		足場組立等作業主任者講習会	0	0					
		小型船舶免許取得講習会	1	1			1		
		小型船舶免許更新講習	1	2		2			
		日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会	0	0					
		予防技術検定	1	10	1		4	5	
		危険物取扱者保安講習会	1	3		1	2		
		危険物事故事例セミナー	1	1	1				
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	0	0					
		移動式クレーン自主点検者安全教育	0	0					
		フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	1	2			2		
		潜水士免許試験	1	2				2	
		チェーンソー作業従事者特別教育講習	0	0					
		消防・救急緊急自動車運転技能者	0	0					

消防吏員教育計画　　（令和8年度予定）

種別			期間（日）	予定人員(人)
消防大学校		警防科	47	1
消防学校	初任教育	初任科	101	6
	専科教育	特殊災害科	7	1
		火災調査科	10	2
		救急科	36	7
		予防査察科	9	1
		危険物科	0	0
		救助科	25	1
		警防科	14	2
	幹部教育	中級幹部科	7	1
		上級幹部科	3	1
	特別教育	水難救助課程	10	1
		操法指導者研修会（ポンプ）	1	1
		操法指導者研修会（小型）	1	1
		火災性状研修	1	1
各種研修等	救急救命士資格取得研修		120	0
	指導救命士養成研修		30	1
	AHA－BLSプロバイダーコース		1	0
	AHA－PEARSプロバイダーコース		1	0
	AHA－ACLSプロバイダーコース		2	0
	気管挿管病院実習		30症例	3
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管		3～5症例	3
	玉掛け技能講習		3	1
	小型移動式クレーン運転技能講習		3	2
	足場組立等作業主任者講習会		2	0
	小型船舶免許取得講習会		3	1
	小型船舶免許更新講習		1	2
	日本救急医学会関東地方会救急隊員学術研究会		1	0
	予防技術検定		1	10
	危険物取扱者保安講習会		1	3
	危険物事故事例セミナー		1	1
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習		3	1
	移動式クレーン自主点検者安全教育		0	0
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育		0	0
	潜水士免許試験		1	2
	ドローン操縦技能講習会		4	0
	チェーンソー作業従事者特別教育講習		3	0
	消防・救急緊急自動車運転技能者		4	0

特殊技能資格取得状況

種別＼階級		合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車整備士		2				1	1			
特殊無線技士		195	1	1	9	47	30	50	50	7
救急有資格者		183	1	1	9	47	30	50	43	2
うち救急救命士		69			3	19	12	18	15	2
うち気管挿管認定		49			3	19	12	14	1	
うち薬剤認定		65			3	19	12	17	13	1
うち拡大処置認定		65			3	19	12	17	13	1
危険物取扱者	甲種	7				3	2	2		
	乙種	149			1	22	28	53	41	4
消防設備士	甲種	7				3	3		1	
	乙種	3				1		1	1	
小型船舶操縦士		35			4	16	5	9	1	
無人航空機操縦士		2			1			1		
衛生管理者		4			1	2	1			
潜水士		58			4	16	12	21	5	
足場組立等作業主任者		19			2	12	3	2		
玉掛け技能講習修了者		45			6	17	10	12		
小型移動式クレーン運転技能講習修了者		47			6	20	11	10		
大型第一種自動車免許		178	1	1	9	47	30	48	41	1
大型第二種自動車免許		1				1				
大型特殊自動車免許		7				2	1	3	1	
特別管理産業廃棄物管理責任者		8				8				
特定化学物質等作業主任者		5				4	1			
チェーンソー取扱者		4				2	1	1		
酸素欠乏危険作業主任者		15			2	5	5	3		
整備管理者		3			1	2				

消防歳出予算及び科目内訳

（単位：千円）

区分＼年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予　算　額	1,881,037	1,950,398	2,047,611	2,205,216	2,686,528
対 前 年 比	98%	104%	105%	108%	122%
常 備 消 防 費	1,575,343	1,647,150	1,750,245	1,834,612	1,887,000
非常備消防費	76,320	66,652	71,399	72,283	60,953
消 防 施 設 費	228,765	236,035	225,269	297,575	738,159
水　防　費	609	561	698	746	416

土浦市一般会計歳出予算における消防歳出予算の比率

（単位：千円）

区分＼年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市 予 算 額	52,650,000	55,280,000	56,730,000	58,560,000	65,620,000
消 防 予 算 額	1,881,037	1,950,398	2,047,611	2,205,216	2,686,528
比 率 （％）	3.6	3.5	3.6	3.8	4.1

歳出決算状況

（単位：円）

区分＼年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 算 現 額	1,943,809,000	1,902,848,600	1,997,986,000	2,157,030,000	2,351,470,600
支 出 済 額	1,882,872,454	1,869,288,783	1,947,360,334	2,035,561,283	—
翌 年 度 繰 越 額	4,914,600	0	4,400,000	75,019,600	—
不　用　額	56,021,946	33,559,817	46,225,666	46,449,117	—

消防庁舎

名称	所在地	建物構造	面積（㎡）			開設
			建面積	延面積	敷地面積	
消防本部 土浦消防署	土浦市田中町2083番地1	庁舎：鉄骨造3階建（免震構造） 公用車車庫：鉄筋コンクリート・鉄骨造 訓練塔A：鉄骨・鉄筋コンクリート・ 鉄筋鉄骨コンクリート混構造 訓練塔B：鉄筋コンクリート造 キャノピー：鉄骨造	2,262.55	4,767.59	13,396.06	昭和30年4月 平成28年3月（移転）
南分署	土浦市桜ケ丘町13番1号	鉄骨平屋建	320.59	320.59	909.74	昭和58年12月
荒川沖消防署	土浦市中荒川沖町27番12号	庁舎：鉄筋コンクリート2階建 倉庫：軽量鉄骨造	365.43	537.82	3,350.17	昭和49年7月 平成24年12月（改修）
神立消防署	土浦市神立中央五丁目32番6号	庁舎：鉄筋コンクリート2階建 訓練塔1：軽量鉄骨造 訓練塔2：軽量鉄骨造	331.48	635.19	2,887.52	昭和53年5月 平成24年10月（改修）
新治消防署	土浦市大畑46番地	鉄筋コンクリート平屋建	385.30	360.10	3,420.48	昭和62年3月

管轄区域

名　　称	管　轄　区　域
土浦消防署	中央一・二丁目、城北町、大手町、文京町、立田町、東崎町、川口一・二丁目 大和町、有明町、桜町一～四丁目、大町、千束町、生田町、富士崎一・二丁目 田中一～三丁目、田中町、虫掛、中高津一～三丁目、下高津一～四丁目 上高津、上高津新町、天川一・二丁目、宍塚、矢作、飯田、佐野子、粕毛 真鍋一～六丁目、東真鍋町、西真鍋町、真鍋新町、殿里、木田余 木田余西台、木田余東台一～五丁目、湖北一・二丁目、並木一～五丁目 東並木町、西並木町、都和一～四丁目、常名
南分署	蓮河原町、蓮河原新町、滝田一・二丁目、港町一～三丁目、国分町 小松一～三丁目、小松ケ丘町、千鳥ケ丘町、永国、永国東町、永国台 小岩田、小岩田東一・二丁目、小岩田西一・二丁目、桜ケ丘町、大岩田 霞ケ岡町
荒川沖消防署	中、中村東一～三丁目、中村南一～六丁目、中村西根、西根南一～三丁目 西根西一丁目、卸町一・二丁目、右籾、摩利山新田、烏山一～五丁目 中荒川沖町、荒川沖東一～三丁目、荒川沖西一・二丁目、荒川沖、荒川本郷 沖新田、北荒川沖町、乙戸、乙戸南一～三丁目、小山田一・二丁目
神立消防署	今泉、粟野町、紫ケ丘、小山崎、中貫、中都町一～四丁目、笠師町 板谷一～七丁目、東都和、若松町、東若松町、東中貫町、神立町 神立中央一～五丁目、北神立町、中神立町、神立東一・二丁目 白鳥町、菅谷町、手野町、田村町、沖宿町、おおつ野一～八丁目
新治消防署	東城寺、小野、小野沢辺東城寺入会地 大志戸、本郷、永井、永井本郷入会地 小高、沢辺、田宮、大畑、田土部、下大島 高岡、藤沢新田、藤沢、上坂田、下坂田

消防本部（署）配置車両

所属	車両名称	種別	年式	シャシメーカー 艤装製作所	ポンプ性能 (積載水量)	規格 (cm)			総重量 (kg)	総排気量 (ℓ)	燃料	備考	緊急消防援助隊登録
						長さ	幅	高さ					
消防本部	本部 指揮2	指揮車	平成23年	トヨタ	—	487	179	162	1,935	2.49	ガソリン		
	本部 タンク1	水槽付 ポンプ車	平成19年	三菱ふそう 日本機械	A－2 (2,000ℓ)	668	228	300	10,650	7.54	軽油	予備車	
	本部 タンク２	水槽付 ポンプ車	平成21年	三菱ふそう 日本機械	A－2 (1,700+300ℓ)	725	230	300	10,320	7.54	〃	予備車	
	本部 ポンプ1	ポンプ車	平成25年	トヨタ GMいちはら	A－2	508	188	250	4,590	4.00	〃	予備車	
	本部 救急1	救急車	平成20年	トヨタ	—	564	189		3,245	2.69	ガソリン	予備車 高規格	
	本部 輸送1	人員搬送 車	平成27年	三菱ふそう MBMサービス	—	702	201	281	5,060	2.99	軽油	20人乗り マイクロバス	○
	連絡1	連絡車	平成24年	トヨタ	—	461	177	157	1,725	1.79	ガソリン		
	連絡2	連絡車	平成21年	ホンダ	—	339	147	188	1,410	0.65	〃		
	連絡3	連絡車	令和8年	トヨタ	—	424	169	152	1,620	1.49	〃		
	連絡4	連絡車	令和6年	日産	—	469	169	187	1,790	1.43	〃		
	連絡5	連絡車	平成26年	ニッサン	—	440	169	185	1,960	1.59	〃	最大積載量 500kg	
	連絡6	連絡車	平成21年	トヨタ	—	484	188	210	2,500	2.69	〃		
	連絡7	連絡車	平成15年	トヨタ	—	482	176	146	1,945	2.99	〃		
	連絡8	連絡車	平成13年	トヨタ	—	436	169	147	1,315	1.49	〃		
	連絡9	連絡車	令和5年	スズキ	—	339	147	176	1,230	0.65	〃	最大積載量350kg	
	連絡10	連絡車	令和7年	トヨタ	—	424	169	152	1,620	1.49	〃		
	救助艇1	小型 救助艇	平成20年	ヤンマー スズキマリーン	—	657	264	123	2,700	2.87	ガソリン		
土浦消防署	土浦 タンク1	水槽付 ポンプ車	令和5年	日野 日本機械	A-2 (2,000ℓ)	716	238	297	10,770	5.12	軽油		○
	土浦 タンク2	水槽付 ポンプ車	令和4年	日野 日本機械	A－2 (8,000ℓ)	940	249	320	21,120	8.86	〃		
	土浦 ポンプ1	ポンプ車	平成22年	日野 GMいちはら	A－2 (600ℓ)	580	188	273	6,795	4.00	〃	CAFS付	
	土浦 梯子1	はしご車35 m級	平成19年	UD 日本機械	—	1,115	249	375	20,370	21.20	〃	先端屈折	○
	土浦 救助1	救助 工作車	平成23年	日野 モリタ	—	769	230	320	11,265	6.40	〃	クレーン2.9t ウインチ　前・後5.0t	○
	土浦 救急1	救急車	令和3年	日産 京都オートワークス	—	533	188	273	3,255	2.48	ガソリン	高規格	
	土浦 救急2	救急車	令和5年	日産 京都オートワークス	—	533	188	273	3,255	2.48	〃	高規格	
	土浦本部 指揮1	指揮車	平成18年	トヨタ テクノクラフト	—	564	180	290	2,815	3.37	〃	高規格 救急車ベース	
	土浦 広報1	査察 広報車	平成15年	三菱	—	477	189	204	2,475	2.97	〃		
	土浦 搬送1	資機材 搬送車	平成23年	日野	—	684	219	267	7,960	4.00	軽油	クレーン 2.9ｔ	○

所属	車両名称		年　式	シャシメーカー 艤装製作所	ポンプ性能 (積載水量)	規　格　(cm)			総重量 (kg)	総排気量 (ℓ)	燃　料	備考	緊急消防 援助隊登録
						長　さ	幅	高　さ					
土浦消防署南分署	南タンク1	水槽付 ポンプ車	平成24年	日　野 モリタ	A-2 (2,000ℓ)	695	230	300	9,590	6.40	軽油		
	南救急1	救急車	平成31年	日　産 京都オートワークス	—	533	188	270	3,255	2.48	ガソリン	高規格	
	南広報1	査　察 広報車	平成28年	日　産	—	441	169		1,515	1.49	〃		
荒川沖消防署	荒川沖 タンク1	水槽付 ポンプ車	令和7年	日野 日本機械	A-2 (2,000ℓ)	710	236	295	10,810	5.12	軽油		
	荒川沖 ポンプ1	ポンプ車	平成29年	日　野 モリタ	A-2 (600ℓ)	580	192	295	6,825	4.00	〃	CAFS付	
	荒川沖 救急1	救急車	令和6年	日　産 京都オートワークス	—	533	188	249	3,315	2.48	ガソリン	高規格	○
	荒川沖 広報1	査　察 広報車	平成13年	三　菱	—	430	168	158	1,345	1.46	〃		
神立消防署	神立 化学1	化学車	令和6年	日野 日本機械	A-2 (1,500+300ℓ)	721	239	297	10,790	5.12	軽油		○
	神立 ポンプ1	ポンプ車	令和4年	日野 GMいちはら	A-2	575	190	290	6,115	4.00	〃		○
	神立 救急1	救急車	令和8年	日　産 京都オートワークス	—	533	188	249	3,335	2.48	ガソリン	高規格	○
	神立 広報1	査　察 広報車	平成30年	日　産 京都オートワークス	—	469	169	201	2,110	1.99	〃		
新治消防署	新治 タンク1	水槽付 ポンプ車	平成25年	いすゞ モリタ	A-2 (2,000ℓ)	705	230	300	10,830	5.19	軽油	CAFS付 高床車	
	新治 ポンプ1	ポンプ車	平成24年	いすゞ モリタ	A-2	584	188	280	5,515	2.99	〃		
	新治 救急1	救急車	平成25年	日　産 京都オートワークス	—	564	190	270	3,325	3.49	ガソリン	高規格	
	新治 広報1	査　察 広報車	令和7年	日産	—	518	169	249	3,375	2.43	軽油		

消防車両等使用状況

所属	車両名称	使用状況（回数）				総走行(km)	アワーメーター		給油量(ℓ)
		出動	その他	訓練	合計		計	総計	
消防本部	本部指揮2	2	22	0	24	57,760			93
	本部タンク1	16	149	11	176	77,137	196	9,012	554
	本部タンク2	0	13	14	27	87,020	57	8,218	85
	本部ポンプ1	1	12	0	13	17,098	133	1,931	276
	本部救急1	1,287	180	6	1,473	258,720			6,145
	本部輸送1	14	33	1	48	24,872			244
	連絡1	0	323	0	323	167,277			456
	連絡2	0	451	0	451	129,691			468
	連絡3	0	31	0	31	663			31
	連絡4	0	390	1	391	15,120			568
	連絡5	0	389	0	389	80,842			631
	連絡6	0	309	0	309	108,683			635
	連絡7	0	164	0	164	109,296			442
	連絡8	0	372	0	372	182,869			477
	連絡9	0	200	4	204	6,143			177
	連絡10	0	101	0	101	2,084			126
土浦消防署	土浦タンク1	115	481	56	652	18,452	613	1,913	2,220
	土浦タンク2	41	47	31	119	6,019	226	944	1,080
	土浦ポンプ1	35	1,076	31	1,142	141,465	1,019	15,160	2,596
	土浦梯子1	7	84	20	111	19,368	225	5,207	1,575
	土浦救助1	162	187	25	374	62,674	510	8,666	1,709
	土浦救急1	1,537	53	1	1,591	146,405	2,109	11,487	6,032
	土浦救急2	1,418	41	2	1,461	84,311	2,001	6,490	5,475
	土浦本部指揮1	109	231	11	351	180,775			1,430
	土浦広報1	7	71	2	80	73,083			389
	土浦搬送1	8	7	4	19	5,126			153

消防車両等使用状況

所属	車両名称	使用状況（回数）				走行(km)	アワーメーター		給油量(ℓ)
		出動	その他	訓練	合計		計	総計	
土浦消防署南分署	南タンク1	28	181	34	243	38,135	292	4,833	913
	南救急1	1,739	200	12	1,951	178,687	2,364	15,343	6,721
	南広報1	0	160	3	163	24,714			159
荒川沖消防署	荒川沖タンク1	30	326	23	379	5,766	506	506	1,573
	荒川沖ポンプ1	16	834	28	878	15,873	2,074	2,821	1,920
	荒川沖救急1	1,398	70	4	1,472	51,041	2,232	4,137	5,151
	荒川沖広報1	2	126	1	129	84,540			175
神立消防署	神立化学1	67	435	26	528	6,130	572	1,336	2,171
	神立ポンプ1	24	741	32	797	8,573	745	1,589	2,093
	神立救急1	19	1	0	20	867			107
	神立広報1	2	111	1	114	1,472			174
新治消防署	新治タンク1	29	413	33	475	83,913	524	7,044	2,037
	新治ポンプ1	10	40	8	58	19,311	162	3,500	251
	新治救急1	425	150	5	580	171,331			3,151
	新治広報1	5	105	2	112	1,971			293

消防車両使用経過年数（所属別）

本 部　16台																					
年数 種別	1年 未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年 以上	種別計
指揮車															1						1
水槽付ポンプ車																				1	1
ポンプ車													1								1
高規格救急車												1									1
人員搬送車												1									1
連絡車	2		1									1		1			2			3	10
小型救助艇																		1			1
合計	2		1									3	1	1	1		2	1		4	16

土浦消防署　10台																					
年数 種別	1年 未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年 以上	種別計
指揮車																				1	1
水槽付ポンプ車				1	1																2
ポンプ車																	1				1
はしご車																			1		1
救助工作車															1						1
高規格救急車				1			1														2
資機材搬送車																1					1
広報車																				1	1
合計				2	1		1								1	1	1		1	2	10

南分署　3台																					
年数 種別	1年 未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年 以上	種別計
水槽付ポンプ車															1						1
高規格救急車								1													1
広報車										1											1
合計								1		1					1						3

荒川沖消防署　4台

種別＼年数	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年以上	合計
水槽付ポンプ車	1																				1
ポンプ車										1											1
高規格救急車			1																		1
広報車																				1	1
合計	1		1							1										1	4

神立消防署　4台

種別＼年数	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年以上	合計
水槽付ポンプ車			1																		1
ポンプ車					1																1
高規格救急車	1																				1
広報車									1												1
合計	1		1		1				1												4

新治消防署　4台

種別＼年数	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年以上	合計
水槽付ポンプ車														1							1
ポンプ車															1						1
高規格救急車														1							1
広報車		1																			1
合計		1												2	1						4

消防団　38台

種別＼年数	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年以上	合計
ポンプ車				1						1				1	1		2	1	1	16	24
小型動力ポンプ積載車														2	2	2				8	14
合計				1						1				3	3	2	2	1	1	24	38

消防用ホース保有状況

（単位：本）

種 別	土浦消防署	南分署	荒川沖消防署	神立消防署	新治消防署	種別合計
65mm×20m	188	29	137	98	106	558
50mm×20m	70	29	77	60	52	288
40mm×20m	31	3	12	26	7	79
所属別合計	289	61	226	184	165	925

泡消火薬剤備蓄状況

（単位：ℓ）

所　属 種　別	土浦消防署	南分署	荒川沖消防署	神立消防署	新治消防署	種別合計
メガフォームＡＧＦ－Ｔ（県受託・耐アルコール泡）	3,500		500	500	500	5,000
メガフォームＦ－626Ｔ（水成膜泡）	800					800
ミラクルフォーム	300		220	280	360	1160
フォレックスパン	200		180	200		580
三愛スーパーフォーム	480	180	140	20	80	900
ファイヤーファイティングフォーム	10			150		160
スノーラップＳＤ	320					320
所属別合計	5,610	180	1,040	1,150	940	8,920

消火栓ホース格納庫配備状況

（単位：基）

合計	東城寺	小野	大志戸	本郷	永井	沢辺	小高	田宮
	4	6	9	16	18	15	5	6
238	高岡	田土部	藤沢新田	藤沢	大畑	上坂田	下坂田	
	28	9	5	44	34	18	21	

消防資機材装備状況

種別	区分	本部	土浦消防署	南分署	荒川沖消防署	神立消防署	新治消防署	計
一般救助用資機材	かぎ付はしご		4		1			5
	金属製ワイヤー梯子		1					1
	救命索発射銃		2					2
	三連梯子	2	4	1	3	3	2	15
	二連梯子				1			1
	空気式救助マット		2					2
	担架（平・バスケット型）		3		1			4
	救助用縛帯		3		3	1	2	9
重量物排除用資機材	油圧ジャッキ（テレスコピックラム）		2					2
	油圧マルチツール		1		1	1		3
	大型油圧スプレッダー		1				1	2
	可搬ウインチ（チルホール）		3		1		1	5
	チェーンブロック		1					1
	マンホール救助器具		1					1
	マット型空気ジャッキ		4					4
	救助用支柱器具		4					4
切断用資機材	油圧切断機（ペダルカッター）		1					1
	大型油圧切断機		1				1	2
	酸素溶断器		1					1
	エンジンカッター		3		1	1	1	6
	チェーンソー		2	1	1	1	2	7
	鉄線カッター		5	3	2	2	2	14
	空気鋸（エアソー）		2		1	1		4
破壊用資機材	万能斧	3	9	2	2	3	1	20
	携帯用コンクリート破壊器具（ストライカー）		1	1	1			3
	ハンマドリル		3					3
	ハンマー		5	1	2	3	2	13
	削岩機		2		1			3
呼吸保護用資機材	空気呼吸器	15	19	4	7	7	7	59
	酸素呼吸器		2					2
	防塵マスク		16		8	5		29
	空気ボンベ（大）		5		5			10
	空気ボンベ（小）		85	12	36	33	19	185
	酸素ボンベ		47	24	22	24	21	138
	送排風機		2					2
測定用機材	有毒ガス測定器		2	1	2	1	1	7
	放射線測定器		27					27
	可燃性ガス測定器		4	1	2	1	1	9
	酸素濃度測定器		4	1	2	1	1	9
除染用具	除染シャワー		1					1
	除染テント		1					1

種別	区分	本部	土浦消防署	南分署	荒川沖消防署	神立消防署	新治消防署	計
作業用保護具	耐電衣		2					2
	耐電手袋		9			6		15
	耐電ズボン		2					2
	耐電長靴		3					3
	携帯警報機		19	4	7	7	7	44
	耐熱服		2			2		4
	陽圧式化学防護服		5					5
	化学防護服		42					42
水難救助用資機材	救命胴衣		66	7	11	16	7	107
	救命浮環		14			2	2	18
	救命ボート（ゴム・アルミ）		3					3
	船外機		2					2
	水中スピーカー		1					1
	潜水器具		8					8
高度救助資機材	ダイヤモンドチェーンソー		1					1
	画像探索機Ⅰ型		1					1
	画像探索機Ⅱ型		1					1
	地中音響探知機		1					1
	地震警報装置（フレックル）		1					1
	夜間暗視装置（ナイトビジョン）		1					1
	レスキューレーダー		1					1
	二酸化炭素・アンモニア濃度測定装置		1					1
緊急消防援助隊支援資機材	エアーテント	1	1					2
	気化式冷風機		1					1
	ポータブルヒーター		1					1
	リチウムイオン蓄電池		1					1
現場活動補助資機材	ドローン	2						2
	投光器	1	5	2	2	2	2	14
	携帯拡声器		5	2	2	2	2	13
	応急処置セット		6	2	2		1	11
	携帯投光機	1	5				1	7
	車両移動器具		1					1
	発電機		7	1	2	4	3	17
	携帯無線機(車載無線機)	7	10	3	4	4	4	32
	携帯無線機(携帯無線機)	11	12	2	5	5	5	40
	移動局無線装置（可搬・卓上型）	3	1	1	2	2	2	11
	携帯無線機(署活系)	14	29	7	9	9	9	77
その他資機材	緩降機		2					2
	エアーフォームノズル		2	1	2	2	3	10
	可搬式小型消防ポンプ		1		1		2	4
	ジェットシューター		6	3	3	5	8	25
	可搬式消火器具							0
	ロープレスキュー資機材一式		1				1	2
	胴付長靴		19	2	2	4	4	31

水防用資機材備蓄一覧表

水防倉庫所在地　　川口二丁目
桜町四丁目

品名	単位	数量	品名	単位	数量
掛矢	丁	17	土のう袋	枚	34,500
たこ	丁	5	ビニールロープ	玉	9
なた	丁	3	フルコンシート	枚	10
竹とげ鎌	丁	1	ビニールシート	枚	30
目通し	丁	10	木杭（5ｍ）	本	10
エンピ	丁	6	木杭（3ｍ）	本	90
トウグワ	丁	5	金杭（1.5ｍ）	本	428
丸スコップ	丁	68	金杭（1.2ｍ）	本	325
ツルハシ	丁	3	アルミボート	艇	2
草刈鎌	丁	24	大ハンマー	丁	6
手鎌	丁	10	オーガ	機	1
のこぎり鎌	丁	7	水中ポンプ	台	5
おの	丁	15	ポンプ	台	4
のこぎり	丁	7	救命胴衣	着	90
ハンマー	丁	16	草刈機	台	1
ペンチ	丁	2	可搬式草刈機	台	8
一輪車	台	13	麻ロープ（6ｍｍ×100ｍ）	玉	20
角スコップ	丁	36	ヘルメット	個	100
穴あきスコップ	丁	24	番線切	丁	4
炊出釜	セット	1	鉄線	ｋｇ	30
			PPロープ	巻	41

予防編

予防

近年、建築物はより高度な建築技術の開発とともにますます大規模化、高層化、特殊化等が進展しているため、消防行政の一つとして火災予防対策を充実させることは、安心・安全な社会を構築するにあたり最も重要な要素である。

防火対象物については、現況を把握し、適正な消防用設備等の維持管理を継続させるとともに、違反に対して早急かつ厳正な指導を行うため、査察力を強化し、火災による被害の軽減を図る。また、全国で起きた社会的影響の大きい火災を踏まえ、市内の同様な防火対象物には緊急査察を実施し、類似火災の予防に努めている。さらに、消防訓練等を活用し、各対象物の実情に合った防火管理体制を構築させることで、より一層の火災予防対策の充実を図っている。

一般住宅については、住宅用火災警報器の更新及び感震ブレーカーの普及促進を市の広報誌やホームページに掲載し、家庭における火災予防思想の向上につなげている。

危険物施設等

危険物施設等については、定期査察により施設の適正な維持管理や危険物の貯蔵・取扱い、定期点検の実施などを是正指導している。特に危険物の漏えい発見が遅れる可能性のある地下貯蔵タンクを保有する施設設置者に対しては、在庫管理の重要性を啓発し、危険物が漏えいした際の早期発見、早期通報、早期拡大防止の助言、指導を強化している。また、危険物取扱者を対象とした会議を開催し、法令改正の説明や事故事例、日常点検について講習を行うことで、一層の自主保安体制強化を促し、火災、漏えい事故の未然防止を図っている。

消防クラブ等

消防クラブ等については、幼年・少年消防クラブの活動を通して指導者から子供達へ災害に対する知識や経験を伝え、防災への意識啓発を図っている。

女性防火クラブについては、クラブ活動を通して地域の防火意識の向上だけでなく、消防行政への理解を地域住民へつなぐ役割を担っている。

予防

防火対象物及び中高層建築物状況（延面積 150㎡以上）

防火対象物区分 ＼ 階数			2 階以下	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階以上	合計
(1)項	イ	劇場、映画館	2						2
	ロ	公会堂、集会場	54	6	2				62
(2)項	イ	キャバレー、カフェー	3	3					6
	ロ	遊技場、ダンスホール	14		1				15
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	5	1	3				9
	ニ	カラオケ、個室ビデオ店等	6						6
(3)項	イ	待合、料理店の類	6						6
	ロ	飲食店	146	15	4				165
(4)項		百貨店、マーケット、店舗	230	7	2				239
(5)項	イ	旅館、ホテル、宿泊所	25	8	7	5	6	10	61
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,053	222	112	38	18	51	1,494
(6)項	イ	病院、診療所、助産所等	66	19	6	1	3		95
	ロ	老人短期入所施設等	91	6	2	1	1	2	103
	ハ	老人デイサービスセンター等	127	9			1		137
	ニ	幼稚園・特別支援学校	18						18
(7)項		小中高大学校、各種学校	98	50	22	10	4	1	185
(8)項		図書館、博物館、美術館	4			1			5
(9)項	イ	蒸気浴場等の特殊浴場	6	2	14		1		23
	ロ	（イ）以外の公衆浴場							0
(10)項		車両の停車場	1	2					3
(11)項		神社、寺院、教会の類	33	3		1			37
(12)項	イ	工場、作業場	448	17	7	1			473
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							0
(13)項	イ	自動車車庫、駐車場	47	2	2	1			52
	ロ	飛行機の格納庫	2						2
(14)項		倉庫	456	15	3		2		476
(15)項		前各号に該当しない事業所	626	89	24	18	10	16	783
(16)項	イ	特定用途が属する複合対象物	241	89	41	17	10	21	419
	ロ	（イ）以外の複合対象物	84	38	23	11	4	8	168
(17)項		重要文化財建築物等	5						5
合　計			3,897	603	275	105	60	109	5,049

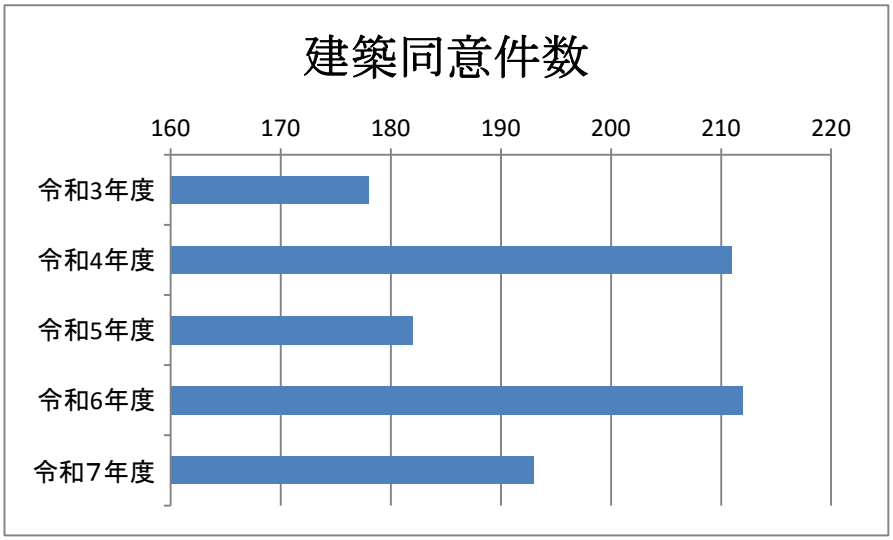
建築同意

建築同意事務処理状況

区分 月別	新　築	増　築	改　築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合　計
4月	10								10
5月	9								9
6月	28						2		30
7月	9								9
8月	14	1				1			16
9月	15						1		16
10月	14						1		15
11月	20								20
12月	10						1		11
1月	15	4							19
2月	19	1	1				1		22
3月	15						1		16
合　計	178	6	1			1	7		193

建築同意件数累年比較（過去5年間）

年　別	件　数
令和3年度	178
令和4年度	211
令和5年度	182
令和6年度	212
令和７年度	193



防火対象物使用開始検査状況

防火対象物区分 ＼ 種別			新　築	増改築	用途変更	その他	合　計
(1)項	イ	劇場、映画館					
	ロ	公会堂、集会場	1	1		1	3
(2)項	イ	キャバレー、カフェー					
	ロ	遊技場、ダンスホール					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					
	ニ	カラオケ、個室ビデオ店等					
(3)項	イ	待合、料理店の類					
	ロ	飲食店	3		1	3	7
(4)項		百貨店、マーケット、店舗	7				7
(5)項	イ	旅館、ホテル、宿泊所	1		2		3
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	14			2	16
(6)項	イ	病院、診療所、助産所等	1				1
	ロ	老人短期入所施設等	4				4
	ハ	老人デイサービスセンター等	4		8	10	22
	ニ	幼稚園・特別支援学校					
(7)項		小中高大学校、各種学校				2	2
(8)項		図書館、博物館、美術館					
(9)項	イ	蒸気浴場等の特殊浴場				3	3
	ロ	（イ）以外の公衆浴場					
(10)項		車両の停車場					
(11)項		神社、寺院、教会の類					
(12)項	イ	工場、作業場	5	1		1	7
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ					
(13)項	イ	自動車車庫、駐車場	2				2
	ロ	飛行機の格納庫					
(14)項		倉庫	24	1	1	1	27
(15)項		前各号に該当しない事業所	17	1	2	9	29
(16)項	イ	特定用途が属する複合対象物			24	25	49
	ロ	（イ）以外の複合対象物			1	1	2
(17)項		重要文化財建築物等					
合　計			83	4	39	58	184

防火対象物立入検査及び消防用設備等設置検査実施状況

防火対象物区分 ＼ 立入検査 消防用設備等		立入検査	消火器	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	屋外消火栓設備	水噴霧消火設備等	自動火災報知設備	非常警報設備	火災通報装置	避難器具	誘導灯・誘導標識	消防用水	連結送水管	合計
(1)項	イ	1													
	ロ	6	1					2	2			3			8
(2)項	イ	2													
	ロ	4						2							2
	ハ														
	ニ							2				1			3
(3)項	イ														
	ロ	32	3						3		2	5			13
(4)項		40	5	2				10	3		1	8			29
(5)項	イ	9	3					3	1			4			11
	ロ	3	16	1				12	1		6	7		2	45
(6)項	イ	4	1					2				1			4
	ロ	11	4		5			6	1	7	3	6			32
	ハ	7	12	1				8	1	5	2	14			43
	ニ	2										6			6
(7)項		2		3				5				4			12
(8)項		2													
(9)項	イ	8	1					1			1	2			5
	ロ														
(10)項								1							1
(11)項				1				2				2			5
(12)項	イ	10	11	3		2	4	35				15	2		72
	ロ														
(13)項	イ	6					2	3							5
	ロ														
(14)項		2	4	1		2		7				6			20
(15)項		12	11	4				17	3		1	20			56
(16)項	イ	30	14		6		1	35	11	2	7	25			101
	ロ		1					2				1			4
(17)項															
合　計		193	87	16	11	4	7	155	26	14	23	130	2	2	477

防火対象物防火・防災管理状況

区分＼種別		防火管理該当件数	防火管理者選任状況	防火管理者選任届出率	消防計画書作成届出状況	消防計画書作成届出率	防災管理該当件数	防災管理者選任状況	自衛消防組織設置状況	防災管理者及び自衛消防組織届出率
(1)項	イ	2	2	100%	2	100%				
	ロ	70	54	77%	49	70%				
(2)項	イ	5	4	80%	3	60%				
	ロ	16	15	94%	15	94%				
	ハ	4	4	100%	3	75%				
	ニ	5	4	80%	4	80%				
(3)項	イ	4	3	75%	3	75%				
	ロ	144	97	67%	88	61%				
(4)項		158	127	80%	121	77%				
(5)項	イ	47	40	85%	39	83%	1	1	1	100%
	ロ	158	121	77%	102	65%				
(6)項	イ	37	34	92%	33	89%	1	1	1	100%
	ロ	100	97	97%	96	96%				
	ハ	92	89	97%	87	95%				
	ニ	24	22	92%	21	88%				
(7)項		180	172	96%	170	94%	1	1	1	100%
(8)項		3	3	100%	3	100%				
(9)項	イ	18	15	83%	14	78%				
	ロ									
(10)項		2	2	100%	2	100%				
(11)項		17	8	47%	8	47%				
(12)項	イ	234	227	97%	190	81%	6	6	6	100%
	ロ									
(13)項	イ	35	34	97%	31	89%				
	ロ	2	2	100%	2	100%				
(14)項		121	108	89%	91	75%				
(15)項		322	282	88%	245	76%	1	1	1	100%
(16)項	イ	210	140	67%	132	63%	3	3	3	100%
	ロ	36	23	64%	21	58%				
(17)項		3	3	100%	3	100%				
合　計		2,049	1,732	85%	1,578	77%	13	13	13	100%

住宅用火災警報器設置状況

調査件数	設置件数	設置率
11,250	8,702	77.35%

※データは平成29年からの調査件数

住宅用火災警報器及び感震ブレーカー取付支援実績

種別件数 年度	住宅用火災警報器設置件数	感震ブレーカー設置件数
令和3年度	11	0
令和4年度	5	1
令和5年度	4	1
令和6年度	1	2
令和7年度	1	1

予防技術資格者の推移状況（過去5年間）

人数 年度	消防実員数	資格者数	資格保有率
令和3年度	185	72	39%
令和4年度	191	72	38%
令和5年度	201	73	36%
令和6年度	205	77	38%
令和7年度	208	81	39%

危険物施設等

危険物施設数及び立入検査状況

区分＼施設別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	営業用給油取扱所	自家用給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
施設数	413	2	72	44	5	90		48	11	38	39	2	62
廃止施設数	21		1			2		14	1	1	1		1
立入検査実施件数	198	1	50	25	2	19		35	9	3	5	2	47

危険物施設の許可等

区分	施設別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	営業用給油取扱所	自家用給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
許可	設置	10		2	1		1		4	1		1		
許可	変更	38	2	1	1		4		9		7	3		11
検査	設置完成	9		2	1				4	1		1		
検査	変更完成	34	2		1		4		9		7	2		9
検査	水張	34												
検査	水圧	3												
承認	仮使用	28	2	1	1		4				6	3		11
承認	仮貯蔵・仮取扱	6												
認可	予防規程	1									1			

危険物申請手数料

（令和7年度中　単位：円）

区　　分		件　数	手数料
許可	設置	10	255,000
	変更	38	762,000
検査	設置完成	9	114,500
	変更完成	34	343,500
	水張	34	204,000
	水圧	3	33,000
承認	仮使用	28	151,200
	仮貯蔵・仮取扱	6	32,400
合　　計		162	1,895,600

火薬類申請手数料

（令和7年度中　単位：円）

区　　分		件　数	手数料
許可	譲渡許可		
	譲受許可		
	消費許可	4	31,600
合　　計		4	31,600

消防クラブ等

幼年消防クラブ

区分	クラブ名称	所在地	人数
幼年	白帆幼稚園　幼年消防クラブ	蓮河原新町11-35	16
幼年	認定こども園エンゼルスポーツ幼稚園　幼年消防クラブ	烏山五丁目2039	77
幼年	日大幼稚園　幼年消防クラブ	桜ケ丘町17-45	132
幼年	ひたち学院幼稚園　太陽っ子クラブ	乙戸1029-1	136
幼年	新学幼稚園　幼年消防クラブ	手野町4524	146
幼年	もみじこども園　幼年消防クラブ	富士崎二丁目1-46	195
幼年	桜川保育園　幼年消防クラブ	田中三丁目4-5	38
幼年	新生めぐみ保育園　幼年消防クラブ	中村南一丁目24-1	17
幼年	千鳥ケ丘保育園　幼年消防クラブ	千鳥ケ丘町10-25	65
幼年	都和保育園　幼年消防クラブ	並木二丁目8-4	91
幼年	神立保育所　幼年消防クラブ	神立中央三丁目8-22	60
幼年	天川保育所　幼年消防クラブ	天川一丁目24-1	59
幼年	土浦幼稚園　幼年消防クラブ	文京町9-6	90
幼年	荒川沖保育所　幼年消防クラブ	荒川沖西二丁目10-11	19
幼年	土浦愛隣会保育所　幼年消防クラブ	右籾1681	93
幼年	めぐみ保育園　幼年消防クラブ	烏山五丁目2263-8	55
幼年	まなべすみれ幼稚園　幼年消防クラブ	東真鍋町22-11	191
幼年	土浦聖母幼稚園　幼年消防クラブ	大町9-6	54
幼年	あおば台幼稚園　ひまわりクラブ	右籾2755	99
幼年	中央幼稚園　幼年消防クラブ	神立中央二丁目1-18	155
合計	20クラブ		1,788

少年消防クラブ

区分	クラブ名称	所在地	人数
少年	土浦小学校　少年消防クラブ	大手町13-32	188
少年	下高津小学校　少年消防クラブ	下高津四丁目2-9	186
少年	東小学校　少年消防クラブ	中455	130
少年	大岩田小学校　少年消防クラブ	大岩田2066-1	101
少年	真鍋小学校　なでしこクラブ	真鍋四丁目3-1	247
少年	都和小学校　少年消防クラブ	並木五丁目4826-1	138
少年	荒川沖小学校　少年消防クラブ	荒川沖東三丁目24-3	115
少年	中村小学校　少年消防クラブ	中村南五丁目29-5	125
少年	土浦第二小学校　少年消防クラブ	富士崎二丁目1-41	144
少年	上大津東小学校　少年消防クラブ	沖宿町2489	127
少年	神立小学校　少年消防クラブ	中神立町4	147
少年	右籾小学校　少年消防クラブ	右籾1728-3	91
少年	都和南小学校　少年消防クラブ	常名3090	89
少年	乙戸小学校　少年消防クラブ	乙戸南二丁目1-1	110
少年	菅谷小学校　少年消防クラブ	菅谷町1464-8	38
少年	新治学園義務教育学校　少年消防クラブ	藤沢913	125
合計	16クラブ		2,101

女性防火クラブ

（令和8年3月31日現在）

区分	クラブ名称	代表者	人数
女性	板谷町女性防火クラブ	伊藤　勝子	17
女性	並木町女性防火クラブ	鈴木　幸子	10
女性	真鍋5丁目女性防火クラブ	飯田　悦子	36
合計	3クラブ		63

警防救急

警　防

令和7年中の火災件数は70件で、前年に比べ11件増加し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は4.9件であり、前年から0.7件増加している。

火災種別ごとに見ると、建物火災は33件で、全体の47.1％を占めている。次いでその他の火災30件（42.9％）、車両火災5件（7.1％）、林野火災2件（2.9％）となっている。

死傷者については、死者は2人、負傷者は11人である。

主な火災原因種別に見ると、放火（疑い含む）が8件で11.4％、次いでたばこ、こんろ、電気機器、マッチ・ライターが5件で7.1％の順である。

救　急

令和7年中の救急出動件数は8,214件、搬送人員は7,369人であり、前年に比べ出動件数で748件（8.3％）減少、搬送人員で626人（7.8％）減少している。

1日当たりの平均出動件数は22.5件（前年24.6件）である。市民17人に1人が救急隊によって医療機関へ搬送されたことになる。

事故種別ごとに見ると、急病が5,614件（構成比68.3％）、一般負傷が1,070件（同13.0％）、交通事故が562件（同6.8％）、転院搬送が565件（同6.9％）の順となっている。

救　助

令和7年中の救助出動件数は141件、救助人員は62人であり、前年（134件、62人）に比べ出動件数で7件（5.2％）増加、救助人員は前年と同値となっている。

事故種別ごとに見ると、建物等による事故50件（35.5％）、その他の事故40件（28.4％）、交通事故31件（22.0％）の順となっている。

通　信

指令業務は、県内20消防本部33市町の災害通報の受信、出動指令その他の指令業務を共同で行う「いばらき消防指令センター」が水戸市内原町に設置され、平成28年から共同運用を開始した。

指令業務を共同運用することにより、20消防本部全体の様々な情報が一元化・共有化されることとなり、より的確で迅速な消防・救急業務が可能となった。

土浦市内における令和7年中の119番通報件数は、「災害通報」は7,827件、「間違い・いたずら」は573件、「その他」は538件となっており、前年に比べ「災害通報」は8.1％減少、「間違い・いたずら」は4.2％増加、「その他」は10.2％増加となっている。

令 和 7 年 中 火 災 発 生 状 況

（令和7年12月31日現在）

火災件数	70	件
建物火災	33	件
林野火災	2	件
車両火災	5	件
船舶火災	0	件
その他の火災	30	件
損害見積額	163,450	千円
死傷者		
死者	2	人
負傷者	11	人

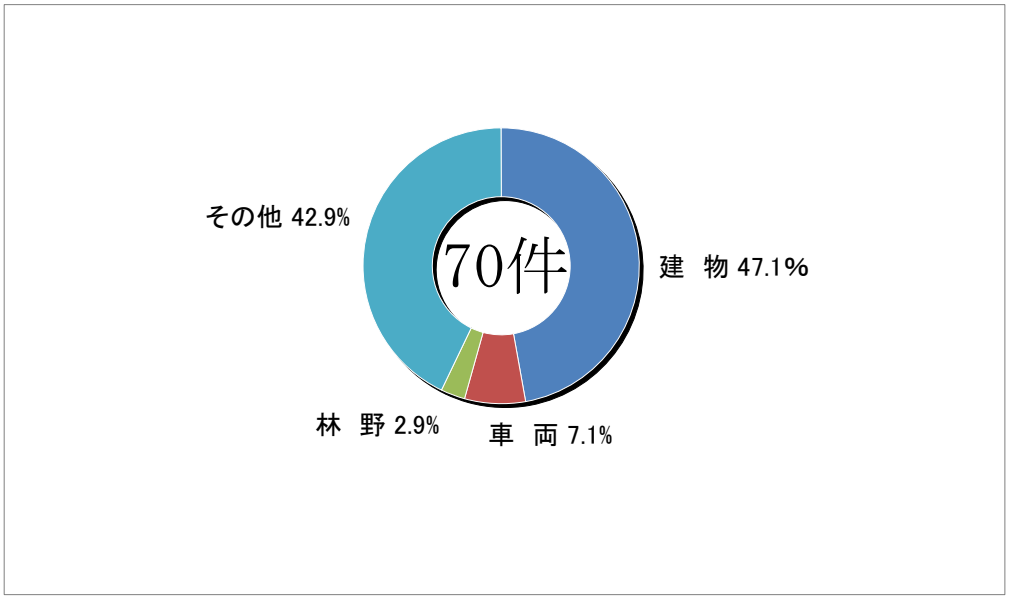
建物火災について

焼損面積	床面積	1,507	㎡
	表面積	130	㎡
損害見積額		160,886	千円
焼損棟数		72	棟
り災世帯		38	世帯
り災人員		85	人

火災種別出火件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

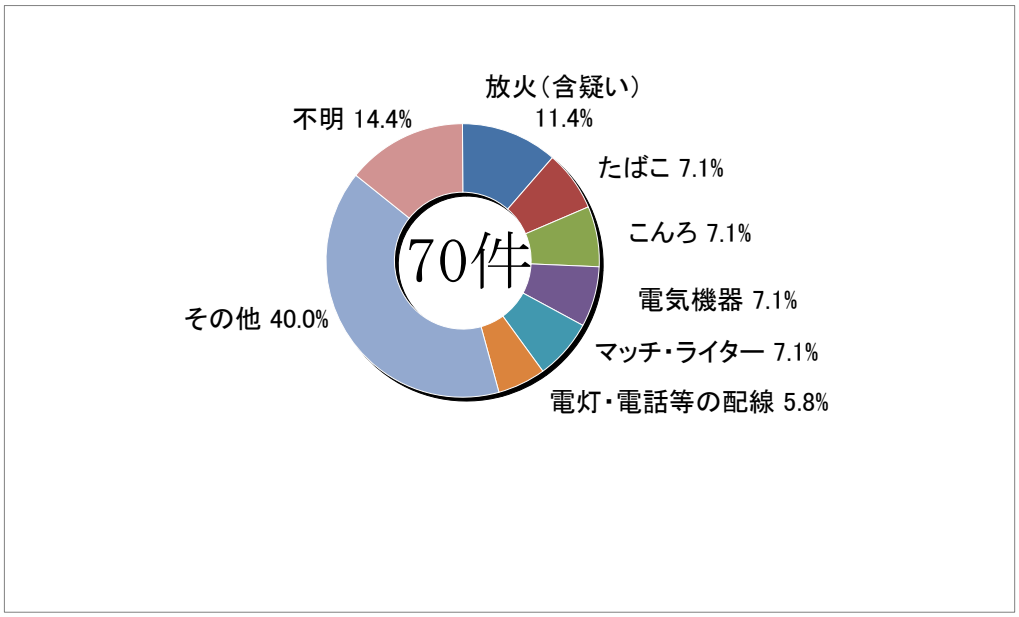
	建　物	車　両	林　野	船　舶	その他	合　計
件　　数	33	5	2		30	70



火災原因別出火件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

	放火（含疑い）	たばこ	こんろ	電気機器	マッチ・ライター	電灯・電話等の配線	その他	不　明	合　計
件　数	8	5	5	5	5	4	28	10	70

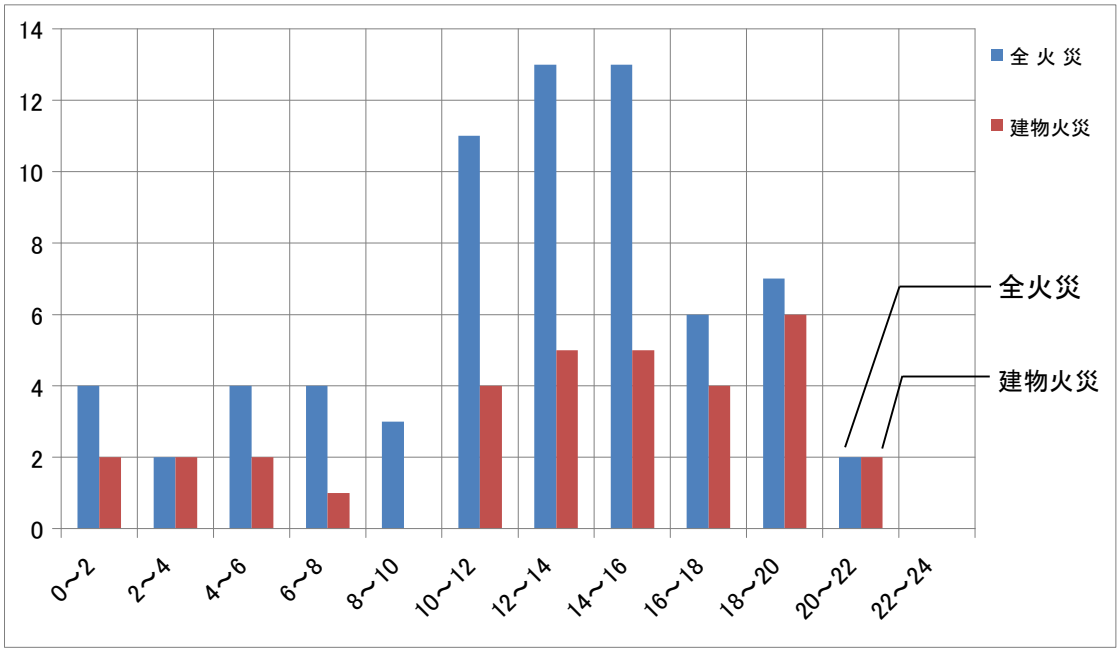


※その他については、表記以外の原因を合わせたもの。

時間帯別出火件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	不明	合計
全 火 災	4	2	4	4	3	11	13	13	6	7	2		1	70
建物火災	2	2	2	1		4	5	5	4	6	2			33

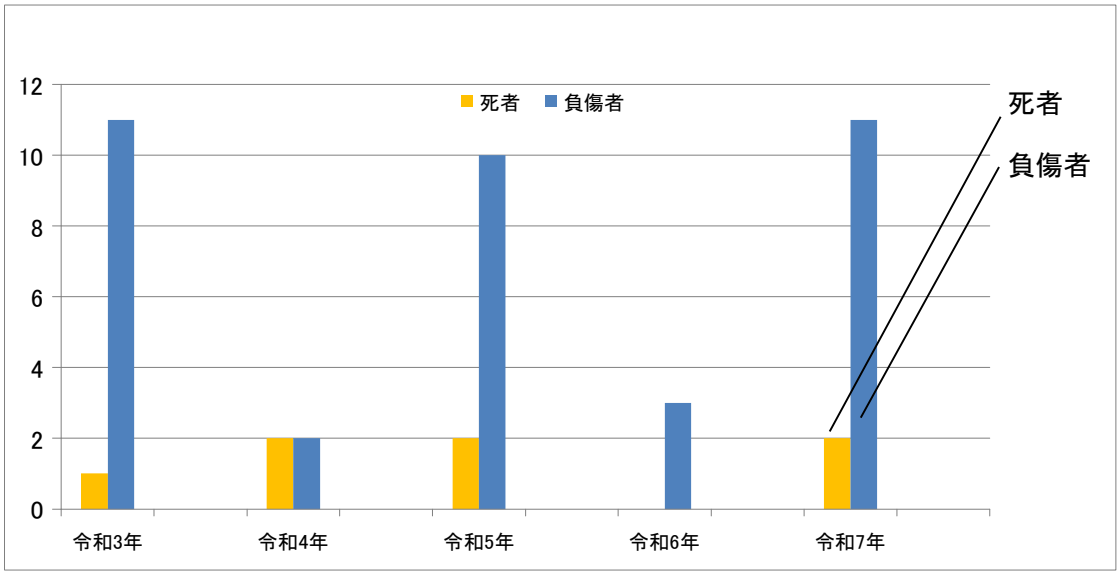


過去5カ年の推移

死傷者

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

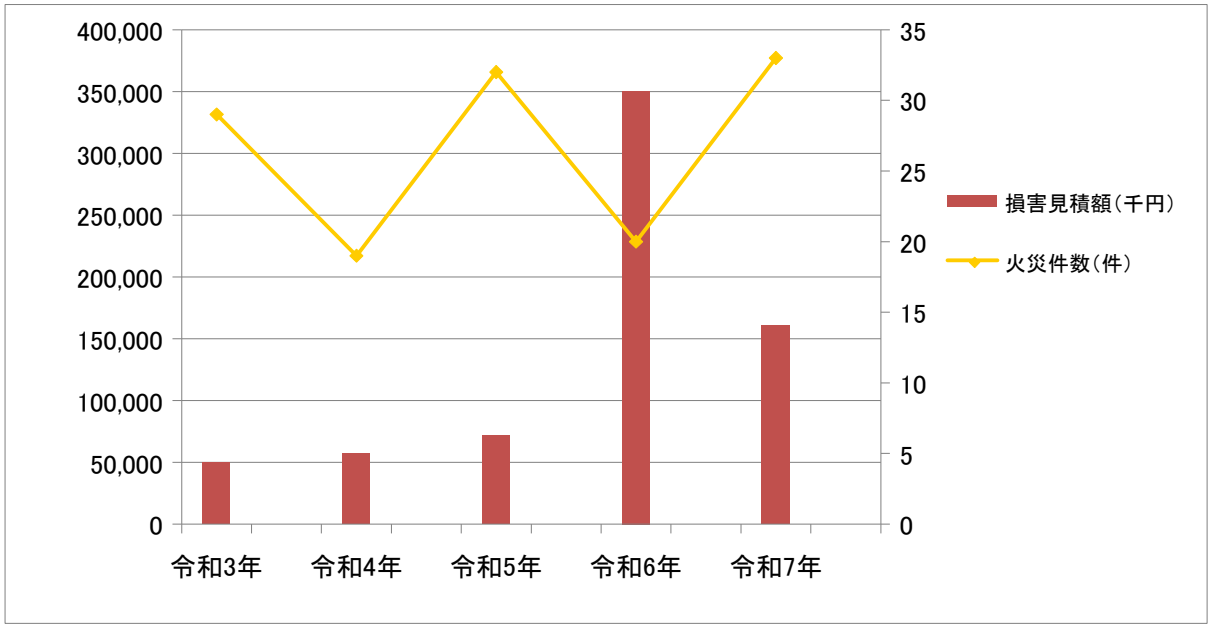
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
死　者	1	2	2	0	2
負傷者	11	2	10	3	11



建物火災損害見積額

（令和7年12月31日現在）

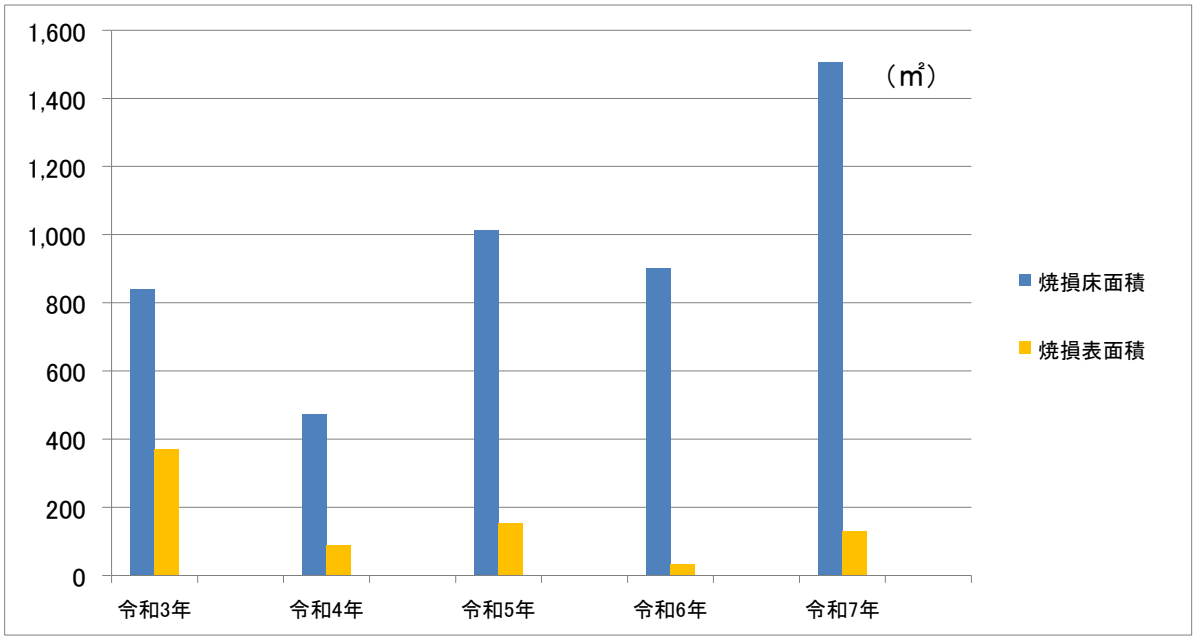
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数（件）	29	19	32	20	33
損害見積額（千円）	49,683	57,089	71,594	350,457	160,886



建物火災焼損面積

（単位：㎡）（令和7年12月31日現在）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
焼損床面積	842	473	1,014	904	1,507
焼損表面積	371	90	154	34	130



当市と全国・県との火災概況比較

（令和7年12月31日現在）

区分		当市	県平均値	全国平均値
出火率	人口1万人 あたりの出火件数	4.9	4.7	3.0
火災種類別構成割合（%）	建物火災	47.1 %	43.1 %	56.5 %
	林野火災	2.9 %	1.7 %	2.2 %
	車両火災	7.1 %	11.7 %	9.5 %
	船舶火災	— %	— %	0.2 %
	航空機火災	— %	— %	— %
	その他の火災	42.9 %	43.5 %	31.6 %
主な火災原因別割合（%）	放火・放火の疑い	11.4 %	13.4 %	10.5 %
	たばこ	7.1 %	4.6 %	8.2 %
	こんろ	7.1 %	4.1 %	7.3 %
	電気機器	7.1 %	3.3 %	6.9 %
	マッチ・ライター	7.1 %	4.8 %	4.6 %
	その他	60.2 %	69.8 %	62.5 %
損害額・焼損面積	全火災1件あたり	2,335 千円	2,499 千円	688 千円
	建物火災1件あたり	4,875 千円	— 千円	— 千円
	全火災市民（県民・国民）1人あたり	1,155 円	2,112 円	808 円
	建物火災1件あたり	45.7 ㎡	68.6 ㎡	47.3 ㎡
	林野火災1件あたり	5.5 a	51.3 a	129.1 a

※建物火災1件あたりの損害額については、総務省・茨城県ともに統計が出されていないため、当市のみの掲載となります。
※全国及び県の全ての項目は統計が9月以降になるため、令和6年の割合となっています。
※小数点以下第2位を四捨五入し計上する。

月別火災損害額

（令和7年12月31日現在）

月別	件数	火災種別 ＜爆発＞						焼損面積	損害額（千円）			
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物（㎡） 〃 林野（a）	合計	建物火災		林野火災 車両火災 その他の火災
										建物	収容物 その他	
合計	70	33	2	5	0	0	30	床 1,507 表 130 林 11	163,450	131,013	27,836	林 0 車 3,050 そ 1,551
1月	7	3	1				3	床 121 表 15 林 9	23,815	16,010	7,791	林 車 そ 14
2月	11	2					9	床 6 表 林	1,455	62	12	林 車 35 そ 1,346
3月	8	6	1				1	床 387 表 75 林 2	40,175	35,730	4,402	林 車 43 そ
4月	7	4		2			1	床 93 表 林	3,652	2,266	1,156	林 車 202 そ 28
5月	6	3		1			2	床 305 表 1 林	33,852	28,533	4,407	林 車 912 そ
6月	2						2	床 表 林	18			林 車 そ 18
7月	2	1					1	床 表 林	1	1		林 車 そ
8月	3	1					2	床 表 林	0			林 車 そ
9月	9	5					4	床 96 表 林	5,392	2,082	3,310	林 車 そ
10月	6	4		1			1	床 360 表 18 林	50,585	43,716	4,999	林 車 1,858 そ 12
11月	4	1		1			2	床 106 表 21 林	3,581	1,986	1,462	林 車 そ 133
12月	5	3					2	床 33 表 林	924	627	297	林 車 そ

覚知別火災損害額

（令和7年12月31日現在）

覚知別	件数	損害額（千円）	火災1件あたりの損害額（千円）
合計	70	163,450	2,335
専用（ＩＰ）	4	36,110	9,028
専用（ＮＴＴ）	8	26,602	3,325
専用（携帯）	42	93,629	2,229
加入（固定）	3	50	17
加入（携帯）	5	3,571	714
警察電話	1	3,448	3,448
駆け付け	1	0	0
事後聞知	6	40	7
その他			

月別・覚知別火災件数

（令和7年12月31日現在）

月別／覚知別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	70	7	11	8	7	6	2	2	3	9	6	4	5
専用（ＩＰ）	4			1							1		2
専用（ＮＴＴ）	8		2	2	1	1				2			
専用（携帯）	42	7	8	4	2	4	1	1	1	5	5	1	3
加入（固定）	3									2		1	
加入（携帯）	5				3	1						1	
警察電話	1											1	
駆け付け	1								1				
事後聞知	6		1	1	1		1	1	1				
その他													

月別・死傷者数

（令和7年12月31日現在）

月別／種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死者	2	1									1		
負傷者	11	2			1	2	1			1	1	1	2

月別・原因別火災件数

（令和7年12月31日現在）

原因別＼月別	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	70	7	11	8	7	6	2	2	3	9	6	4	5
たばこ	5	1				2			1		1		
こんろ	5	1	1		1	1				1			
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ													
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管													
電気機器	5				2	1				1	1		
電気装置	1						1						
電灯・電話等の配線	4				2						1	1	
内燃機関	1				1								
配線機器	3								1	1			1
火あそび													
マッチ・ライター	5	1	2	1								1	
たき火	1		1										
溶接機・溶断機	1											1	
灯火													
衝突の火花													
取灰													
火入れ	2		1							1			
放火	7		1			1		1	1	2			1
放火の疑い	1	1											
その他	19	1	5	2	1	1	1	1		3	1		3
不明	10	2		5							2	1	

時間別・原因別火災件数

（令和7年12月31日現在）

原因別＼時間別	件数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	不明
合計	70	4	2	4	4	3	11	13	13	6	7	2		1
たばこ	5			1	1			1	2					
こんろ	5				1			1			1	2		
かまど														
風呂かまど														
炉														
焼却炉														
ストーブ														
こたつ														
ボイラー														
煙突・煙道														
排気管														
電気機器	5			1			1	1	1	1				
電気装置	1					1								
電灯・電話等の配線	4			1			1	1			1			
内燃機関	1				1									
配線機器	3								2		1			
火あそび														
マッチ・ライター	5						1	3	1					
たき火	1						1							
溶接機・溶断機	1						1							
灯火														
衝突の火花														
取灰														
火入れ	2						1	1						
放火	7	1				1		1		1	2			1
放火の疑い	1			1										
その他	19	1			1		5	4	6	1	1			
不明	10	2	2			1			1	3	1			

町内別火災発生件数

（令和7年12月31日現在）

署別	町　別 ＼ 種別	合計	建物	林野	車両	船舶	その他
		70	33	2	5	0	30
土浦消防署（南分署含む）	永国	5	3		1		1
	真鍋四丁目	3	1				2
	下高津一丁目	2	1				1
	滝田一丁目	1	1				
	上高津	1					1
	並木四丁目	1					1
	木田余	2	1				1
	殿里	1	1				
	港町三丁目	1	1				
	常名	3	1		1		1
	小岩田東一丁目	1					1
	田中町	1			1		
	常磐自動車道	1			1		
	並木五丁目	1					1
	川口一丁目	1	1				
	真鍋二丁目	1					1
	虫掛	2	1				1
	田中一丁目	1	1				
	木田余東台二丁目	1					1
	大和町	1					1
	並木三丁目	1	1				
34件	並木一丁目	1	1				
	蓮河原新町	1	1				
荒川沖消防署	沖新田	1					1
	乙戸	2					2
	烏山二丁目	1	1				
	西根南三丁目	1	1				
	荒川沖東二丁目	1	1				
8件	卸町一丁目	1	1				
	西根南二丁目	1					1
神立消防署	神立町	5	2				3
	手野町	3					3
	今泉	1		1			
	小山崎	2					2
	中神立町	1		1			
	田村町	1					1
	中貫	1	1				
	神立中央四丁目	1					1
	板谷四丁目	1	1				
	粟野町	1	1				
20件	神立中央五丁目	2	2				
	おおつ野八丁目	1			1		
新治消防署	大畑	2	1				1
	上坂田	1					1
	本郷	2	2				
	沢辺	1	1				
8件	小野	1	1				
	下坂田	1	1				

最近5年間の出火状況比較

出火率（人口1万人あたりの出火件数）　（単位：件）（令和7年12月31日現在）

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
3.3	3.0	4.2	4.2	4.9

月別火災件数　（単位：件）（令和7年12月31日現在）

年別＼月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合　計	277	26	35	29	25	21	12	24	23	16	20	17	29
令和3年	47	3	6	6		5		7	7		2	2	4
令和4年	43	3	8	5	2	4		3	3		2	1	6
令和5年	58	7	3	6	6	2	5	6	5	3	4	8	3
令和6年	59	6	7	4	5	4	3	6	5		6	2	11
令和7年	70	7	11	8	7	6	2	2	3	9	6	4	5

時間別火災件数　（単位：件）（令和7年12月31日現在）

年別＼時間別	合計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	不明
合　計	277	16	6	8	12	23	32	41	46	32	20	18	10	13
令和3年	47	2	3		3		4	6	7	6	2	5		2
令和4年	43	3			1	5	4	7	5	6	3	2		4
令和5年	58	6		2	3	7	6	5	9	4	4	4	4	4
令和6年	59	1	1	1	1	1	7	10	12	10	4	5	4	2
令和7年	70	4	2	4	4	3	11	13	13	6	7	2		1

火災種別損害額

（単位：千円）（令和7年12月31日現在）

種別 / 年別	合計		建物火災		車両火災		林野・その他	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
合計	277	735,286	133	689,709	23	19,901	121	25,676
令和3年	47	64,838	29	49,683	3	13,676	15	1,479
令和4年	43	69,078	19	57,089	6	2,107	18	9,882
令和5年	58	85,681	32	71,594	3	2,537	23	11,550
令和6年	59	352,239	20	350,457	6	591	33	1,191
令和7年	70	163,450	33	160,886	5	990	32	1,574

建物火災焼損棟数及び損害額

（令和7年12月31日現在）

種別 / 年別	火災区分（類焼棟数含む）						焼損床面積（㎡）	損害額（千円）		
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発		合計	建物	収容物・その他
合計	242	70	12	62	98		4,740	689,709	365,417	324,292
令和3年	57	20		16	21		842	49,683	43,567	6,116
令和4年	27	9	3	3	12		473	57,089	54,709	2,380
令和5年	63	13	5	25	20		1,014	71,594	57,177	14,417
令和6年	23	7	1	5	10		904	350,457	78,951	271,506
令和7年	72	21	3	13	35		1,507	160,886	131,013	29,873
平均	48	14	2	12	20		948	137,942	73,083	64,858

全火災に対する建物火災の占める割合等

（令和7年12月31日現在）

種別 / 年別	全火災に対する建物火災の割合（%）	建物火災1件あたりの損害額（千円）	建物火災1件あたりの焼損床面積（㎡）
平均	48.4	5,870	37.3
令和3年	61.7	1,712	29.0
令和4年	44.2	3,006	23.5
令和5年	55.2	2,221	31.7
令和6年	33.9	17,534	56.7
令和7年	47.1	4,875	45.7

火災原因別出火件数

（令和7年12月31日現在）

年別 原因別	件　数	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
合　　計	277	47	43	58	59	70
た　ば　こ	19	4	1	6	3	5
こ　ん　ろ	11	1			2	5
か　ま　ど						
風呂かまど						
炉	2	1		1		
焼　却　炉						
ス　ト　ー　ブ	3	1	2			
こ　た　つ						
ボ　イ　ラ　ー						
煙突・煙道						
排　気　管	6		2	2	2	
電　気　機　器	13	1	1	4	2	5
電　気　装　置	3		1		1	1
電灯・電話等の配線	12	2	3	2	1	4
内　燃　機　関	1					1
配　線　器　具	12	5	1	1	2	3
火　あ　そ　び	1				1	
マッチ・ライター	13	4		4		5
た　き　火	6	2	2		1	1
溶接機・溶断機	3	1	1			1
灯　　火						
衝突の火花						
取　　灰						
火　入　れ	7	1		3	1	2
放　　火	24	2	4	6	5	7
放火の疑い	29	4	3	5	16	1
そ　の　他	71	11	14	13	14	19
不　　明	41	7	8	8	8	10

損害額500万円以上の火災（平成30年～令和7年）

火災年月日	出火時分	鎮火時分	発生場所	原　　因	焼失面積（㎡）	損害額（千円）
平成30年1月10日	2時33分	5時18分	板谷七丁目	不明	106	16,049
平成30年4月20日	18時10分	19時51分	国分町	不明	42	11,293
平成30年7月2日	7時20分	15時23分	桜町一丁目	テーブルタップ	64	13,380
平成30年7月3日	0時45分	3時52分	天川二丁目	不明	122	19,382
平成30年11月4日	2時30分	10時39分	神立中央一丁目	不明	422	38,560
平成30年12月7日	2時45分	6時54分	中村南三丁目	放火	283	28,123
平成30年12月13日	9時10分	13時59分	沢辺	アセチレンガス溶接機・切断機		12,281
平成31年1月8日	21時05分	22時56分	木田余西台	不明	107	13,537
平成31年3月14日	22時42分	0時38分	中高津一丁目	電気ストーブ・火鉢（開放式）	121	9,463
平成31年4月29日	22時30分	2時01分	小岩田東二丁目	不明	114	5,647
令和1年5月19日	0時01分	2時06分	笠師町	たばこ	94	16,301
令和1年12月24日	18時34分	20時24分	生田町	放火	103	7,175
令和2年1月30日	4時45分	10時37分	西並木町	風呂かまど	320	39,643
令和2年2月8日	6時40分	9時36分	上高津	不明	85	7,995
令和2年5月23日	14時35分	18時04分	沖宿町	マッチ、ライター	253	41,751
令和2年8月6日	13時10分	15時00分	文京町	たばこ	16	7,583
令和3年2月15日	2時00分	4時17分	上坂田	不明	161	10,616
令和3年3月4日	18時30分	20時59分	桜町四丁目	不明	72	10,781
令和3年3月26日	0時07分	1時15分	手野町	その他		11,725
令和3年4月10日	21時00分	23時52分	下高津二丁目	その他	120	12,424
令和4年1月24日	0時00分	1時46分	右籾	ストーブ	81	13,102
令和4年3月18日	10時20分	11時40分	宍塚	その他	45	6,325
令和4年5月7日	8時40分	9時10分	木田余	不明		8,041
令和4年11月4日	6時45分	9時13分	田村町	その他	127	31,102
令和5年5月13日	11時47分	13時35分	藤沢	不明	117	21,773
令和5年11月25日	23時10分	4時10分	並木一丁目	不明	302	27,477
令和5年12月14日	21時29分	23時22分	真鍋新町	不明	69	7,179
令和6年6月28日	14時24分	18時38分	田中二丁目	不明	209	6,324
令和6年7月4日	14時30分	20時23分	神立町	その他	365	313,564
令和6年10月30日	16時20分	17時32分	沢辺	リチウム電池		16,588
令和7年1月1日	2時53分	6時04分	大畑	不明	121	16,941
令和7年1月3日	4時01分	5時03分	永国	放火の疑い		6,852
令和7年3月8日	1時20分	5時42分	殿里	その他	190	6,191
令和7年3月13日	1時30分	4時18分	常名	不明	142	26,382
令和7年3月21日	14時51分	17時51分	真鍋四丁目	不明	48	7,400
令和7年5月23日	13時00分	18時20分	中貫	その他	124	6,563
令和7年5月31日	4時30分	7時25分	小野	たばこ	181	26,376
令和7年10月14日	16時00分	21時05分	田中一丁目	電気機器	209	24,857
令和7年10月18日	17時40分	20時00分	神立中央五丁目	不明	135	9,727
令和7年10月23日	19時40分	22時36分	卸町一丁目	不明	48	15,627

気象別火災発生状況

（令和7年12月31日現在）

気象別＼月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災発生件数		70	7	11	8	7	6	2	2	3	9	6	4	5
火災警報発令		0												
天候	晴	45	5	10	5	3			2	3	6	3	4	4
	曇	21	2	1	3	2	5	2			2	3		1
	雨	3				2	1							
	雪										1			
	不明	0												
風向	無　風	0												
	北	2									1	1		
	北北東	4			1						1	1		1
	北　東	5	1	1	1					1		1		
	東北東	4				2	1					1		
	東	5	1		1	1				1	1			
	東南東	7		1		1		1			2		1	1
	南　東	4	1	1					1	1				
	南南東	4					2				1		1	
	南	5			1	1			1		1			1
	南南西	4			1		1				1	1		
	南　西	1				1								
	西南西	7	3	1	1		1							1
	西	4	1	1	1								1	
	西北西	7		4	1	1		1						
	北　西	4		2								1	1	
	北北西	3					1				1			1
	測定不能	0												
風速	無　風	0												
	3.5m未満	40	6	4	6	4	3	2	1	2	2	2	3	5
	3.5m以上	25	1	4	2	3	3		1	1	5	4	1	
	7.0m以上	4		3							1			
	10.0m以上	1									1			
	測定不能	0												
温度	0℃未満	0												
	0℃以上	5	1	1	3									
	5℃以上	12	4	5	1								1	1
	10℃以上	27	2	5	3	6	2					3	2	4
	20℃以上	26			1	1	4	2	2	3	9	3	1	
	測定不能	0												
湿度	20%未満	0												
	20%以上	1		1										
	30%以上	8		6	1									1
	40%以上	6		2	2								1	1
	50%以上	19	5	2	5	1	3				2		1	
	60%以上	36	2			6	3	2	2	3	7	6	2	3
	測定不能	0												

原因と主な経過

（令和7年12月31日現在）

原　因	令和7年	主　な　経　過		主　な　着　火　物		令和6年
たばこ	5	不適当なところに捨て置く 火源が転倒落下する	4 1	枯草（生えたまま枯れたもの） 枯草 その他	3 1 1	3
こんろ	5	放置する、忘れる 考え違いにより使用を誤る 輻射を受けて発火する	3 1 1	動植物油類 袋及び紙製品	4 1	2
放火	7	放火	7	枯草（生えたまま枯れたもの） 枯草 ごみ類 木切れ その他 不明	2 1 1 1 1 1	5
放火の疑い	1	放火の疑い	1	その他	1	16
電気機器	5	電線が短絡する その他	3 2	断熱材 合成樹脂屑 その他 第二石油類 合成樹脂と成形品	1 1 1 1 1	2
電灯電話等の配線	4	電線が短絡する 金属の接触部が過熱する スパークする	2 1 1	その他 電線被覆 合成樹脂と成形品	1 2 1	1
内燃機関	1	摩擦により発熱する	1	第三石油類	1	
電気装置	1	漏電（地絡）する	1	その他	1	1
配線機器	3	電線が短絡する その他 スパークする	1 1 1	電線被覆 畳	3 1	2
マッチ・ライター	5	火遊び 火源が動いて接触する	1 4	枯草 衣類	4 1	
たき火	1	火の粉が散る遠くへ飛び火する	1	立木	1	1
火入れ	2	火の粉が散る遠くへ飛び火する 放置する	1 1	枯草（生えたまま枯れたもの） 枯草	1 1	1
溶接機・溶断機	1	火花が飛ぶ	1	戸袋	1	
その他	19	引火する 火源が動いて接触する 過熱する 考え違いにより使用を誤る 残り火の処置が不十分 火の粉が散る遠くへ飛び火する 不適当なところに捨て置く 火花が飛ぶ 衝突により発火 落雷する	1 7 1 1 1 3 1 1 1 2	枯草 枯草（生えたまま枯れたもの） 合成樹脂壁 立木 第一石油類 芝草 ふとん、座ぶとん、寝具 LPG 衣類 ごみ屑 その他	3 6 1 1 1 1 1 1 1 1 2	14
不明	10	不明 放火の疑い	6 4	不明 枯草 ごみ屑 落ち葉 ふとん、座ぶとん、寝具	4 1 2 1 1	8

消防広域応援体制

（１）県内隣接市町村消防相互応援協定（消防組織法第39条）

茨城県下の市町村の長は、相互の消防力を活用し、災害による被害を最小限に防止するため、市町村間の相互応援協定を締結している。土浦市が協定を締結している市町村等は、以下の3市1本部である。なお、協定は土浦市を甲とし、①～④を乙とする。

①つくば市　②石岡市　③かすみがうら市　④稲敷広域消防本部

応援種別は以下のとおりである。

○　普通応援　甲と乙の接する地域及び当該地域周辺で災害が発生した場合に、災害が発生した市（以下「発災市」という。）の長又は消防長（以下「発災市長等」という。）の要請を待たずに出動する応援

○　特別応援　甲又は乙の区域内に災害が発生した場合に、発災市長等の要請に基づいて出動する応援（組織法第18条第3項の規定に基づき、非常勤の消防団員による消防隊が出動する応援を含む。）

（２）茨城県広域消防相互応援協定（消防組織法第39条、第43条）

県及び市町村等は、大規模な応援を必要とする非常事態に対処するため、応援の実施について、必要な事項を協議のうえ、茨城県広域消防相互応援協定を締結し、円滑な応援体制、受援体制確保のため茨城県消防広域基本計画を策定している。

（３）緊急消防援助隊（消防組織法第45条）

地震、台風、水火災等の非常事態の場合において、災害の発生した都道府県内の消防力をもってもこれに対処できない場合、消防庁長官や都道府県知事の指示や求めに消防の応援等を行うことを任務とする緊急消防援助隊が組織されている。

緊急消防援助隊の基本的な構成単位は、都道府県大隊、中隊、小隊となっている。

都道府県大隊は、指揮、消火、救助、救急、後方支援、通信支援、水上、特殊災害、特殊装備小隊で編成されている。

その他特別の任務を行う部隊として、指揮支援部隊、統合機動部隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊（ドラゴンハイパー・コマンドユニット）、ＮＢＣ災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊及び航空部隊が編成されている。

令和7年4月1日現在における緊急消防援助隊の登録数は、6731隊となっている。

基本計画の改定に伴い、情報統括支援隊、安全管理部隊指揮隊、救急特別編成統括救急隊が新たに登録された。

土浦市消防本部緊急消防援助隊登録部隊

出　場　隊	署　　名	車 両 区 分	出場隊員数
消火小隊	土浦消防署	土浦タンク1	4名
消火小隊	神立消防署	土浦神立化学1	4名
消火小隊	神立消防署	土浦神立ポンプ1	4名
救助小隊	土浦消防署	土浦救助1	5名
救急小隊	土浦消防署	土浦救急1	3名
救急小隊	荒川沖消防署	土浦荒川沖救急1	3名
特殊装備小隊	土浦消防署	土浦梯子1	5名
後方支援小隊	土浦消防署	土浦本部輸送1	4名
後方支援小隊	土浦消防署	土浦搬送1	2名
合計 9　隊		9　車両	34名

自主防災組織結成状況

番 号	名　　称	結　成　年　月　日
1	川口一・二丁目自主防災会	昭和56年 9月26日
2	大和町自主防災会	昭和56年10月 1日
3	小岩田町自主防災会	昭和57年 2月12日
4	右籾町３区自主防災会	昭和57年 4月23日
5	桜町一丁目自主防災会	昭和58年 5月19日
6	神立中央三丁目自主防災会	昭和58年 1月 1日
7	神立中央五丁目自主防災会	昭和58年 1月 1日
8	桜ヶ丘町自主防災会	昭和58年 9月14日
9	並木三丁目自主防災会	昭和58年 9月27日
10	真鍋四丁目自主防災会	昭和59年 3月 6日
11	中神立町自主防災会	昭和60年 3月 8日
12	右籾町４区自主防災会	昭和60年 7月 1日
13	中村南一丁目自主防災会	昭和60年 9月28日
14	佐野子町自主防災会	昭和62年 8月 3日
15	中村東町自主防災会	平成 4年 3月17日
16	乙戸町自主防災会	平成 5年 2月27日
17	中村南二丁目自主防災会	平成 6年 3月 1日
18	まりやま新町自主防災会	平成 6年10月 1日
19	白鳥町自主防災会	平成 7年 1月 8日
20	中貫町自主防災会	平成 7年 4月 1日
21	中村町６区自主防災会	平成 7年 4月 1日
22	田中一丁目自主防災会	平成 7年 5月 1日
23	大町自主防災会	平成 7年 5月25日
24	右籾町１区自主防災会	平成 7年 6月 1日
25	滝田一・二丁目自主防災会	平成 7年 6月11日
26	蓮河原町自主防災会	平成 7年 6月11日
27	荒川沖西二丁目自主防災会	平成 7年 7月 1日
28	粟野町自主防災会	平成 7年 7月 1日
29	生田町自主防災会	平成 7年 7月 1日
30	大手町自主防災会	平成 7年 7月 1日
31	千束町自主防災会	平成 7年 7月 1日
32	立田町自主防災会	平成 7年 7月 1日
33	田中三丁目自主防災会	平成 7年 7月 1日
34	千鳥ケ丘町自主防災会	平成 7年 7月 1日
35	蓮河原新町自主防災会	平成 7年 7月 1日
36	富士崎一丁目ダイアパレス土浦自主防災会	平成 7年 7月 1日

37	矢作町自主防災会	平成 7年 7月 1日
38	下高津四丁目自主防災会	平成 7年 7月 2日
39	永国東町自主防災会	平成 7年 7月 7日
40	烏山一丁目自主防災会	平成 7年 7月 8日
41	東崎町自主防災会	平成 7年 7月16日
42	沖宿町自主防災会	平成 7年 7月20日
43	下高津一丁目自主防災会	平成 7年 7月20日
44	上高津・上高津新町自主防災会	平成 7年 7月21日
45	乙戸南二丁目自主防災会	平成 7年 7月23日
46	国分町自主防災会	平成 7年 7月23日
47	港町三丁目自主防災会	平成 7年 7月23日
48	西根西一丁目自主防災会	平成 7年 7月31日
49	荒川沖西一丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
50	神立中央一・二丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
51	小岩田東二丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
52	小松ケ丘町自主防災会	平成 7年 8月 1日
53	桜町二丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
54	下高津三丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
55	中央二丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
56	中村南三丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
57	中村南六丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
58	富士崎一・二丁目自主防災会	平成 7年 8月 1日
59	菅谷町自主防災会	平成 7年 8月11日
60	荒川沖西三丁目自主防災会	平成 7年 9月 1日
61	中高津一・二・三丁目自主防災会	平成 7年 9月 2日
62	北荒川沖町自主防災会	平成 7年 9月 9日
63	荒川沖南区自主防災会	平成 7年10月 1日
64	東都和自主防災会	平成 7年10月 1日
65	城北町自主防災会	平成 7年11月 1日
66	田村町自主防災会	平成 7年11月 1日
67	都和一・四丁目自主防災会	平成 7年11月 1日
68	手野町自主防災会	平成 7年11月 6日
69	中央一丁目自主防災会	平成 7年11月25日
70	桜町三丁目自主防災会	平成 7年12月 1日
71	乙戸南一丁目自主防災会	平成 8年 1月28日
72	港町一・二丁目自主防災会	平成 8年 2月13日
73	荒川沖東二丁目自主防災会	平成 8年 4月 1日
74	乙戸南三丁目自主防災会	平成 8年 4月 1日

75	田中二丁目自主防災会	平成 8年 4月 1日
76	文京町自主防災会	平成 8年 4月 1日
77	真鍋新町自主防災会	平成 8年 4月 1日
78	まりやま団地自主防災会	平成 8年 4月 1日
79	真鍋三丁目自主防災会	平成 8年 4月20日
80	湖北一・二丁目自主防災会	平成 8年 4月21日
81	荒川沖東三丁目自主防災会	平成 8年 6月 1日
82	烏山二丁目自主防災会	平成 8年 7月 1日
83	西根町１区自主防災会	平成 8年 7月 1日
84	真鍋二丁目自主防災会	平成 8年 8月 1日
85	荒川沖東一丁目自主防災会	平成 8年 9月 1日
86	中荒川沖町自主防災会	平成 8年10月 1日
87	神立中央四丁目自主防災会	平成 8年11月 1日
88	西真鍋町自主防災会	平成 8年11月 1日
89	霞ケ岡町自主防災会	平成 8年12月 1日
90	東真鍋町自主防災会	平成 9年 1月 1日
91	真鍋六丁目自主防災会	平成 9年 1月 1日
92	天川一・二丁目自主防災会	平成 9年 1月 3日
93	今泉町自主防災会	平成 9年 1月 3日
94	殿里町自主防災会	平成 9年 2月 1日
95	東並木町自主防災会	平成 9年 2月24日
96	並木一丁目自主防災会	平成 9年 3月 1日
97	烏山三・四・五丁目自主防災会	平成 9年 3月24日
98	大岩田町２区自主防災会	平成 9年 3月30日
99	飯田町自主防災会	平成 9年 4月 1日
100	板谷町自主防災会	平成 9年 4月 1日
101	笠師町自主防災会	平成 9年 4月 1日
102	神立町１区中自主防災会	平成 9年 4月 1日
103	神立町１区西自主防災会	平成 9年 4月 1日
104	中都町自主防災会	平成 9年 4月 1日
105	西並木町自主防災会	平成 9年 4月 1日
106	常名町自主防災会	平成 9年 4月 1日
107	真鍋五丁目自主防災会	平成 9年 4月 1日
108	桜町四丁目自主防災会	平成 9年 4月18日
109	並木二丁目自主防災会	平成 9年 4月25日
110	西根南二丁目自主防災会	平成 9年 4月27日
111	真鍋一丁目自主防災会	平成 9年 6月 1日
112	下高津二丁目自主防災会	平成 9年 6月 1日

113	西根南一丁目自主防災会	平成 9年 8月 1日
114	小岩田西一丁目自主防災会	平成 9年 8月11日
115	小松一・二・三丁目自主防災会	平成 9年 8月18日
116	並木四丁目自主防災会	平成 9年 9月24日
117	白鳥新町自主防災会	平成 9年10月 1日
118	都和二丁目自主防災会	平成 9年11月 1日
119	西根町２区自主防災会	平成 9年11月 9日
120	中村南四丁目自主防災会	平成 9年11月15日
121	大岩田町1区自主防災会	平成 9年11月16日
122	神立東一・二丁目自主防災会	平成 9年11月21日
123	右籾町５区自主防災会	平成 9年11月 1日
124	神立町１区東自主防災会	平成 9年12月 1日
125	若松町自主防災会	平成 9年12月 1日
126	虫掛町自主防災会	平成10年 1月 1日
127	中村南五丁目自主防災会	平成10年 1月20日
128	西根南三丁目自主防災会	平成10年11月 1日
129	永国町自主防災会	平成10年11月 6日
130	右籾町２区自主防災会	平成10年12月 1日
131	エス・バイ・エルマンション土浦自主防災会	平成11年11月 1日
132	大岩田団地自主防災会	平成14年10月 1日
133	永国台自主防災会	平成14年10月 1日
134	ホーユウパレス自主防災会	平成14年10月 1日
135	イーストガーデン自主防災会	平成15年10月18日
136	粕毛町自主防災会	平成17年 3月31日
137	宍塚町自主防災会	平成20年 3月31日
138	藤沢団地自主防災会	平成20年 3月31日
139	高岡根自主防災会	平成21年 6月20日
140	木田余町自主防災会	平成22年 4月 1日
141	おおつ野自主防災会	平成24年12月17日
142	文教区自主防災会	平成25年10月 1日
143	小山田町自主防災会	平成26年 1月19日
144	木田余西台自主防災会	平成26年 9月 1日
145	木田余東台自主防災会	平成27年 4月25日
146	仲の杜自主防災会	平成28年11月 9日
147	並木五丁目自主防災会	令和 4年 4月 1日
148	小山崎自主防災会	令和 4年 4月 1日
149	西根町２区自主防災会	令和 7年 4月 1日
150	沢辺自主防災会	令和 7年 4月 1日
151	東町自主防災会	令和 8年 3月 1日

救急概要

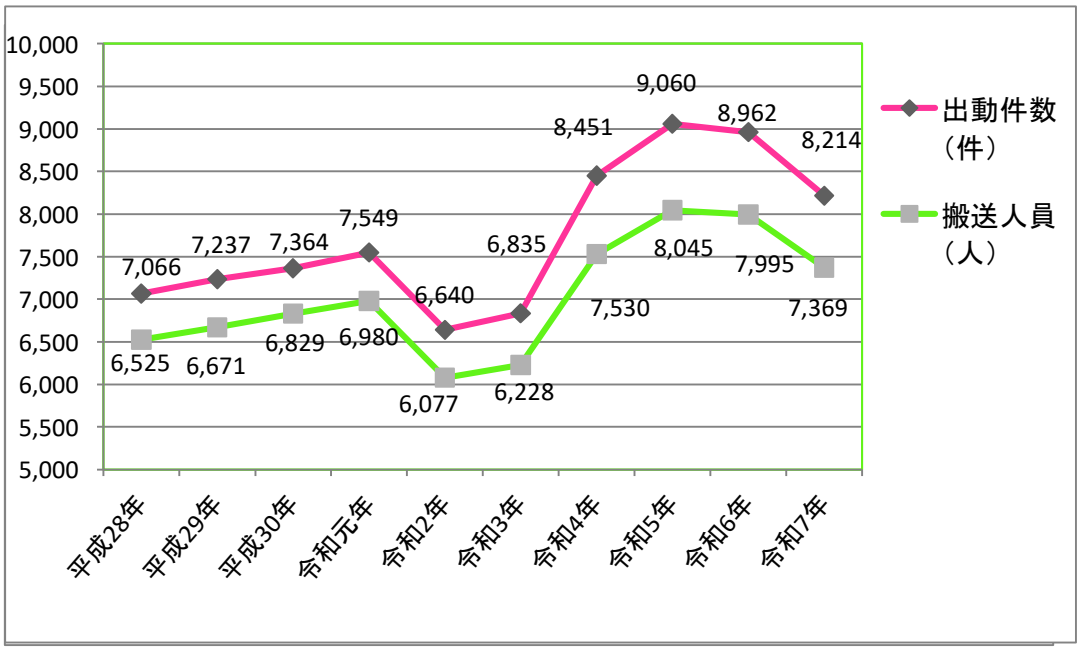
（令和7年12月31日現在）

出動件数	8, 214 件
搬送件数	7, 331 件
不搬送件数	883 件
（内 医師搬送）	0 件
搬送人員	7, 369 人
死　亡	114 人
重　症	566 人
中等症	3, 800 人
軽　症	2, 889 人
その他	0 人

出動件数等の推移

（令和7年12月31日現在）

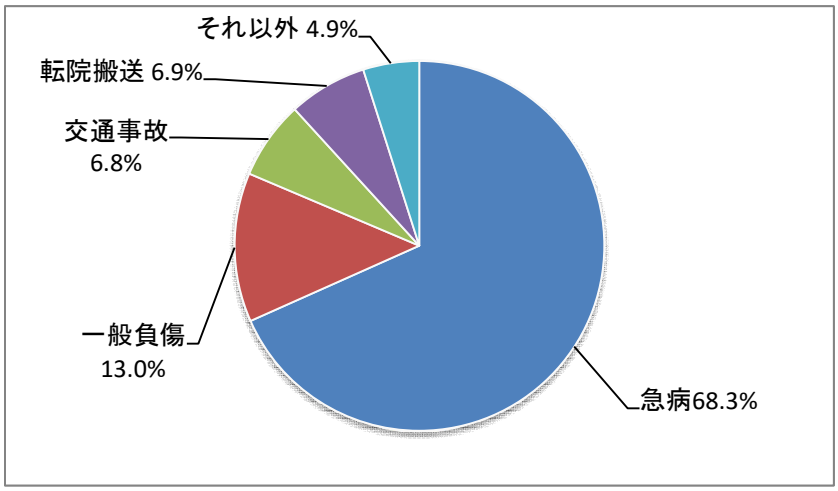
	出動件数（件）	搬送人員（人）
平成28年	7, 066	6, 525
平成29年	7, 237	6, 671
平成30年	7, 364	6, 829
令和元年	7, 549	6, 980
令和2年	6, 640	6, 077
令和3年	6, 835	6, 228
令和4年	8, 451	7, 530
令和5年	9, 060	8, 045
令和6年	8, 962	7, 995
令和7年	8, 214	7, 369



事故種別活動状況

（単位：件、人）（令和7年12月31日現在）

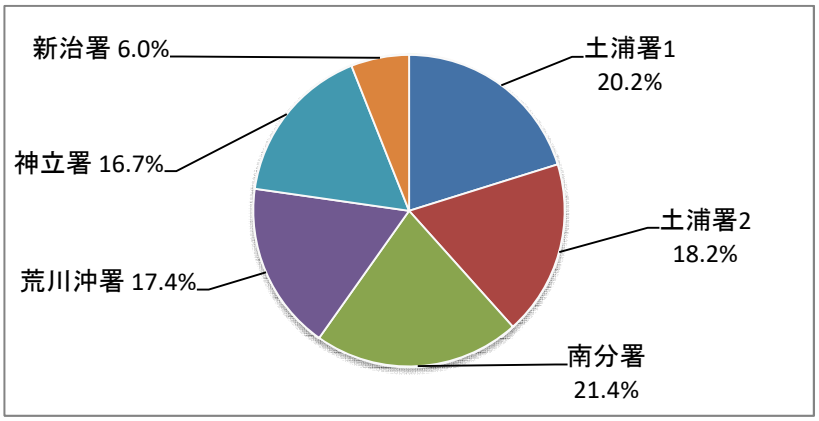
	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
出動件数	8,214	54	0	12	562	69	60	1,070	38	91	5,614	565	0	0	79
搬送件数	7,331	10	0	4	500	82	61	1,068	37	74	4,937	558	0	0	0
不搬送件数	883	42	0	7	61	1	2	75	4	25	587	7	0	0	72
搬送人員	7,369	10	0	4	535	82	61	1,069	37	74	4,939	558	0	0	0



事故種別各署別出動状況

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

	合計	構成比	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
土浦署1	1,659	20.2%	11	0	5	113	8	14	237	9	21	1,110	110	0	0	21
土浦署2	1,493	18.2%	19	0	3	121	17	14	206	9	22	967	106	0	0	9
南分署	1,760	21.4%	3	0	4	101	7	14	235	8	15	1,223	133	0	0	17
荒川沖署	1,433	17.4%	2	0	0	78	11	7	177	7	19	1,043	76	0	0	13
神立署	1,375	16.7%	13	0	0	99	20	4	152	4	12	930	125	0	0	16
新治署	494	6.0%	6	0	0	50	6	7	63	1	2	341	15	0	0	3
合計	8,214	100%	54	0	12	562	69	60	1,070	38	91	5,614	565	0	0	79



搬送人員等

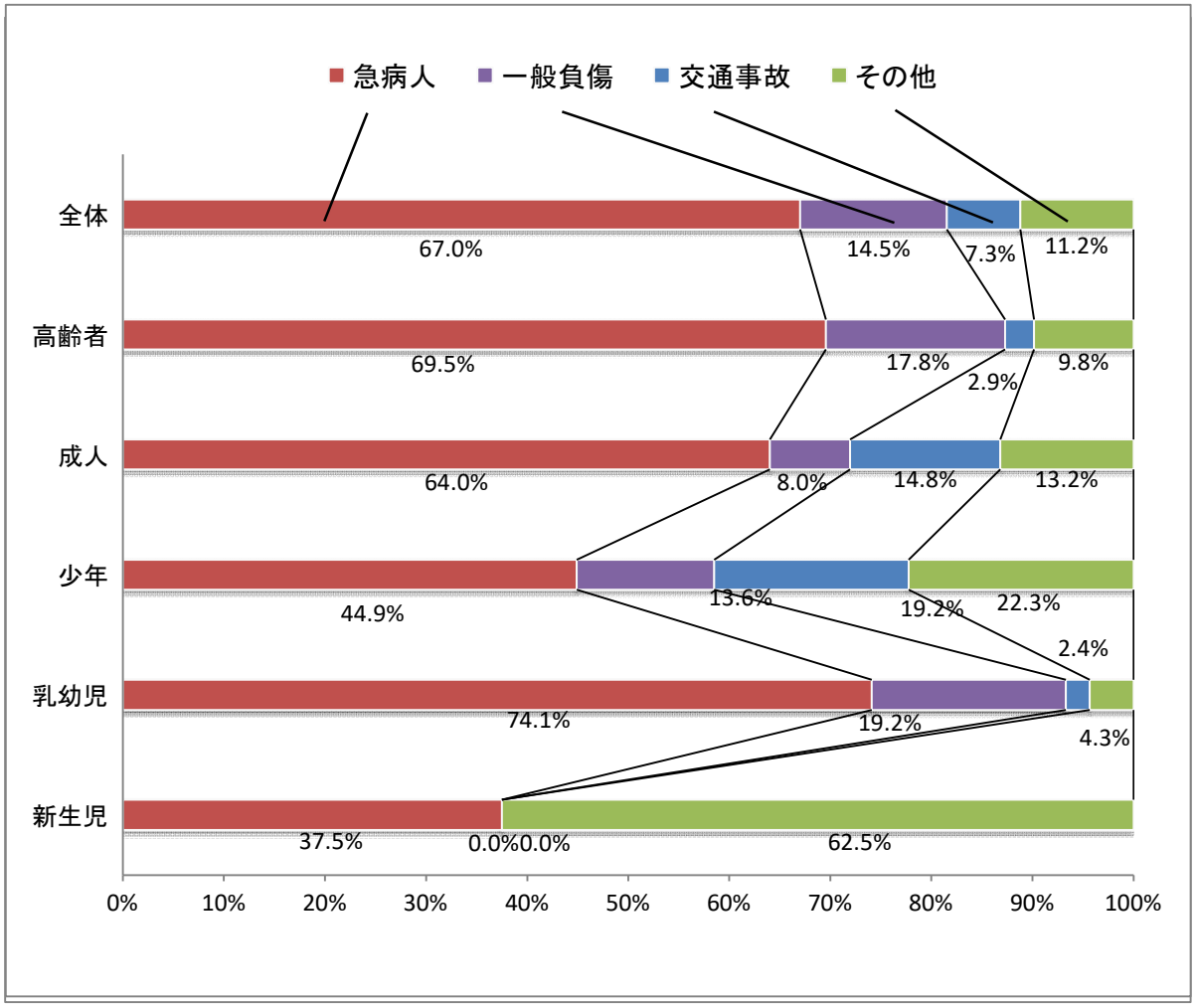
事故種別年齢別搬送人員

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

	合計	構成比	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
新生児	8	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0
乳幼児	255	3.5%	0	0	0	6	0	0	49	1	0	189	10	0	0	0
少年	265	3.6%	1	0	0	51	2	39	36	3	8	119	6	0	0	0
成人	2,352	31.9%	5	0	2	349	63	21	187	30	56	1,506	133	0	0	0
高齢者	4,489	60.9%	4	0	2	129	17	1	797	3	10	3,122	404	0	0	0
合計	7,369	100%	10	0	4	535	82	61	1,069	37	74	4,939	558	0	0	0

※　新生児：生後28日未満、乳幼児：28日～7歳未満、少年：7歳～18歳未満

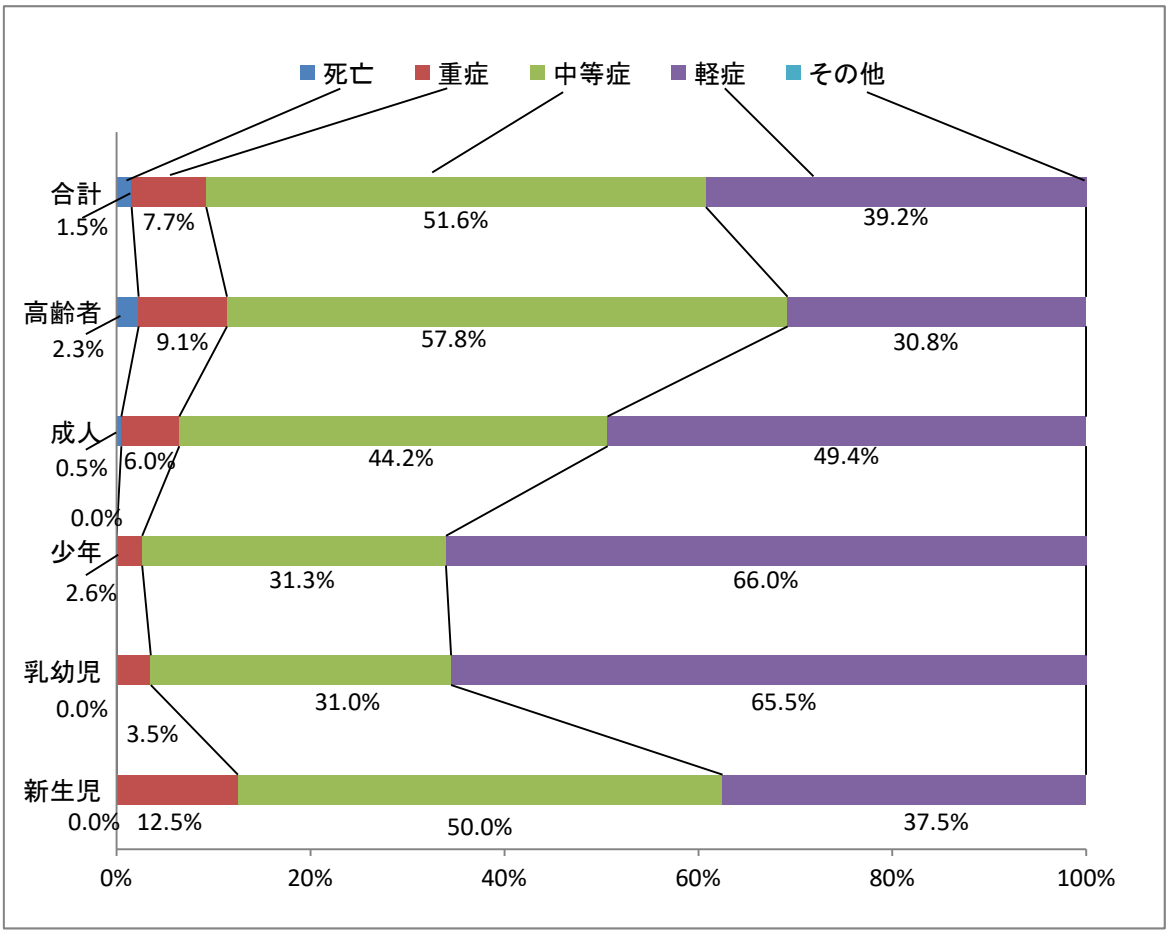
成　人：18歳～65歳未満、高齢者：65歳以上



程度別年齢別搬送人員

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 0.5%	103 2.3%	114 1.5%
重症	1 12.5%	9 3.5%	7 2.6%	141 6.0%	408 9.1%	566 7.7%
中等症	4 50.0%	79 31.0%	83 31.3%	1,039 44.2%	2,595 57.8%	3,800 51.6%
軽症	3 37.5%	167 65.5%	175 66.0%	1,161 49.4%	1,383 30.8%	2,889 39.2%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	8	255	265	2,352	4,489	7,369



急病にかかる年齢別疾病分類別搬送人員

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
	脳疾患	心疾患									
新生児	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3
乳幼児	0	0	10	13	0	7	0	0	12	147	189
少年	0	0	9	4	3	8	4	0	20	71	119
成人	75	75	132	57	75	77	50	6	186	773	1,506
高齢者	190	348	200	311	16	102	46	24	363	1,522	3,122
合計	265	423	351	386	94	194	100	30	583	2,513	4,939
構成比	5.4%	8.6%	7.1%	7.8%	1.9%	3.9%	2.0%	0.6%	11.8%	50.9%	100%

現場到着時間別出動件数の推移

（入電～）

	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合計	現着平均（分）
令和3年	38	88	4,080	2,575	54	6,835	9.3
令和4年	39	124	4,727	3,427	134	8,451	9.6
令和5年	45	168	5,494	3,212	141	9,060	9.3
令和6年	38	160	5,285	3,368	111	8,962	9.4
令和7年	24	136	4,761	3,180	113	8,214	9.5

病院収容時間別搬送人員件数の推移

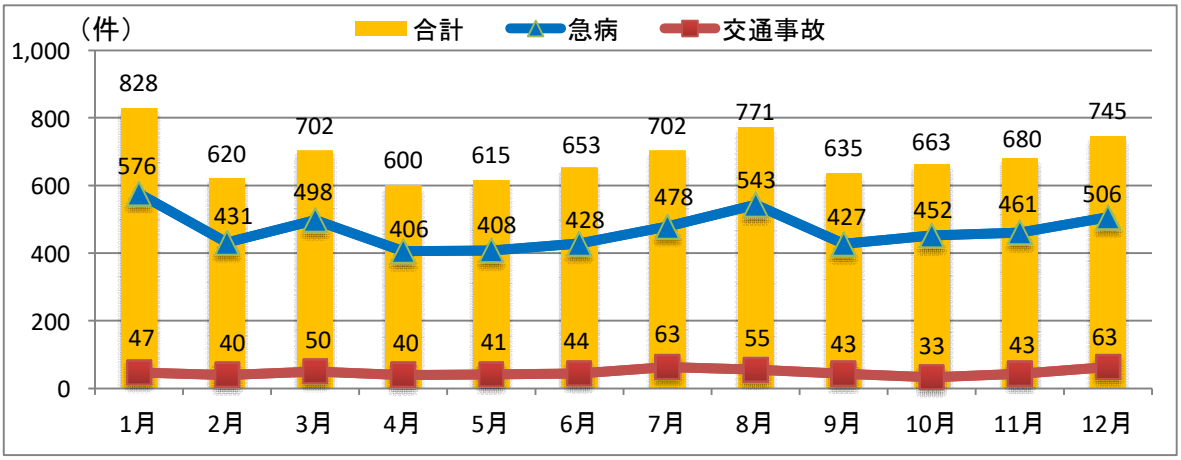
（入電～）

	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合計	病院収容平均
令和3年	0	16	773	5,014	415	10	6,228	41.4
令和4年	0	19	735	5,925	814	37	7,530	44.2
令和5年	0	12	771	6,349	874	39	8,045	44.4
令和6年	0	16	671	6,390	892	26	7,995	44.4
令和7年	0	5	558	5,988	795	23	7,369	44.7

月別事故種別出動件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	828	6	0	2	47	6	3	112	4	9	576	56	0	0	7
2月	620	5	0	1	40	4	2	85	2	9	431	32	0	0	9
3月	702	5	0	0	50	5	4	73	1	5	498	59	0	0	2
4月	600	5	0	1	40	7	10	77	3	7	406	38	0	0	6
5月	615	5	0	0	41	8	5	89	5	10	408	41	0	0	3
6月	653	2	0	2	44	8	10	88	5	7	428	51	0	0	8
7月	702	2	0	2	63	5	6	82	3	5	478	50	0	0	6
8月	771	0	0	0	55	7	6	100	5	4	543	43	0	0	8
9月	635	4	0	2	43	6	7	98	2	7	427	34	0	0	5
10月	663	10	0	1	33	5	4	87		11	452	51	0	0	9
11月	680	3	0	0	43	3	3	104	4	8	461	45	0	0	6
12月	745	7	0	1	63	5		75	4	9	506	65	0	0	10
合計	8,214	54	0	12	562	69	60	1,070	38	91	5,614	565	0	0	79



高齢者搬送状況推移

	全搬送人員（人）	高齢者搬送人員（構成比）	高齢者搬送内訳（人）			
			急病	交通事故	一般負傷	それ以外
令和3年	6,228	3,694	2,649	145	610	290
		59.3%	71.7%	3.9%	16.5%	7.9%
令和4年	7,530	4,479	3,226	142	746	365
		59.5%	72.0%	3.2%	16.7%	8.1%
令和5年	8,045	4,730	3,445	166	750	369
		58.8%	72.8%	3.5%	15.9%	7.8%
令和6年	7,995	4,892	3,508	142	828	414
		61.2%	71.7%	2.9%	16.9%	8.5%
令和7年	7,369	4,489	3,122	129	797	441
		60.9%	69.5%	2.9%	17.8%	9.8%

医療機関選定状況

（令和7年12月31日現在）

選定回数	件数（件）	構成比（%）
1　回	5,567	75.5
2　回	1,026	13.9
3　回	433	5.9
4　回	184	2.5
5回～10回	141	1.9
11回以上	18	0.2
合　計	7,369	100.0

医療機関別搬送人員

（令和7年12月31日現在）

	病医院名	搬送人員（人）	市内・市外構成比	全体構成比
市内	土浦協同病院	2,521	58.6%	34.2%
	霞ヶ浦医療センター	1,172	27.3%	15.9%
	神立病院	253	5.9%	3.4%
	県南病院	298	6.9%	4.0%
	野上病院	37	0.9%	0.5%
	土浦厚生病院	9	0.2%	0.1%
	その他	10	0.2%	0.1%
	小　計	4,300	100.0%	58.4%
市外	東京医大茨城医療センター	1,630	53.1%	22.1%
	筑波メディカルセンター	274	8.9%	3.7%
	牛久愛和総合病院	184	6.0%	2.5%
	筑波大学附属病院	208	6.8%	2.8%
	筑波記念病院	376	12.3%	5.1%
	つくばセントラル病院	126	4.1%	1.7%
	筑波学園病院	106	3.5%	1.4%
	筑波病院	1	0.0%	0.0%
	いちはら病院	71	2.3%	1.0%
	その他	93	3.0%	1.3%
	小　計	3,069	100.0%	41.6%
合　計		7,369		100%

ＰＡ連携

年別	出動件数	安全確保（交通事故）	搬送支援	CPA疑い	（CPA）
令和3年	1,220	34	374	812	177
令和4年	1,424	23	468	933	207
令和5年	1,482	45	432	1005	222
令和6年	1,769	59	631	1079	226
令和7年	1,714	58	632	1024	192

※転院搬送を含む

ドクターカー・ドクターヘリ

年別	ドクターカー		ドクターヘリ		
	要請	連携	要請	連携	支援
令和3年	119	64	6	1	0
令和4年	188	86	4	2	0
令和5年	214	90	9	0	0
令和6年	171	84	9	0	0
令和7年	136	68	1	0	0

心肺蘇生処置対象者の状況

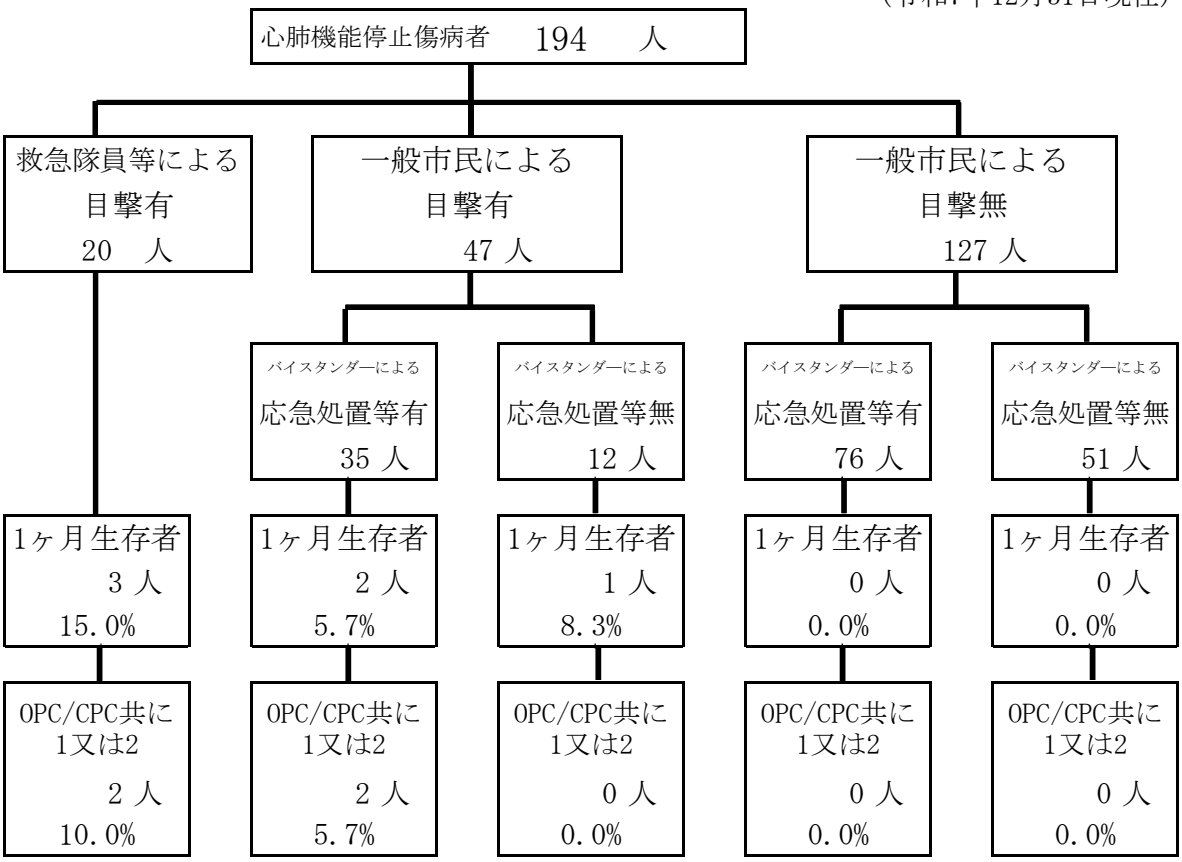
年齢別事故種別心肺蘇生対象者搬送人員

（令和7年12月31日現在）

	急病	交通事故	一般負傷	自損行為	火災	その他	合計	構成比
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
乳・幼児	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
少年	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
成人	18	1	4	4	0	2	29	14.9%
高齢者	154	0	9	1	0	1	165	85.1%
合計	172	1	13	5	0	3	194	100.0%
構成比	88.7%	0.5%	6.7%	2.6%	0.0%	1.5%	100.0%	

心肺機能停止傷病者の1ヶ月生存率及び社会復帰率

（令和7年12月31日現在）



目撃有の1ヶ月生存率	目撃無1ヶ月生存率
6 人 ／ 67 人 ＝ 9.0%	0 人 ／ 127 人 ＝ 0.0%

目撃有の社会復帰率	目撃無の社会復帰率
4 人 ／ 67 人 ＝ 6.0%	0 人 ／ 127 人 ＝ 0.0%

心肺機能停止傷病者の1ヶ月生存率

6 人 ／ 194 人 ＝ 3.1%

心肺機能停止傷病者の社会復帰率

4 人 ／ 194 人 ＝ 2.1%

一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心肺機能停止症例

1ヶ月生存率

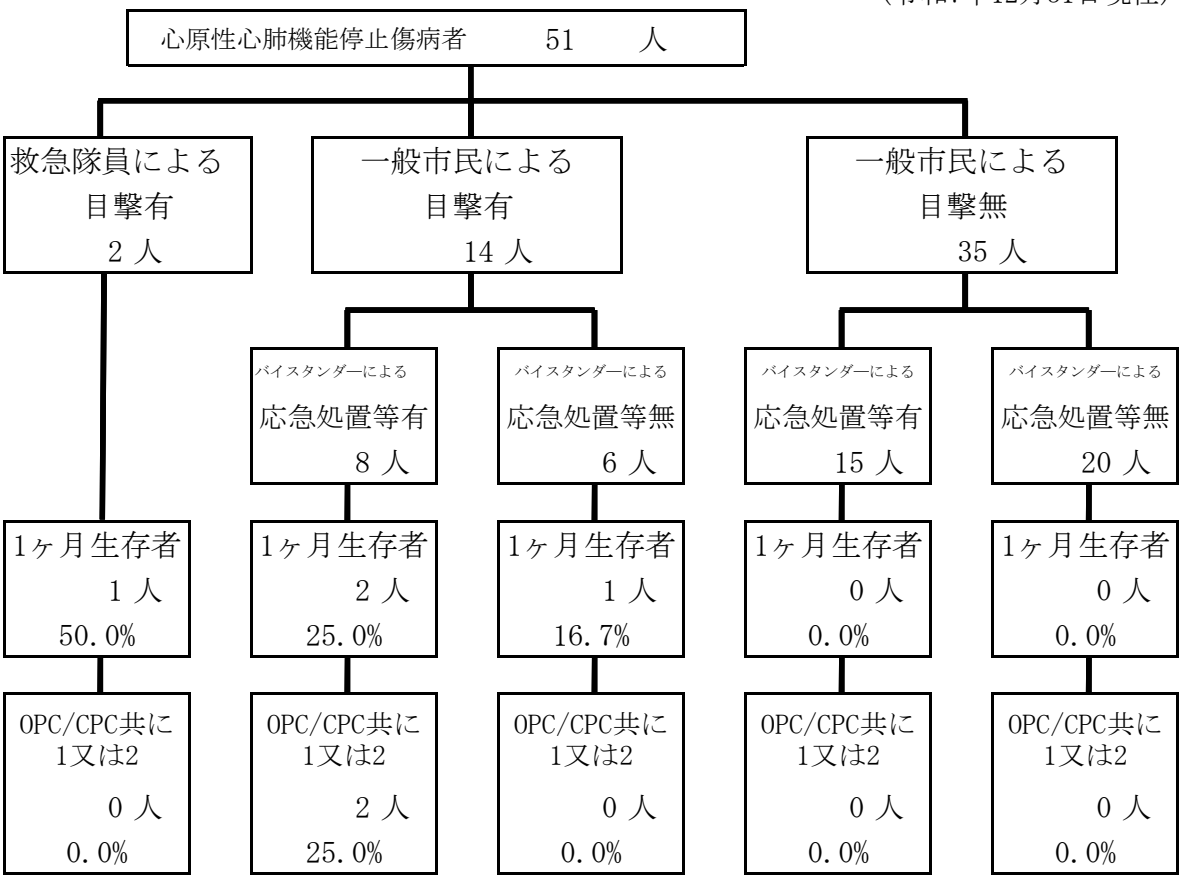
3 人 ／ 47 人 ＝ 6.4%

社会復帰率

2 人 ／ 47 人 ＝ 4.3%

心原性心肺機能停止傷病者の1ヶ月生存率及び社会復帰率

（令和7年12月31日現在）



目撃有の1ヶ月生存率	目撃無1ヶ月生存率
4 人 ／ 16 人 ＝ 25.0%	0 人 ／ 35 人 ＝ 0.0%

目撃有の社会復帰率	目撃無の社会復帰率
2 人 ／ 16 人 ＝ 12.5%	0 人 ／ 35 人 ＝ 0.0%

心原性心肺機能停止傷病者の1ヶ月生存率

4 人 ／ 51 人 ＝ 7.8%

心原性心肺機能停止傷病者の社会復帰率

2 人 ／ 51 人 ＝ 3.9%

一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性の心肺機能停止症例

1ヶ月生存率

3 人 ／ 14 人 ＝ 21.4%

社会復帰率

2 人 ／ 14 人 ＝ 14.3%

特定行為実施傷病者における病院前心拍再開率及び1ヶ月生存率

（令和7年12月31日現在）

除細動実施数	17 名	病院前心拍再開	4 名	23.5%	1ヶ月生存率	0 名	0.0%
食道閉鎖式気道確保数	76 名	病院前心拍再開	7 名	9.2%	1ヶ月生存率	0 名	0.0%
気管挿管気道確保数	13 名	病院前心拍再開	1 名	7.7%	1ヶ月生存率	0 名	0.0%
静脈路確保実施数	107 名	病院前心拍再開	12 名	11.2%	1ヶ月生存率	3 名	2.8%
アドレナリン実施数	108 名	病院前心拍再開	11 名	10.2%	1ヶ月生存率	1 名	0.9%

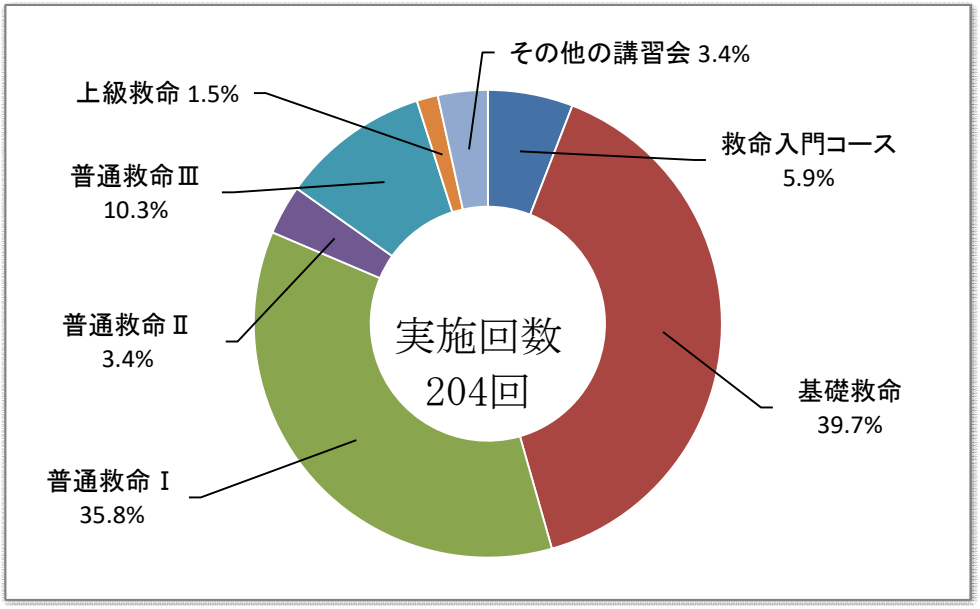
心肺停止前の重症傷病者への静脈路確保適応者	76 名	医師からの指示有	69 名	90.8%	静脈路確保実施数	49 名	71.0%
低血糖発作症例へのブドウ糖投与適応者	33 名	医師からの指示有	32 名	97%	静脈路確保実施数	29 名	90.6%
					ブドウ糖投与実施数	29 名	90.6%

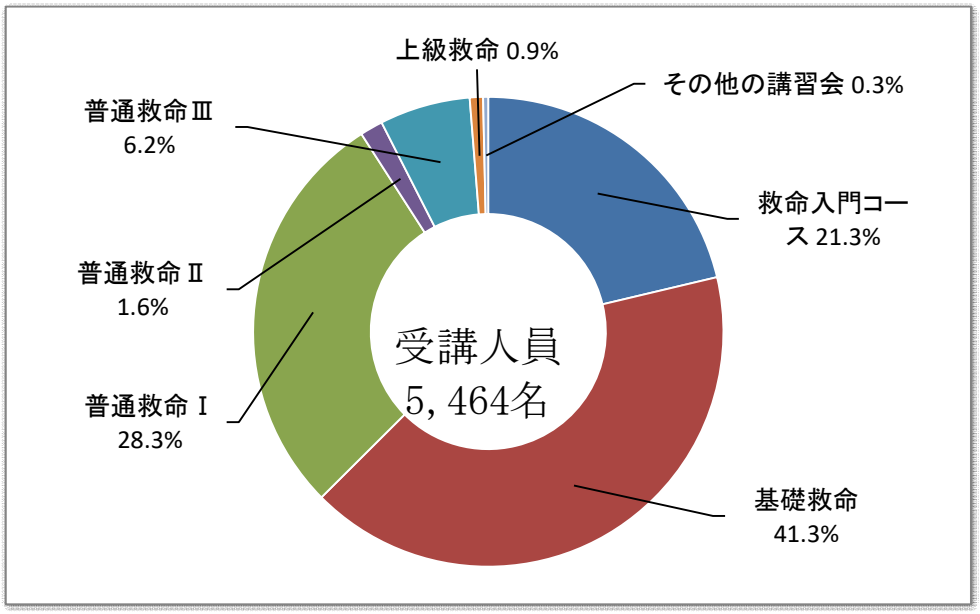
救急講習実施状況

（令和7年12月31日現在）

区分	救命入門コース	基礎救命	普通救命Ⅰ	普通救命Ⅱ	普通救命Ⅲ	上級救命	普及員講習	指導員講習	患者等搬送乗務員定期講習	合計
実施回数	12	81	73	7	21	3	1	5	1	204
構成比	5.9%	39.7%	35.8%	3.4%	10.3%	1.5%	0.5%	2.5%	0.5%	100.0%
実施人員	1,162	2,257	1,549	86	341	50	2	13	4	5,464
構成比	21.3%	41.3%	28.3%	1.6%	6.2%	0.9%	0.0%	0.2%	0.1%	100.0%
修了証発行数										0

※受講人員と修了証発行数の差異は再講習を含むため





土浦市と茨城県と全国の救急活動概要比較

※土浦市の数値は令和7年中
茨城県・全国の数値は令和6年中

区分		土浦市	茨城県	全国
出動件数（件）		8,214	162,651	7,718,380
前年比増減率（%）		▲ 8.3	▲ 0.2	1.0
人口1万人当り出動件数		580.3	569.9	612.2
事故種別構成比（%）	急病	68.3	68.3	67.3
	交通	6.8	6.1	5.1
搬送人員		7,369	145,187	6,769,172
搬送人員中の高齢者（65歳以上）の占める割合（%）		60.9	61.8	63.3
総人口中の高齢者の占める割合（%）		29.4	30.8	29.4
現場到着所要時間（分）		9.5	10.1	9.8
医療機関収容所要時間（分）		44.7	47.1	44.6
傷病程度別割合（%）	死亡	1.5	1.8	1.3
	重症	7.7	8.1	7.3
	中等症	51.6	43.7	44.6
	軽症	39.2	46.4	46.8
	その他	0.0	0.0	0.0

ＡＥＤ配置状況

	小学校	中学校	公民館等	保育園等	その他施設	
1	土浦小学校	土浦第一中学校	新治地区公民館	荒川沖保育所	土浦市役所 1F 東側フロア	武道館
2	下高津小学校	土浦第二中学校	一中地区公民館	霞ヶ岡保育所	土浦市役所 2F 総合受付センター	博物館
3	東小学校	土浦第三中学校	二中地区公民館	天川保育所	土浦市役所 2F 市民ラウンジ	つくしの家
4	大岩田小学校	土浦第四中学校	三中地区公民館	神立保育所	社会福祉協議会 （ウララ　4F）	清掃センター
5	真鍋小学校	土浦第五中学校	四中地区公民館	都和児童館	土浦市老人福祉センター(ウララ2　6F)	まちかど「蔵」
6	都和小学校	土浦第六中学校	六中地区公民館	ポプラ児童館	教育委員会 （ウララ　7F）	霞ヶ浦総合公園 体育施設管理事務所
7	荒川沖小学校	土浦都和中学校	上大津公民館	新治児童館	青少年センター （ウララ8F 生涯学習課）	霞ヶ浦総合公園 ネイチャーセンター
8	中村小学校	新治学園 義務教育学校	都和公民館	土浦幼稚園	大町庁舎	霞ヶ浦総合公園 テニスコート
9	土浦第二小学校		神立地区コミュニティセンター		都和支所	日帰り入浴施設 「霞浦の湯」
10	上大津東小学校				南支所	川口運動公園 管理事務所
11	神立小学校				土浦保健センター	上高津貝塚ふるさと 歴史の広場
12	右籾小学校				新治支所 新治保健センター	乙戸ファミリー スポーツ公園
13	都和南小学校				土浦市老人福祉 センターながみね	新治運動公園
14	乙戸小学校				土浦市老人福祉 センター湖畔荘	新治トレーニング センター
15	菅谷小学校				土浦市老人福祉 センターつわぶき	小町ふれあい広場
16	旧宍塚小学校 体育館				新治総合福祉センター	アルカス土浦　2F
17	旧藤沢小学校 体育館				農業センター （農業公社）	アルカス土浦　4F
18	旧山ノ荘小学校 体育館				ワークヒル土浦	市営東口駐車場
19	旧上大津西小学校 体育館				クラフトシビックホール土浦	市営西口駐車場
20					土浦市営斎場	りんりんポート土浦
21					土浦市亀城プラザ	土浦市立学校 給食センター
22					土浦市シルバー人材センター	子育て交流サロンわらべ
23					まちなか交流ステーションほっとONE	子育て交流サロンのぞみ
小計	19台	8台	9台	8台	46台	
消防署						
1	土浦市消防本部 3階事務室前	土浦消防署 車両①	土浦消防署　南分署 車両	荒川沖消防署 車両①	神立消防署 車両①	新治消防署 車両
2	土浦消防署（貸）	土浦消防署 車両②	土浦消防署 南分署（貸）	荒川沖消防署 車両②	神立消防署 車両②	新治消防署（貸）
3				荒川沖消防署(貸)	神立消防署（貸）	
小計	4台		2台	3台	3台	2台
合計	104台					

救助出動件数の推移

区　　分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救助出動件数	124	127	153	134	141
救助活動件数	81	76	80	79	96
救　助　人　員	58	65	62	62	62

事故種別救助出動状況

（令和7年12月31日現在）

事故種別 ＼ 件数及び人員	合計	火災 建物	火災 以外建物	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
救助出動件数	141	6		31	10		1	50	3		40
救助活動件数	96	6		15	8		1	43	3		20
救　助　人　員	62	2		14	8		1	27	2		8

各署別救助出動件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

事故種別 ＼ 各署別件数	合計	火災 建物	火災 以外建物	交通事故	水難事故	自然災害風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
土浦消防署	84	4		14	8		1	30	1		26
荒川沖消防署	27	1		6	1			11			8
神立消防署	23			8	1			8	2		4
新治消防署	7	1		3				1			2
合　計	141	6		31	10		1	50	3		40

事故種別出動人員・活動人員

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

区分 ＼ 事故種別		合計	火災 建物	火災 以建外物	交通事故	水難事故	自風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸ガス及び欠事故	破裂事故	その他の事故
出動人員	専任救助隊員	607	26		131	40		5	218	11		176
	兼任救助隊員	62	2		14	4			23	2		17
	消防隊員	803	129		223	103		3	169	26		150
	救急隊員	468	25		129	32		3	150	9		120
	消防団員											
	合計	1,940	182		497	179		11	560	48		463
活動人員	専任救助隊員	256	24		33	33		5	113	8		40
	兼任救助隊員	26	1		4	1			14	2		4
	消防隊員	162	36		28	30			49	3		16
	救急隊員	79	1		23				35	1		19
	消防団員											
	合計	523	62		88	64		5	211	14		79

事故種別発生場所別出動活動件数

（単位：件）（令和7年12月31日現在）

発生場所 ＼ 事故種別			合計	火災 建物	火災 以建外物	交通事故	水難事故	自風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸ガス及び欠事故	破裂事故	その他の事故
屋内	住居		84 (62)	5 (5)						47 (41)	3 (3)		29 (13)
	その他の屋内		8 (6)	1 (1)					1 (1)	3 (2)			3 (2)
屋外	道路	高速自動車道	5 (3)			5 (3)							
		その他の道路	21 (9)			21 (9)							
	水面	内水面	10 (8)				10 (8)						
		外水面											
	山岳		1 (1)										1 (1)
	その他の屋外		9 (5)			5 (3)							4 (2)
地下													
その他			3 (2)										3 (2)
合計			141 (96)	6 (6)	0	31 (15)	10 (8)		1 (1)	50 (43)	3 (3)		40 (20)

（　）は活動件数

事故種別発生場所別救助人員

（単位：人）（令和7年12月31日現在）

発生場所＼事故種別			合計	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
屋内	住居		31	2						25	2		2
屋内	その他の屋内		5						1	2			2
屋外	道路	高速自動車道	3			3							
屋外	道路	その他の道路	9			9							
屋外	水面	内水面	8				8						
屋外	水面	外水面											
屋外	山岳		1										1
屋外	その他の屋外		4			2							2
地下													
その他			1										1
合計			62	2		14	8		1	27	2		8

Ⅳ．通信

１．消防用無線通信施設

区分	陸上移動局（デジタル）					陸上移動局（アナログ）
	卓上型	車載型	可搬型	携帯型	簡易型	携帯型
	５Ｗ	５Ｗ	５Ｗ	１Ｗ	５Ｗ	１Ｗ
	260MHz	260MHz	260MHz	260MHz	350MHz	460MHz
消防本部	1	7	2	11		14
土浦消防署	1	10	1	12		29
南分署	1	3		3		7
荒川沖消防署	1	4	1	5		9
神立消防署	1	4	1	5		9
新治消防署	1	4	1	5		9
消防団					80	60
合計	6	32	6	41	80	137

２．119番通報件数

種別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	13	21	8	4	7	4	3	3	9	8	5	7	92
救急	751	554	643	560	549	590	646	704	577	587	606	662	7,429
救助	11	11	1	6	9	8	9	7	9	8	7	11	97
その他災害	17	28	12	11	10	16	17	16	23	17	22	20	209
同報	42	53	63	33	45	47	38	35	29	71	33	46	535
間違い	43	36	42	56	35	49	52	53	57	44	39	42	548
いたずら	5	4	0	2	0	3	3	1	0	1	3	3	25
通報試験	21	27	25	45	22	34	30	28	25	40	19	34	350
通報訓練	5	2	2	0	7	3	5	0	1	5	8	4	42
その他	49	53	41	50	31	59	38	51	48	50	40	28	538
病院問合せ	33	27	17	15	20	32	26	39	26	11	34	25	305
災害問合せ	1	0	1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	6
他本部転送	18	21	12	12	10	17	10	18	16	11	20	12	177
合計	1,009	837	867	795	745	862	877	956	820	855	836	894	10,353

３．気象統計

(1) 気温

(℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最 高 気 温	14.2	16.8	25.2	28.6	30.2	34.7	36.1	37.2	35.9	29.0	22.5	20.9
最 低 気 温	-4.8	-4.6	-0.9	2.9	9.5	15.1	20.2	22.3	15.5	8.4	1.3	-2.5
平　　均	5.1	4.9	9.7	14.4	18.4	24.7	28.1	28.8	25.8	18.0	11.7	6.7

(2) 湿度

(%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最小相対湿度	19.8	20.2	11.5	19.6	34.0	23.3	47.3	46.9	49.5	34.9	32.5	28.0
平均相対湿度	70.3	59.4	78.2	78.3	84.3	81.9	82.3	82.3	83.7	86.2	79.9	78.1
最小実効湿度	59.2	50.6	62.5	63.8	71.1	74.7	78.2	77.2	76.6	79.1	68.2	67.6
平均実効湿度	71.1	59.4	76.6	79.2	82.7	83.1	82.0	82.5	83.8	85.7	80.5	78.2

(3) 風速

(m/s)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速		9.2	15.0	20.5	21.3	19.4	22.2	25.7	23.0	22.8	21.2	16.7	21.0
平均風速		2.3	2.9	2.8	3.3	2.9	2.9	3.1	2.8	2.7	2.7	1.9	2.1
平均風速日数別	5m未満	31	26	31	26	31	29	29	29	30	30	30	30
	5m以上7m未満		2		3		1	2	2		1		1
	7m以上10m未満				1								
	10m以上15m未満												
	15m以上												

(4)雨量

(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
降水日数	4	1	10	9	12	9	6	9	10	11	4	7	92
降 水 量	21.0	3.5	106.5	131.0	207.0	137.0	127.5	47.0	108.0	107.0	12.0	45.5	1053.0

(降水日数は1mm／日以上を計上)

４．警報等発令数

区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
暴風警報													0
大雨警報						1	1						2
洪水警報						1	1						2
大雪警報													0
大雨注意報				2	1	2	4		3	1			13
洪水注意報				1	1	1	2		2	1			8
強風注意報	6	11	5	2	1		1	2	2	3	1	4	38
乾燥注意報	3	1	2	2								1	9
濃霧注意報	5		9	11	10	14	10	19	10	6	7	7	108
雷注意報	7	4	4	9	10	9	17	17	11	4	4	4	100
霜注意報			1	2							18		21
大雪注意報			3										3
着雪注意報													0
風雪注意報													0
低温注意報	4	9											13
火災気象通報	19	24	12	5	1		1	5	6	4	3	9	89
火災警報													0
水防警報													0
水防警戒配備													0
第一警戒配備	6	15		6						1		1	29
第二警戒配備													0
合計	50	64	36	40	24	28	37	43	34	20	33	26	435

消防団

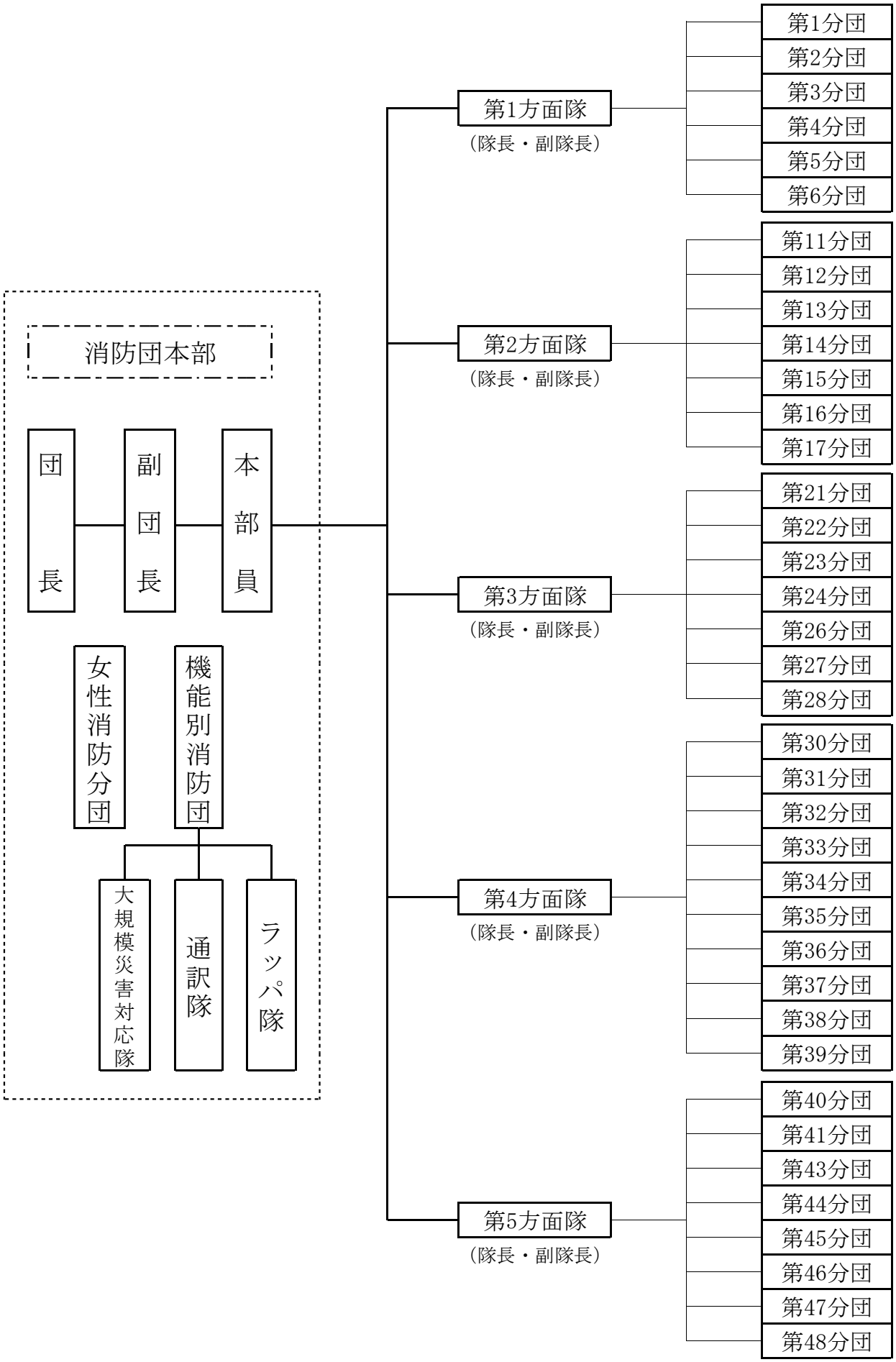
消防団

土浦市消防団は、昭和23年3月に発足され、現在、市内に1本部、38箇分団、1女性消防分団、機能別消防団(3隊)で組織されている。

第４、第５方面は、令和８年４月１日から分団を統合して活動中であり、所在地、担当区域につきましては、令和８年度中に決定予定となっております。

主な活動は、火災発生時の消火活動、大規模災害時の救出活動及び警戒活動並びに避難誘導等となっており、地域防災の中核を担っている。

消防団組織図


消防団本部
団長
副団長
本部員
女性消防分団
機能別消防団
大規模災害対応隊
通訳隊
ラッパ隊
第1方面隊
（隊長・副隊長）
第1分団
第2分団
第3分団
第4分団
第5分団
第6分団
第2方面隊
（隊長・副隊長）
第11分団
第12分団
第13分団
第14分団
第15分団
第16分団
第17分団
第3方面隊
（隊長・副隊長）
第21分団
第22分団
第23分団
第24分団
第26分団
第27分団
第28分団
第4方面隊
（隊長・副隊長）
第30分団
第31分団
第32分団
第33分団
第34分団
第35分団
第36分団
第37分団
第38分団
第39分団
第5方面隊
（隊長・副隊長）
第40分団
第41分団
第43分団
第44分団
第45分団
第46分団
第47分団
第48分団

消防団員の定員及び実員

区分＼階級	合　計	団　長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
定　員	547	1	5	15	39	39	39	39	370
実　員	432	1	5	15	31	31	31	31	287

消防団員報酬手当

（単位：円）

区分＼階級	団　長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	備　考
報　酬	82,500	69,000	55,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	年　額
水火災の職務	8,000 円　大規模な災害を除き、勤務時間が7時間45分に満たない場合は3,000円								1日
警戒の職務	1,500 円								1回
訓練の職務	1,500 円								
機械器具の職務	1,000 円								
その他の職務	1,000 円								

消防団員配置状況

区分＼階級		合計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計		432	1	5	15	31	31	31	31	287
団本部		21	1	5	15					
女性消防分団		16				1	1	1	1	12
機能別消防団		40								40
第一方面隊	第1分団	4				1	1	1	1	0
	第2分団	13				1	1	1	1	9
	第3分団	9				1	1	1	1	5
	第4分団	11				1	1	1	1	7
	第5分団	6				1	1	1	1	2
	第6分団	6				1	1	1	1	2
第二方面隊	第11分団	9				1	1	1	1	5
	第12分団	8				1	1	1	1	4
	第13分団	10				1	1	1	1	6
	第14分団	10				1	1	1	1	6
	第15分団	9				1	1	1	1	5
	第16分団	10				1	1	1	1	6
	第17分団	9				1	1	1	1	5
第三方面隊	第21分団	7				1	1	1	1	3
	第22分団	11				1	1	1	1	7
	第23分団	12				1	1	1	1	8
	第24分団	9				1	1	1	1	5
	第26分団	11				1	1	1	1	7
	第27分団	13				1	1	1	1	9
	第28分団	10				1	1	1	1	6

区分 ＼ 階級		合計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
第四方面隊	第30分団	10				1	1	1	1	6
	第31分団	10				1	1	1	1	6
	第32分団	13				1	1	1	1	9
	第33分団	9				1	1	1	1	5
	第34分団	10				1	1	1	1	6
	第35分団	11				1	1	1	1	7
	第36分団	10				1	1	1	1	6
	第37分団	6				1	1	1	1	2
	第38分団	7				1	1	1	1	3
	第39分団	13				1	1	1	1	9
第五方面隊	第40分団	9				1	1	1	1	5
	第41分団	14				1	1	1	1	10
	第43分団	13				1	1	1	1	9
	第44分団	12				1	1	1	1	8
	第45分団	0				0	0	0	0	0
	第46分団	6				1	1	1	1	2
	第47分団	13				1	1	1	1	9
	第48分団	2				1	1	0	0	0

消防団員勤続年数調

年　数 所　属	合　計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合　計	432	61	73	98	68	67	38	27
消防団　本部	21				3	2	2	14
消防団各分団 (女性消防分団含む)	371	59	70	97	60	52	23	10
機能別消防団	40	2	3	1	5	13	13	3

消防団員年齢別調

18歳未満	0	31歳	10	45歳	29	59歳	2
18歳	0	32歳	8	46歳	28	60歳	2
19歳	2	33歳	6	47歳	21	61歳	4
20歳	0	34歳	9	48歳	15	62歳	0
21歳	1	35歳	16	49歳	16	63歳	1
22歳	3	36歳	9	50歳	9	64歳	2
23歳	4	37歳	12	51歳	15	65歳以上	8
24歳	2	38歳	10	52歳	14	合計	432
25歳	2	39歳	19	53歳	15		
26歳	8	40歳	9	54歳	5	平均年齢	41.95歳
27歳	3	41歳	17	55歳	11		
28歳	5	42歳	18	56歳	5		
29歳	6	43歳	11	57歳	6		
30歳	6	44歳	24	58歳	4		

消防団員職業構成別調

区分＼階級	合計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	432	1	5	15	31	31	31	31	287
国家公務員	1								1
日本郵政職員	3					2	1		
地方公務員	19				2	1	1	2	13
特殊法人等公務員に準ずる職員	13				1	1			11
その他	396	1	5	15	28	27	29	29	262

消防団員就業形態別調

区分＼階級	合計	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	432	1	5	15	31	31	31	31	287
被用者	281		1	5	17	20	23	22	193
自営業者	66		3	7	6	4	4	4	38
家族従業者	54	1		2	4	7	4	2	34
学生	4								4
その他	27		1	1	4			3	18

消防団車庫及び担当区域

区分 所属	所　在　地	面積 (㎡)	構　　造	担　　当　　区　　域	建築年
団 本 部	田中町2083-１ 消防本部内				平成28年
第1分団	大和町2-17	68.80	軽量鉄骨ALC板 2階建	大和町、桜町一、二、三丁目、有明町1番街区	平成23年
第2分団	有明町2983-3の一部	67.16	〃	川口一、二丁目、東崎町、有明町2番街区、湖北一、二丁目、港町一、二、三丁目	平成21年
第3分団	大町6-11	52.01	鉄骨瓦棒葺2階建	大町、千束町、桜町四丁目、田中一、二、三丁目、田中町、生田町、文京町	昭和54年
第4分団	大手町5-16	63.80	軽量鉄骨造2階建	大手町、中央一、二丁目、立田町	平成26年
第5分団	宍塚町1478-2	56.43	鉄骨瓦棒葺2階建	虫掛の一部、佐野子、粕毛、宍塚の一部、飯田、矢作	平成6年
第6分団	小松二丁目9-2	68.04	軽量鉄骨造2階建	小松一、二、三丁目、小松ケ丘町、千鳥ケ丘町、霞ケ岡町、 桜ケ丘町、小岩田東一、二丁目、小岩田西一、二丁目、 大岩田、蓮河原町、蓮河原新町、滝田一、二丁目	平成25年
第11分団	真鍋一丁目11-23	68.04	軽量鉄骨 モニエル瓦葺 2階建	真鍋一、二丁目、真鍋三丁目1～5番街区、真鍋新町、 木田余、木田余西台、木田余東台一、二、三、四、五丁目、城北町	平成15年
第12分団	真鍋三丁目11-26	51.92	鉄骨瓦棒葺2階建	真鍋三丁目6～14番街区、真鍋四、五、六丁目、東真鍋町、西真鍋町、殿里、東都和、若松町、東若松町	平成4年
第13分団	並木三丁目3-43	52.50	鉄骨折板葺2階建	常名、都和一、二、三、四丁目、虫掛の一部、 並木一、二、三、四、五丁目、東並木町、西並木町、 中貫、板谷一、二、三、四、五、六、七丁目	昭和57年
第14分団	今泉327	56.43	鉄骨瓦棒葺2階建	粟野町、紫ケ丘、今泉、小山崎 中都町一、二、三、四丁目、笠師町	平成9年
第15分団	神立中央一丁目13-14	54.00	鉄骨軽量平屋建	神立町、神立中央一、二、三、四、五丁目、神立東一、二丁目、中神立町、北神立町、東中貫町、白鳥町	令和2年
第16分団	手野町2033-6	43.39	鉄骨瓦棒葺2階建	手野町、菅谷町	昭和54年
第17分団	沖宿町849	56.43	鉄骨コロニアル葺 2階建	沖宿町、田村町、おおつ野一、二、三、四、五、六、 七、八丁目	平成12年
第21分団	下高津二丁目1-12	56.43	鉄骨折板葺平屋建	下高津一、二、三、四丁目、富士崎一、二丁目	平成3年
第22分団	中高津二丁目5-1	56.43	〃	中高津一、二、三丁目、国分町、小岩田、永国、永国東町、永国台	平成4年
第23分団	上高津町868-4	66.24	鉄骨ルーフデッキ 2階建	上高津、宍塚の一部、上高津新町、天川一、二丁目	平成15年
第24分団	右籾町748	67.00	〃	右籾、摩利山新田、烏山一、二、三、四、五丁目	昭和59年建築 平成10年移動
第26分団	荒川沖東二丁目2-6	56.43	〃	荒川沖東一、二、三丁目、北荒川沖町、 中村南一、二、三丁目、中村東一、二、三丁目、中の一部	平成7年
第27分団	荒川沖西二丁目 11-26	56.43	〃	中荒川沖町、荒川沖西一、二丁目、荒川沖の一部、 中村南四、五、六丁目、中の一部、西根南一、二、三丁目、中村西根、西根西一丁目、小山田一丁目の一部	平成5年
第28分団	沖新田31-1	56.43	〃	荒川沖の一部、荒川本郷、沖新田、乙戸、乙戸南一、二、三丁目、卸町一、二丁目、小山田一丁目の一部、二丁目	平成7年

区分 所属	所　在　地	面積 （㎡）	構　　造	担　当　区　域	建築年
第30分団	藤沢1249-4,1250-1 の一部	1Ｆ　33.12 2Ｆ　33.12	軽量鉄骨2階建	藤沢の一部	平成22年
第31分団	藤沢（二区）1544-2	1Ｆ　19.80 2Ｆ　19.80	木造2階建	藤沢の一部	平成2年
第32分団	大畑1182-1	39.74	木造平屋建	大畑	昭和52年
第33分団	上坂田1135-1	1Ｆ　31.91 2Ｆ　31.91	軽量鉄骨造2階建	上坂田	平成30年
第34分団	下坂田474-1	1Ｆ　31.91 2Ｆ　31.91	〃	下坂田	平成27年
第35分団	藤沢（東町）3648-17	1Ｆ　31.91 2Ｆ　31.91	〃	藤沢の一部	平成24年
第36分団	高岡（根）1896	1Ｆ　19.80 2Ｆ　19.80	木造2階建	高岡の一部	昭和49年
第37分団	高岡（沖）1371-1	1Ｆ　24.00 2Ｆ　24.00	1Ｆ　ＲＣ造 2Ｆ　　木造	高岡の一部	1Ｆ　昭和40年頃 2Ｆ　昭和56年
第38分団	藤沢新田488先	42.75	軽量鉄骨平屋建	藤沢新田	昭和48年
第39分団	田土部855	44.20	木造平屋建	田土部、下大島	昭和45年頃
第40分団	田宮597-1	66.20	軽量鉄骨2階建	田宮	平成23年
第41分団	沢辺806-3	40.50	木造平屋建	沢辺、小野沢辺東城寺入会地の一部	昭和40年
第43分団	永井557	1Ｆ　26.80 2Ｆ　21.50	木造モルタル2階建	永井、永井本郷入会地の一部	昭和53年
第44分団	本郷1538	1Ｆ　36.30 2Ｆ　32.16	木造2階建	本郷、永井本郷入会地の一部	昭和52年
第45分団	大志戸1167-1	詰所　19.87 車庫　26.22	詰所　木造平屋建 車庫　軽量鉄骨造	大志戸	詰所　平成5年 車庫　昭和52年
第46分団	小野566-3	詰所　25.25 車庫　22.00	詰所　　木造平屋建 車庫　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造	小野、小野沢辺東城寺入会地の一部	詰所　平成2年 車庫　昭和53年
第47分団	東城寺444-1	詰所　20.60 車庫　19.80	〃	東城寺、小野沢辺東城寺入会地の一部	昭和52年
第48分団	小高17-3	28.40	鉄骨2階建	小高	昭和52年

※　第４、第５方面は、令和８年４月１日から分団を統合して活動中。所在地、担当区域につきましては、令和８年度中に決定予定。

消防団配置車両

所　属	社名 年式	ポンプ 製作所	型式	性能	規　格　(cm) 長さ	巾	高さ	総重量 (kg)	総排気量 (ℓ)	燃料	受信機 有　無	配　置 年月日
第1分団	三　菱 2000年	GM いちはら	CD-Ⅰ	A-2	522	189	249	4,090	5.24	軽油	有	平成12年2月9日
第2分団	トヨタ 2003年	〃	〃	〃	515	188	250	4,370	4.89	〃	〃	平成15年11月19日
第3分団	トヨタ 1999年	〃	〃	〃	515	188	242	3,830	4.10	〃	〃	平成11年2月8日
第4分団	いすゞ 2002年	日　本 ｴﾚﾌｧﾝﾄ	〃	〃	545	188	250	4,410	4.57	〃	〃	平成14年3月29日
第5分団	いすゞ 2012年	GM いちはら	〃	〃	560	188	238	4,460	2.99	〃	〃	平成24年2月14日
第6分団	トヨタ 2006年	〃	〃	〃	515	188	242	4,480	4.00	〃	〃	平成18年2月14日
第11分団	トヨタ 2023年	モリタ	〃	〃	523	185	240	3,450	1.99	ｶﾞｿﾘﾝ	〃	令和5年3月28日
第12分団	いすゞ 2009年	GM いちはら	〃	〃	550	188	250	4,520	2.99	軽油	〃	平成21年11月2日
第13分団	いすゞ 2008年	〃	〃	〃	549	188	250	4,630	2.99	〃	〃	平成20年1月29日
第14分団	いすゞ 1995年	〃	〃	〃	545	188	250	4,010	4.57	〃	〃	平成7年12月12日
第15分団	いすゞ 2000年	〃	〃	〃	539	188	250	4,240	4.57	〃	〃	平成12年10月6日
第16分団	トヨタ 2003年	〃	〃	〃	515	188	250	4,370	4.89	〃	〃	平成15年11月19日
第17分団	いすゞ 2002年	〃	〃	〃	540	188	230	4,330	4.77	〃	〃	平成14年11月6日
第21分団	いすゞ 2008年	〃	〃	〃	550	188	250	4,520	2.99	〃	〃	平成20年11月28日
第22分団	いすゞ 2017年	モリタ	〃	〃	555	190	245	4,790	2.99	〃	〃	平成29年3月30日
第23分団	トヨタ 2007年	GM いちはら	〃	〃	515	188	250	4,290	4.00	〃	〃	平成19年2月22日
第24分団	トヨタ 1997年	〃	〃	〃	515	188	250	3,720	4.10	〃	〃	平成9年3月14日
第26分団	トヨタ 2005年	〃	〃	〃	515	188	250	4,420	4.00	〃	〃	平成17年3月25日
第27分団	トヨタ 2006年	〃	〃	〃	515	188	250	4,480	4.00	〃	〃	平成18年2月14日
第28分団	いすゞ 2009年	〃	〃	〃	550	188	250	4,520	2.99	〃	〃	平成21年11月2日
第30分団	いすゞ 2005年	モリタ	CD-Ⅰ	A-2	555	188	245	4,210	4.77	軽油	有	平成18年2月20日
第31分団	ニッサン 2013年	石川島 芝浦	―	B-3	472	169	230	2,690	1.99	ｶﾞｿﾘﾝ	〃	平成25年2月4日
第32分団	ニッサン 2012年	〃	―	〃	475	169	224	2,770	1.99	〃	〃	平成24年4月11日
第33分団	いすゞ 1996年	モリタ	CD-Ⅰ	A-2	548	188	245	3,860	4.57	軽油	〃	平成18年2月20日
第34分団	ニッサン 1991年	石川島 芝浦	―	B-3	471	169	226	1,980	1.62	ｶﾞｿﾘﾝ	〃	平成18年2月20日
第35分団	ニッサン 2011年	〃	―	〃	475	169	222	2,770	1.99	〃	〃	平成23年2月25日
第36分団	ニッサン 2012年	〃	―	〃	475	169	224	2,770	1.99	〃	〃	平成24年4月11日
第37分団	ニッサン 1994年	〃	―	〃	472	169	235	2,130	1.62	〃	〃	平成19年3月16日
第38分団	ニッサン 1992年	〃	―	〃	472	169	235	2,130	1.62	〃	〃	平成18年2月20日
第39分団	ニッサン 2013年	〃	―	〃	472	169	230	2,690	1.99	〃	〃	平成25年2月4日

所　属	社名 年式	ポンプ 製作所	型式	性能	規　格　(cm) 長さ	巾	高さ	総重量 (ｋｇ)	総排気量(ℓ)	燃料	受信機 有　無	配　置 年月日
第40分団	ニッサン 1993年	〃	―	〃	468	169	229	2,140	1.62	〃	〃	平成18年2月20日
第41分団	いすゞ 1996年	モリタ	CD-Ⅰ	A-2	548	188	245	3,860	4.57	軽油	〃	平成18年2月20日
第43分団	ニッサン 1992年	石川島 芝浦	―	B-3	472	169	235	2,130	1.62	ガソリン	〃	平成18年2月20日
第44分団	トヨタ 2013年	モリタ	CD-Ⅰ	A-2	515	188	250	4,630	4.00	軽油	〃	平成25年1月7日
第45分団	ニッサン 1991年	石川島 芝浦	―	B-3	471	169	226	1,980	1.62	ガソリン	〃	平成18年2月20日
第46分団	ニッサン 2011年	〃	―	〃	475	169	222	2,770	1.99	〃	〃	平成23年2月25日
第47分団	ニッサン 1994年	〃	―	〃	472	169	235	2,130	1.62	〃	〃	平成18年2月20日
第48分団	ニッサン 1993年	〃	―	〃	468	169	229	2,140	1.62	〃	〃	平成18年2月20日

消防団ホース保有状況

(単位：本)

第1分団	65mm	18
第2分団	〃	13
第3分団	〃	20
第4分団	〃	10
第5分団	〃	25
第6分団	〃	17
第11分団	〃	23
第12分団	〃	23
第13分団	〃	20
第14分団	〃	22
第15分団	〃	16
第16分団	〃	24
第17分団	〃	22
第21分団	〃	24
第22分団	〃	22
第23分団	〃	17
第24分団	〃	19
第26分団	〃	20
第27分団	〃	20
第28分団	〃	20

(単位：本)

第30分団	65mm	32
第31分団	〃	10
第32分団	〃	10
第33分団	〃	9
第34分団	〃	19
第35分団	〃	10
第36分団	〃	8
第37分団	〃	11
第38分団	〃	12
第39分団	〃	6
第40分団	〃	12
第41分団	〃	7
第43分団	〃	13
第44分団	〃	30
第45分団	〃	15
第46分団	〃	13
第47分団	〃	26
第48分団	〃	11

――　消防機関の所在地　――

消　防　本　部	〒300-0049	ＴＥＬ	029（821）0119（代）
	土浦市田中町2083番地１	ＦＡＸ	029（825）3166
土浦消防署	〒300-0049	ＴＥＬ	029（821）0119（代）
	土浦市田中町2083番地１	ＦＡＸ	029（822）9011
南　分　署	〒300-0832	ＴＥＬ	029（823）0119（代）
	土浦市桜ケ丘町13番1号	ＦＡＸ	029（826）1565
荒川沖消防署	〒300-0875	ＴＥＬ	029（841）0119（代）
	土浦市中荒川沖町27番12号	ＦＡＸ	029（841）1344
神立消防署	〒300-0011	ＴＥＬ	029（831）0119（代）
	土浦市神立中央五丁目32番6号	ＦＡＸ	029（831）2706
新治消防署	〒300-4111	ＴＥＬ	029（862）4577（代）
	土浦市大畑46番地	ＦＡＸ	029（862）5110

土浦市消防年報

令 和 7 年 版

令和8年6月発行

土浦市消防本部